

令和6年度実施
西条市の教育に関するアンケート調査
報告書（市民向け調査）

令和6年8月

西条市経営戦略部政策企画課

目 次

1 本調査の概要	1
2 基本情報	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) お住まいの地区	3
3 学校教育について	4
(1) 小学校がどのようなところであるべきか	4
(2) 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度	7
(3) (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策	10
(4) 小学校での学習環境を考える上で重視する点	13
4 図書館について	16
(1) 図書館の利用状況	16
(2) 図書館の利用環境に対する満足度	18
(3) 主に利用している図書館	20
(4) 図書館を利用した主な目的	21
(5) 図書館の利用が役立っていると感じる点	24
(6) 図書館に関連して今後期待する点	26
5 公民館について	29
(1) 公民館の利用状況	29
(2) 公民館の利用環境に対する満足度	31
(3) 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術	33
(4) 公民館に期待する事業	35
6 生涯学習・文化芸術・歴史文化について	39
(1) 取り組んでいる生涯学習の内容（3つまで選択可）	39
(2) 今後取り組みたい生涯学習の内容（3つまで選択可）	39
(3) 生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと（3つまで選択可）	40
(4) 文化芸術に触れる機会の充実度	41
(5) ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度	44
(6) ふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度	45
8 参考資料（アンケート用紙）	47

1 本調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和6年度が本市の教育行政における根本的な方針となる「西条市教育大綱」を改訂する年度にあたるため、市民の皆さまのご意見を将来の西条市の教育行政の方向性に反映させることを目的として実施しました。

(2) 調査対象者

令和6年5月24日現在で本市に住民登録をしている18歳以上の方から1,500人を無作為に抽出

(3) 調査期間

令和6年6月19日（水）から令和6年7月5日（金）まで

(4) 調査方法

郵送回答もしくはインターネット回答

(5) 調査票の回収状況

最終配布数は、1,493通（宛先不明7通）となりました。そのうち、回収した調査票は460通となり、最終回収率は30.8%となりました。

本調査の信頼度を95%とすると383票の標本サイズが必要となりますが、本調査はサンプルサイズを確保しており、信頼性が高い結果であるということが出来ます。

(6) 調査票の内容

送付した調査票は文末に掲載しています。

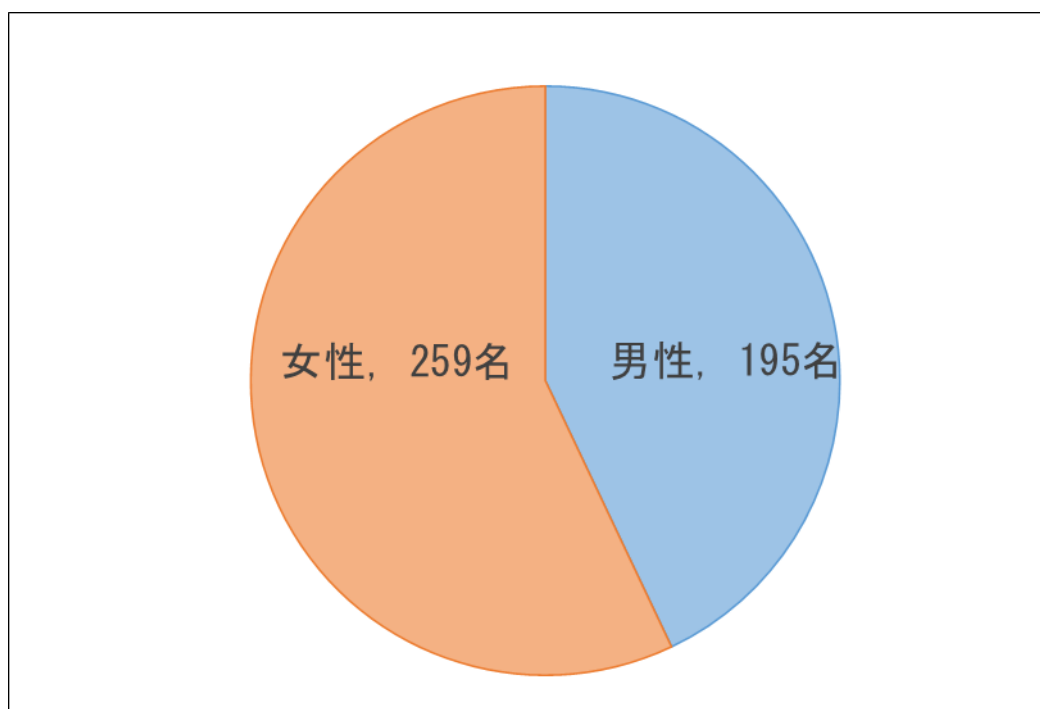
(7) その他

各図表のデータ処理にあたりましては、当該質問項目に対して無回答であった方を除いて処理を行っていますので、必ずしも合計値と回収した調査票数が一致するとは限りません。また、構成比率につきましても、それぞれの項目ごとの構成比を小数点以下第2位で四捨五入していますので、必ずしも構成比の合計値が100%になるとは限りません。

2 基本情報

(1) 性別

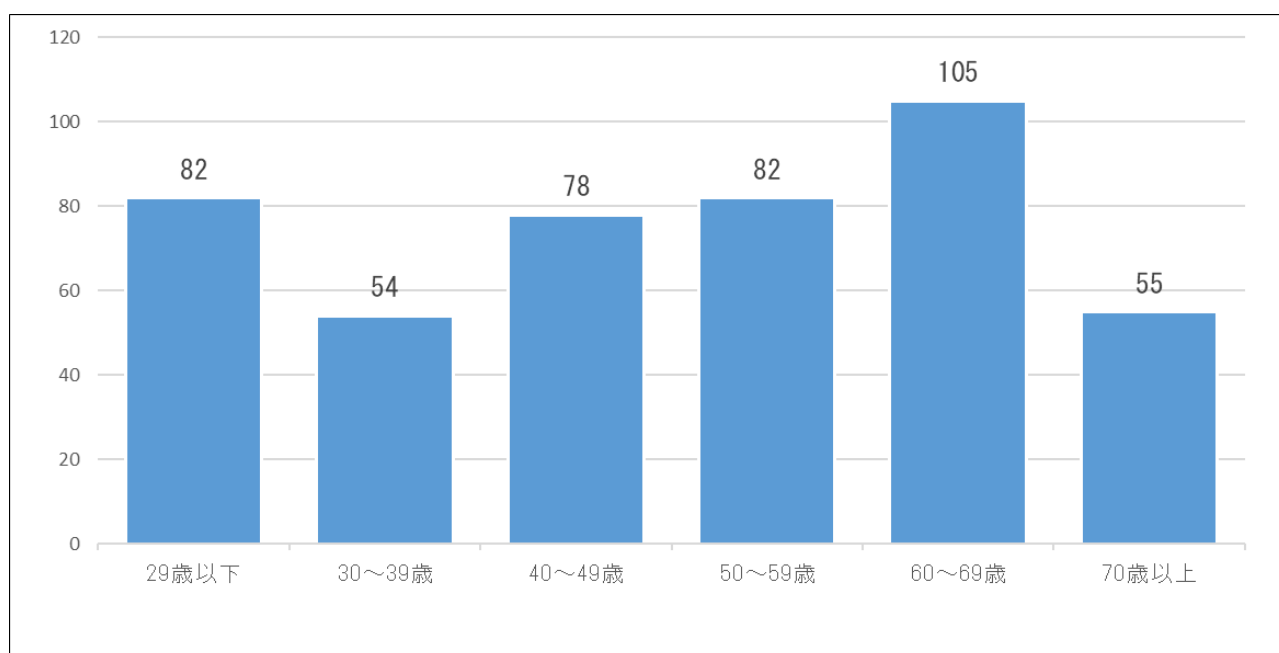
図表 2-1 によると、回答者のうち男性は 195 名、女性は 259 名となりました。



図表 2 - 1 回答者の性別 (N = 4 5 4)

(2) 年齢

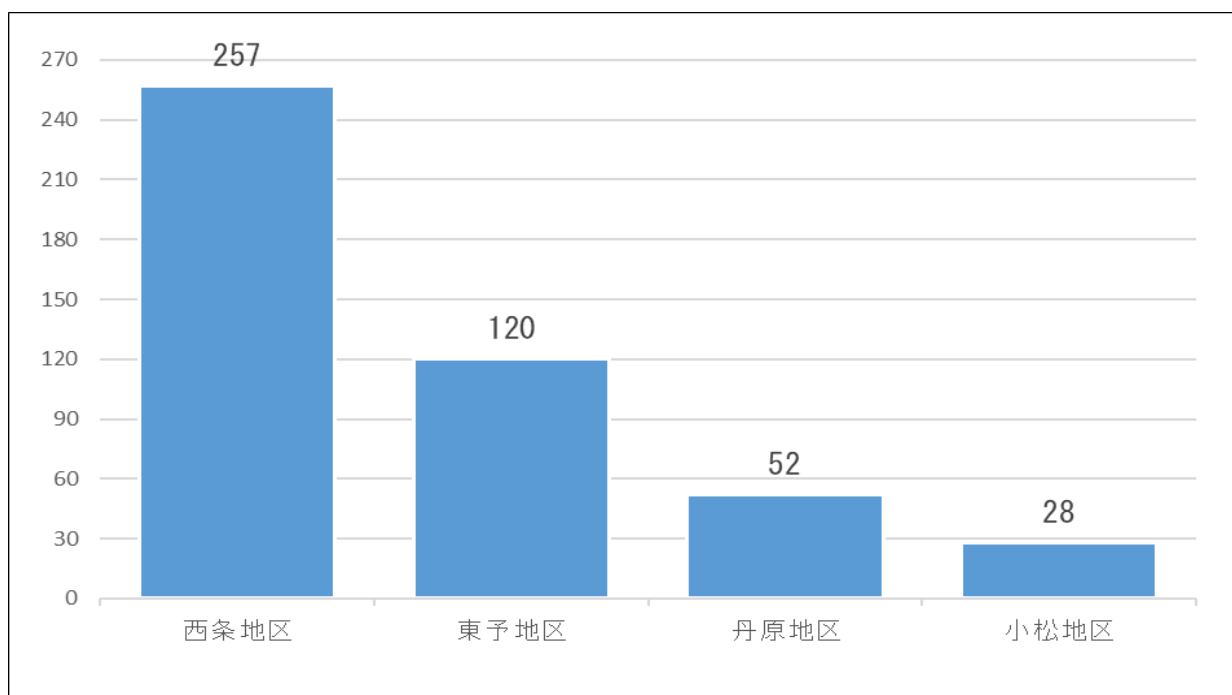
図表 2-2 によると、回答者は 60～69 歳の間で多くなりましたが、全体的にすべての年齢の方がまんべんなく回答しています。



図表 2 - 2 回答者の年齢 (N = 4 5 6)

（３）お住まいの地区

図表 2-3 によると、回答者は西条地区が最も多く、次いで東予地区、丹原地区、小松地区となりました。本市の人口構成と比較し、本調査は概ね市内人口分布に即した意見が反映されています。



図表 2－3 回答者のお住まいの地区（N＝457）

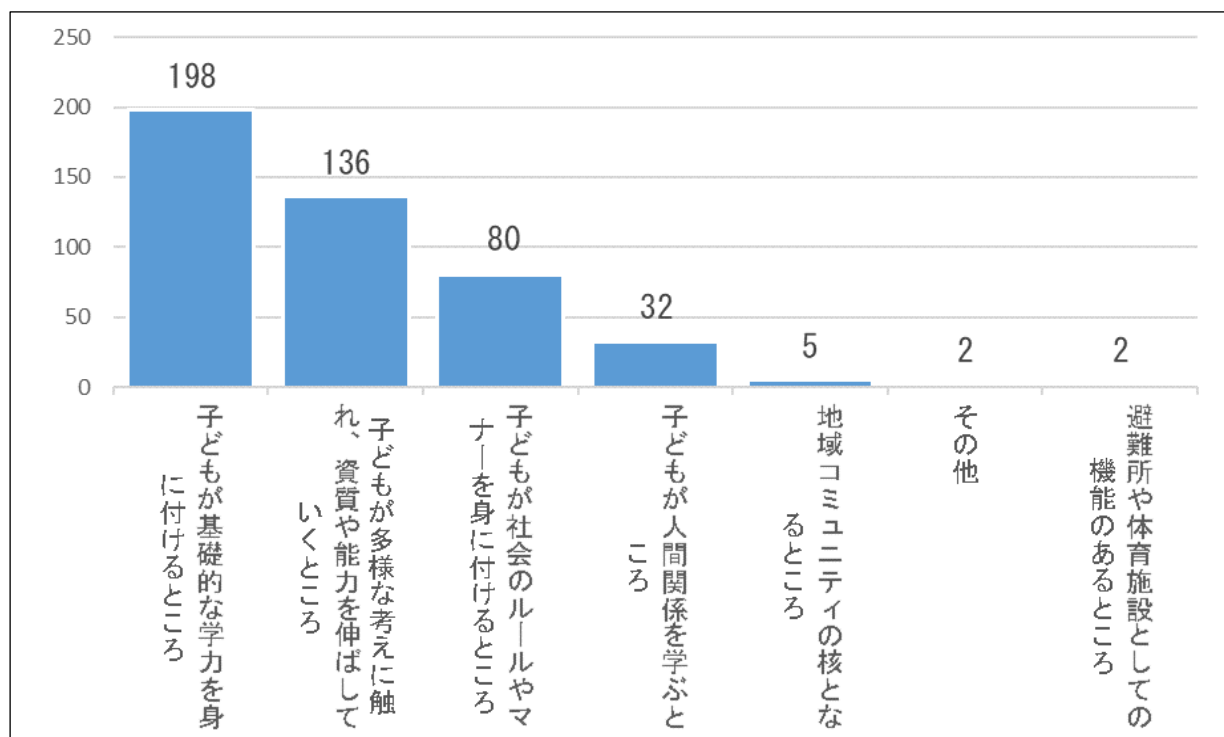
3 学校教育について

(1) 小学校がどのようなところであるべきか

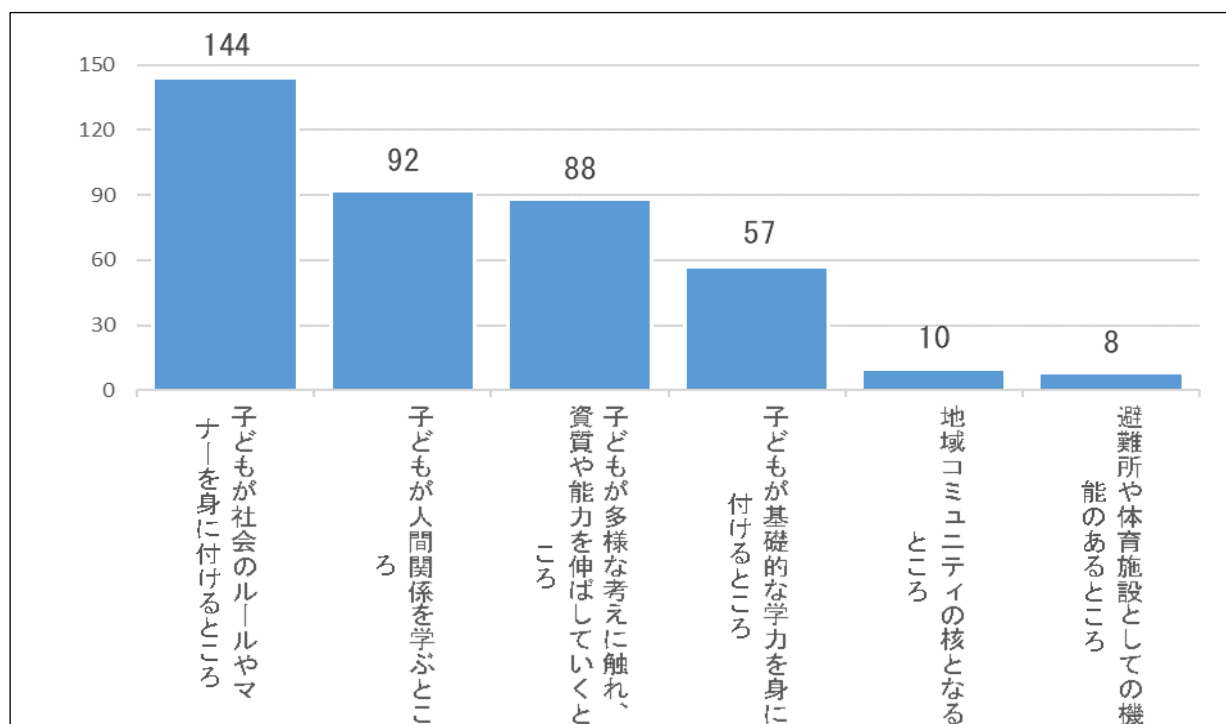
【結果概要】

- 小学校が子どもの基礎学力、人間関係形成能力、社会ルールなどを学ぶ場としてあるべきと感じている方が多い一方で、地域コミュニティや避難所など、小学校としての副次的機能を期待する方が少ない傾向がみられました。(図表 3-1、3-2 参照)
- 年齢別に見た場合、ほとんどの年齢で小学校が子どもの基礎学力を身に付ける場所という考え方が多いことは共通しているものの、年齢によって小学校に対する考え方が異なる傾向がみられました。(図表 3-3 参照)
- お住まいの地区別、お住まいの地域の小学校規模別に大きな差異は無く、小学校が「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」だと最も感じている比率が最も高くなりました。(図表 3-4、3-5 参照)

図表 3-1 によると、第 1 選択では「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した方が多くなりました。また、図表 3-2 によると、第 2 選択では「子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ」「子どもが人間関係を学ぶところ」と回答した方が多くなりました。

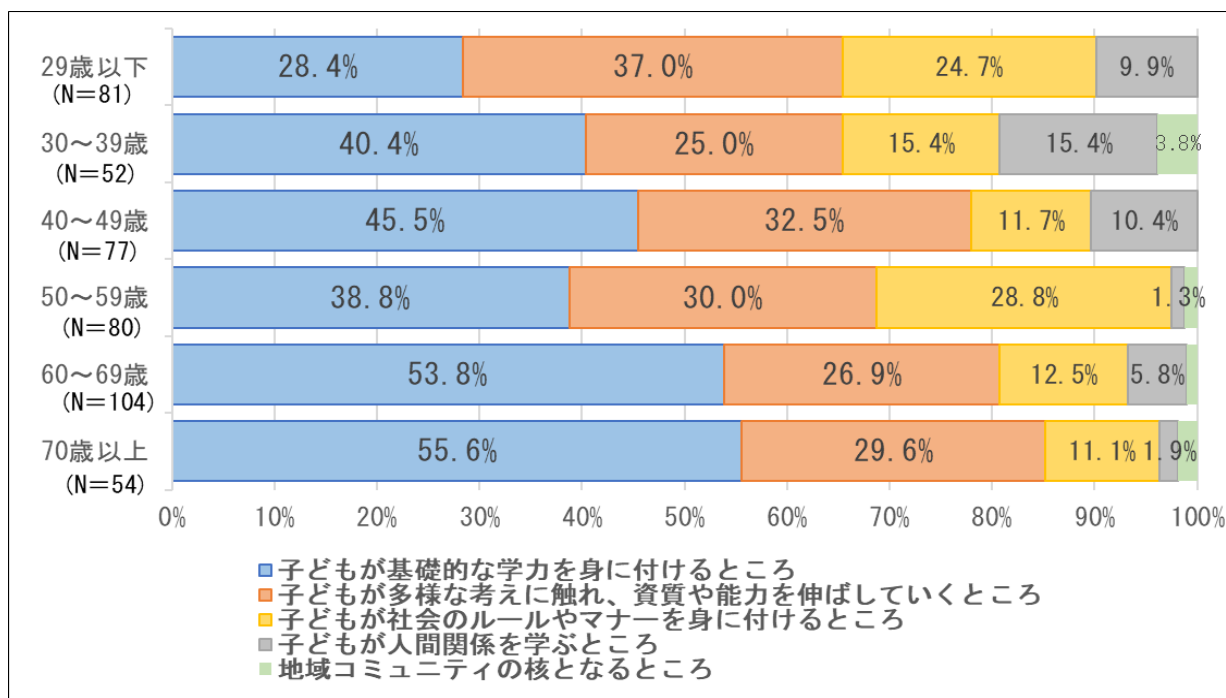


図表 3-1 小学校がどのようなところであるべきか（第 1 選択・単純集計）（N = 455）



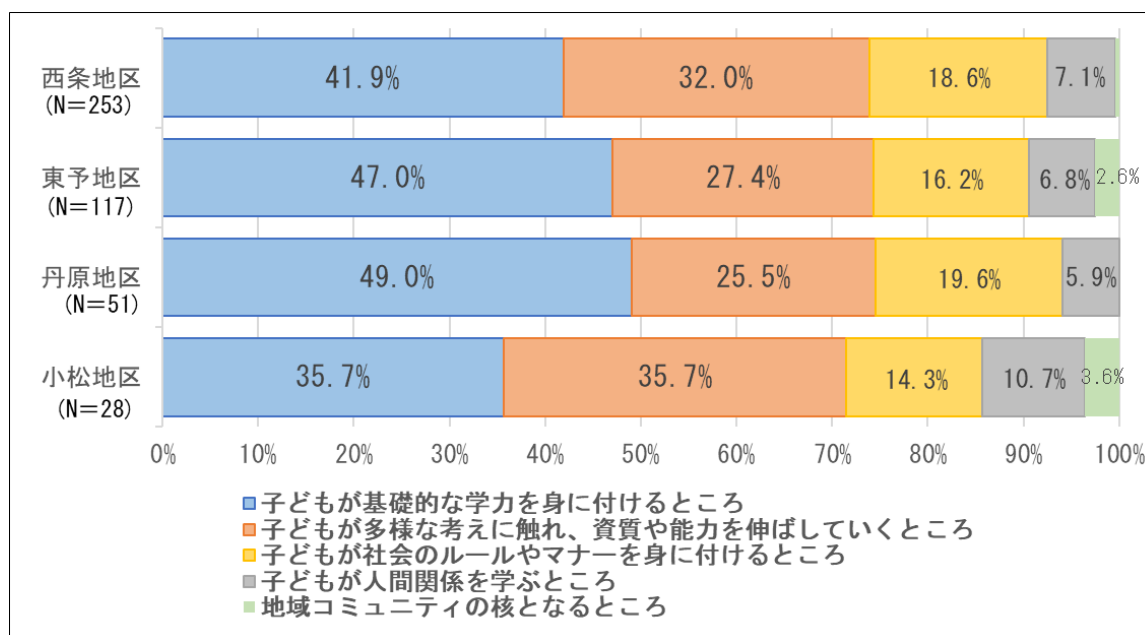
図表 3-2 小学校がどのようなところであるべきか（第2選択・単純集計）（N=399）

図表 3-3 によると、ほとんどの年代で「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と回答した比率が最も高くなりましたが、29 歳以下では、「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した比率が最も高くなりました。



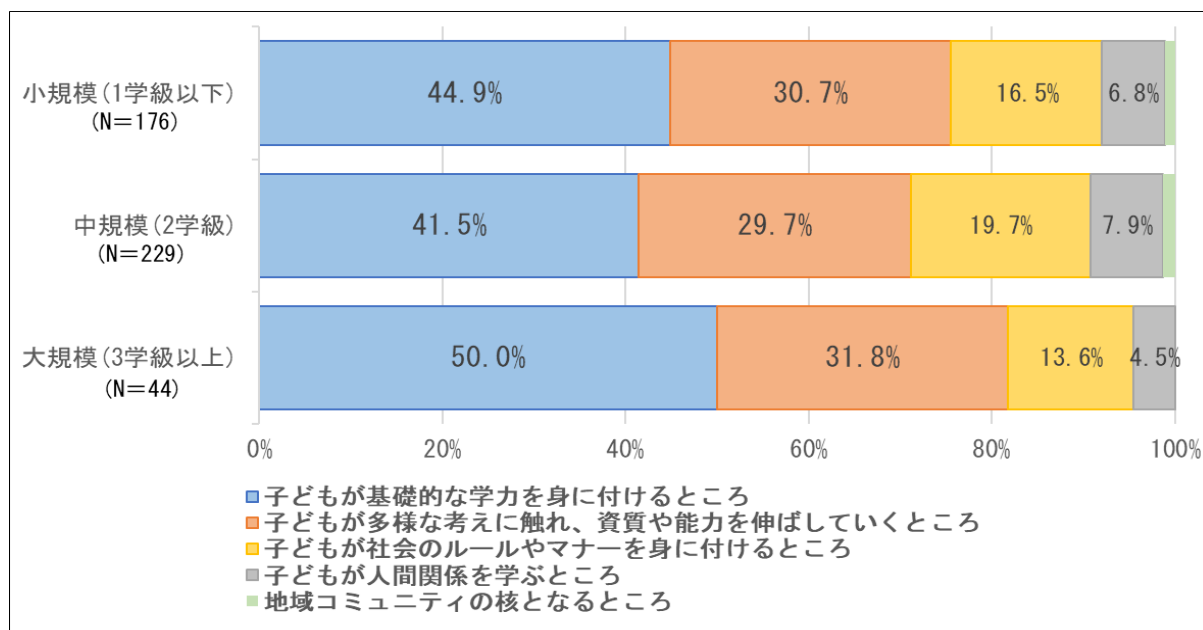
図表 3-3 小学校がどのようなところであるべきか（年齢別）

図表 3-4 によると、ほとんどの年代で「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と回答した比率が最も高くなりましたが、小松地区では「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」と回答した比率が同率になりました。



図表 3-4 小学校がどのようなところであるべきか（お住まいの地区別）

図表 3-5 によると、すべての規模の小学校を通じて大きな違いがみられず、「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」と回答した比率が最も高くなりました。



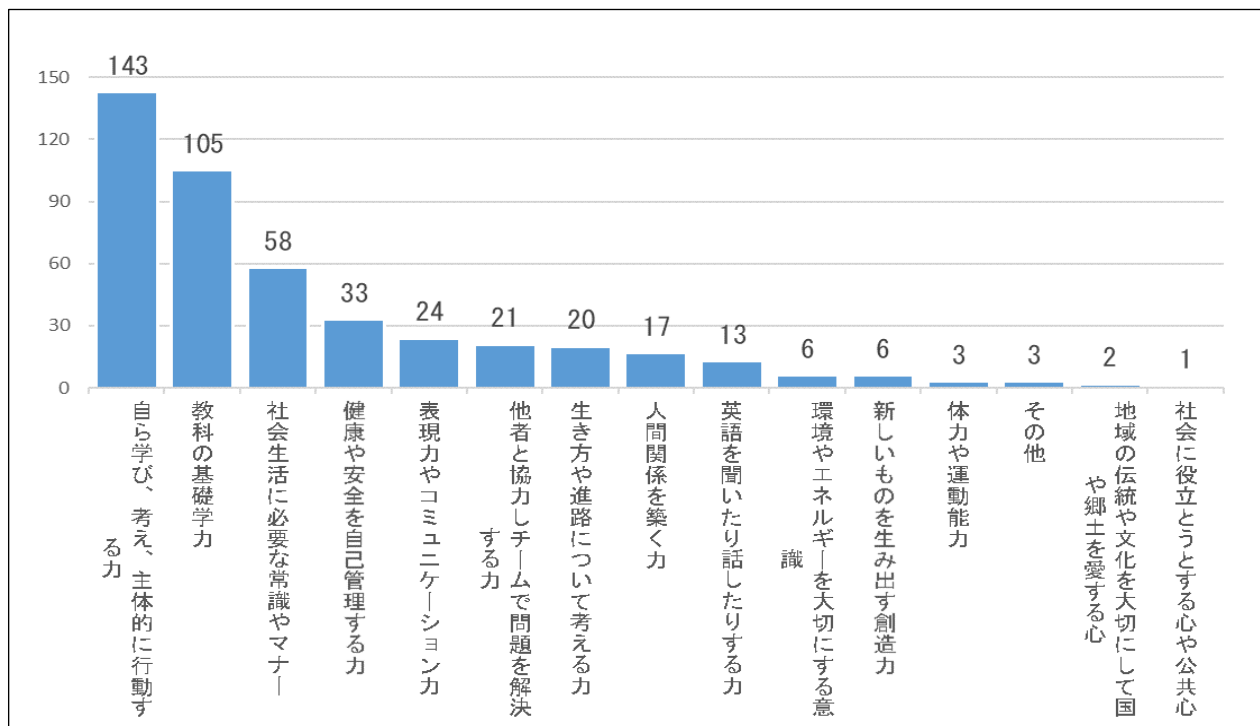
図表 3-5 小学校がどのようなところであるべきか（お住まいの地域の小学6年生規模別）

（２）小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度

【結果概要】

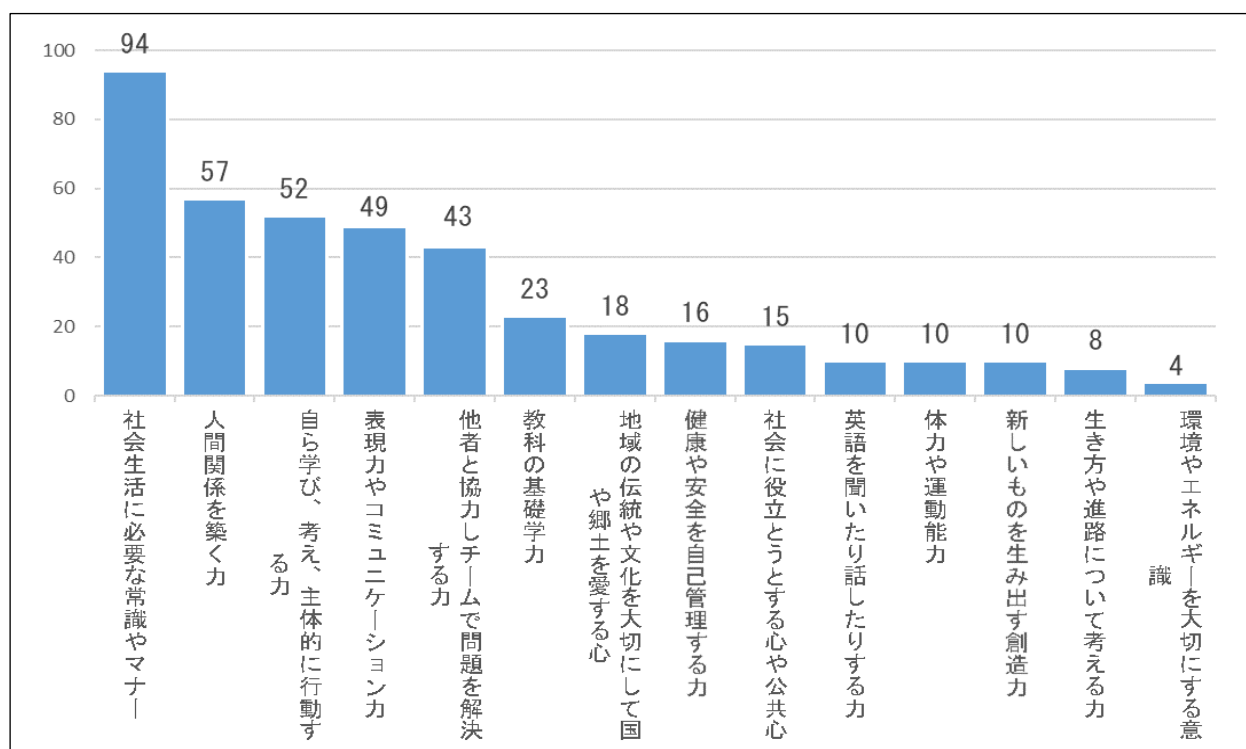
- （１）の傾向と同様に、子どもの基礎学力、人間関係形成能力、社会常識やマナーなどを身に付けることに対する期待が高くなる傾向がみられました。（図表 3-6、3-7 参照）
- 年齢別でみると、年代によって小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度に対する意見が異なる傾向がみられました。（図表 3-8 参照）
- お住まいの地域の小学 6 年生規模別では、大きな違いはみられませんでした。（図表 3-10 参照）

図表 3-6 によると、第 1 選択では、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」「教科の基礎学力」と回答した方が多くなりました。また、図表 3-7 によると、第 2 選択では、「社会生活に必要な常識やマナー」「人間関係を築く力」と回答した方が多くなりました。



図表 3－6 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度（第 1 選択・単純集計）

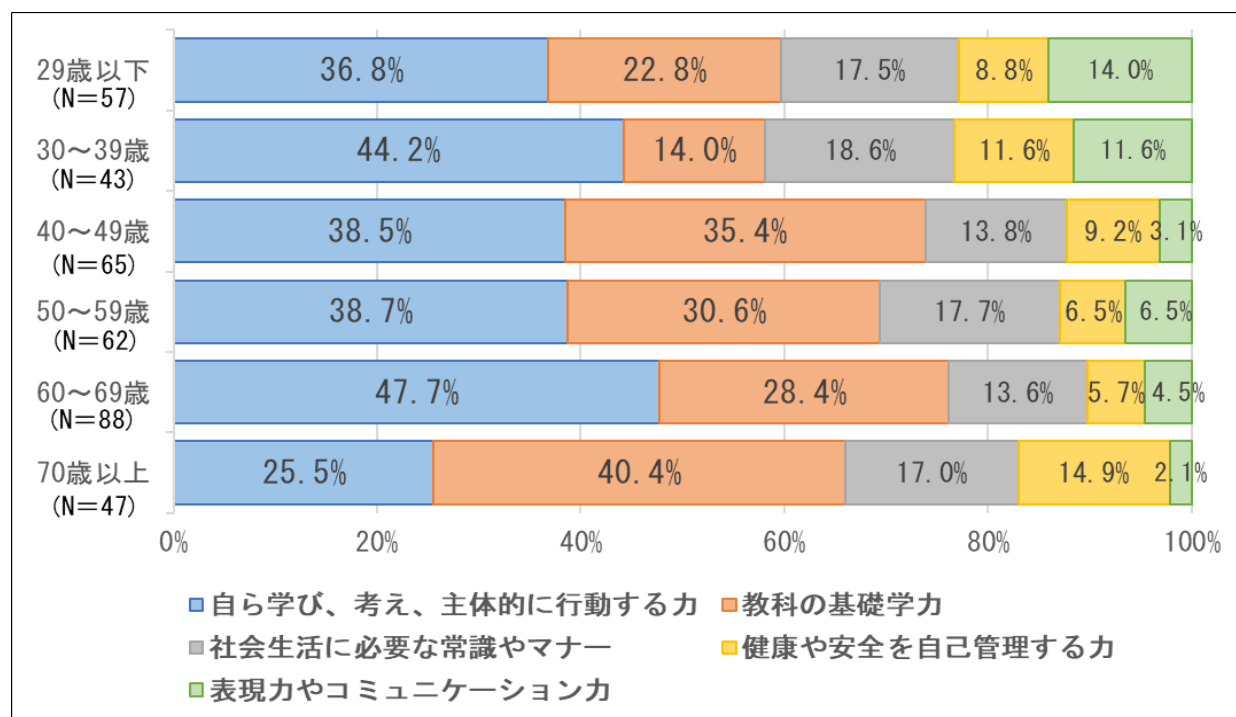
（N＝455）



図表 3-7 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度（第2選択・単純集計）

(N=409)

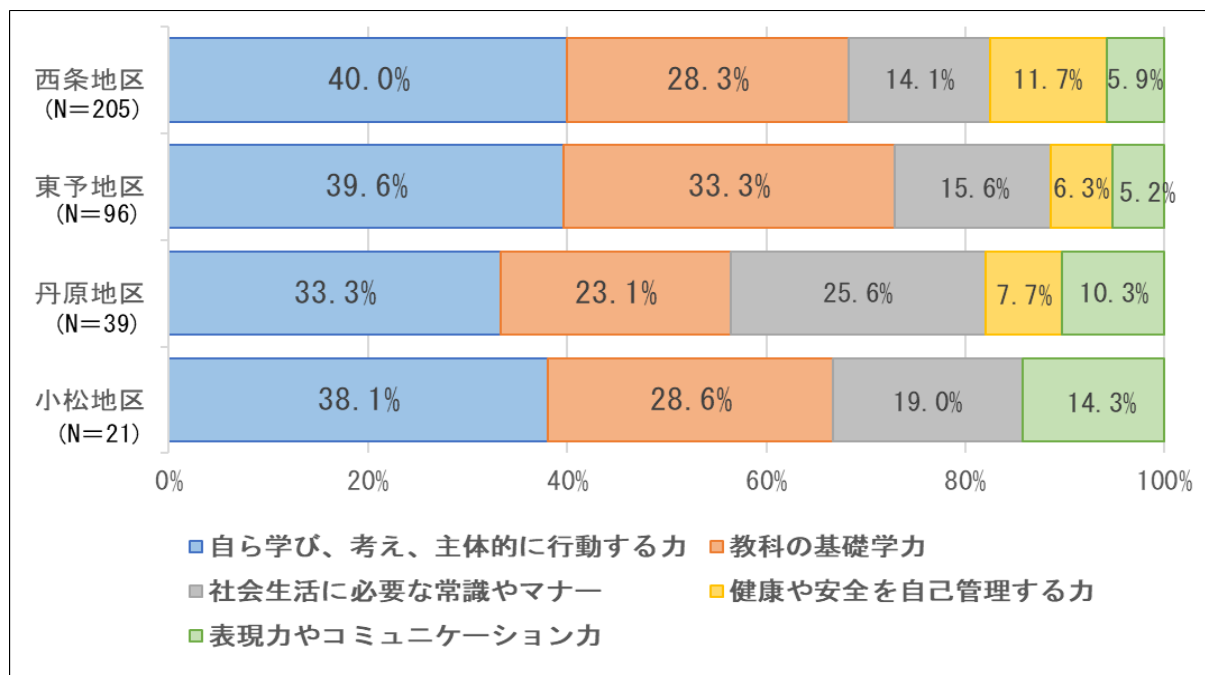
図表 3-8 によると、70 歳以上の年代を除き「自ら学び、考え、主体的に行動する力」と回答した比率が最も高くなりましたが、特徴として、年齢が高くなるにつれて、「教科の基礎学力」と回答する比率が高くなる傾向がみられました。また、年齢が低くなるにつれて、「表現力やコミュニケーション力」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



図表 3-8 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度

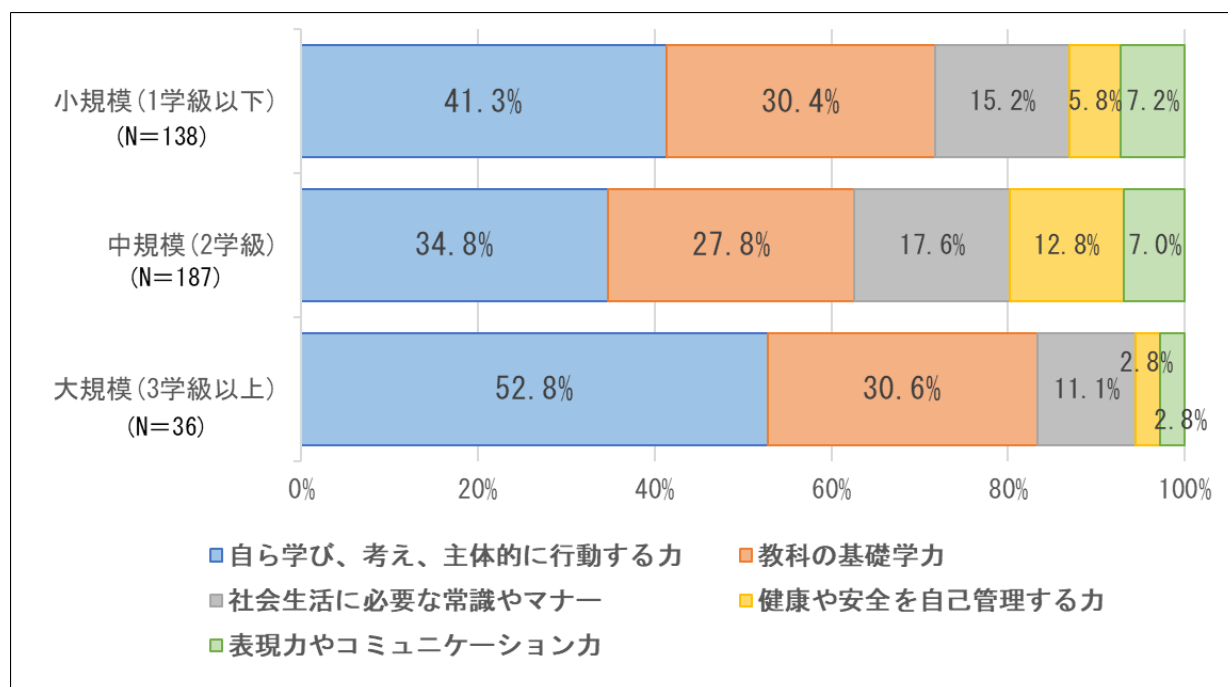
(第1選択上位5項目・年齢別)

図表 3-9 によると、すべての地区で「自ら学び、考え、主体的に行動する力」と回答した比率が最も高くなりました。丹原地区は「社会生活に必要な常識やマナー」と回答した比率が他の地区より高くなりました。



図表 3-9 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度
(第1選択上位5項目・お住まいの地区別)

図表 3-10 によると、お住まいの地域の小学校規模を問わず、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」と回答した比率が最も高くなり、次いで「教科の基礎学力」と回答した比率が高くなりました。



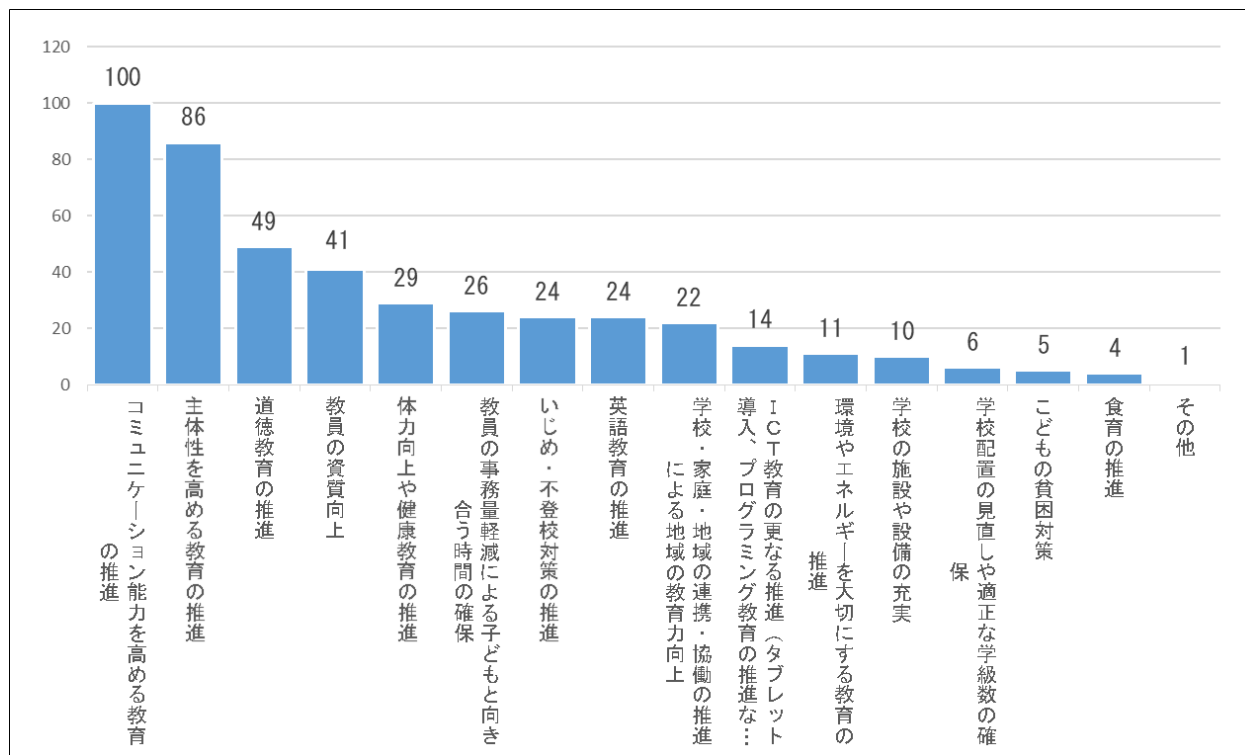
図表 3-10 小学校で身に付けることが大切だと思う能力や態度
(第1選択上位5項目・お住まいの地域の小学6年生規模別)

(3)(2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策

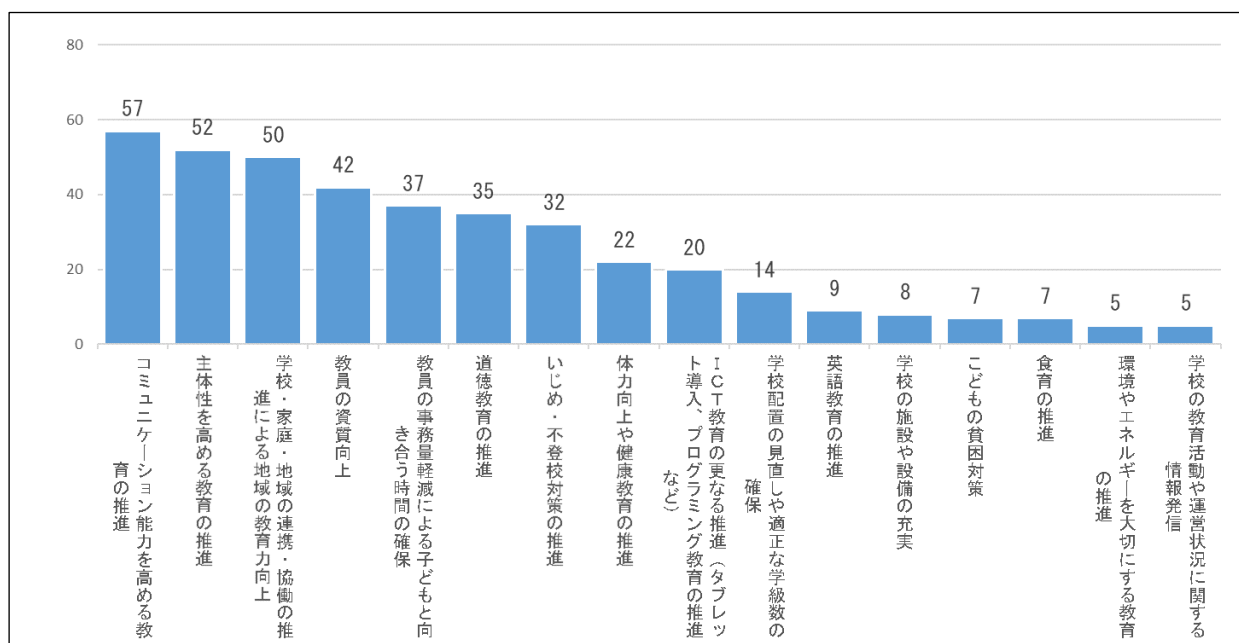
【結果概要】

- コミュニケーション能力や主体性を高める教育の推進を望む声が多く、児童が自ら学び考えられる力を身に付けることが重要視されている傾向にあります。(図表 3-11、3-12 参照)
- お住まいの地区別でみると、西条地区、丹原地区でコミュニケーション能力を高める教育を期待する一方、小松地区では主体性を高める教育を期待する傾向がみられました。(図表 3-14 参照)

図表 3-11、3-12 によると、第 1 選択、第 2 選択とも「コミュニケーション能力を高める教育の推進」、「主体性を高める教育の推進」と回答した方が多くなりました。

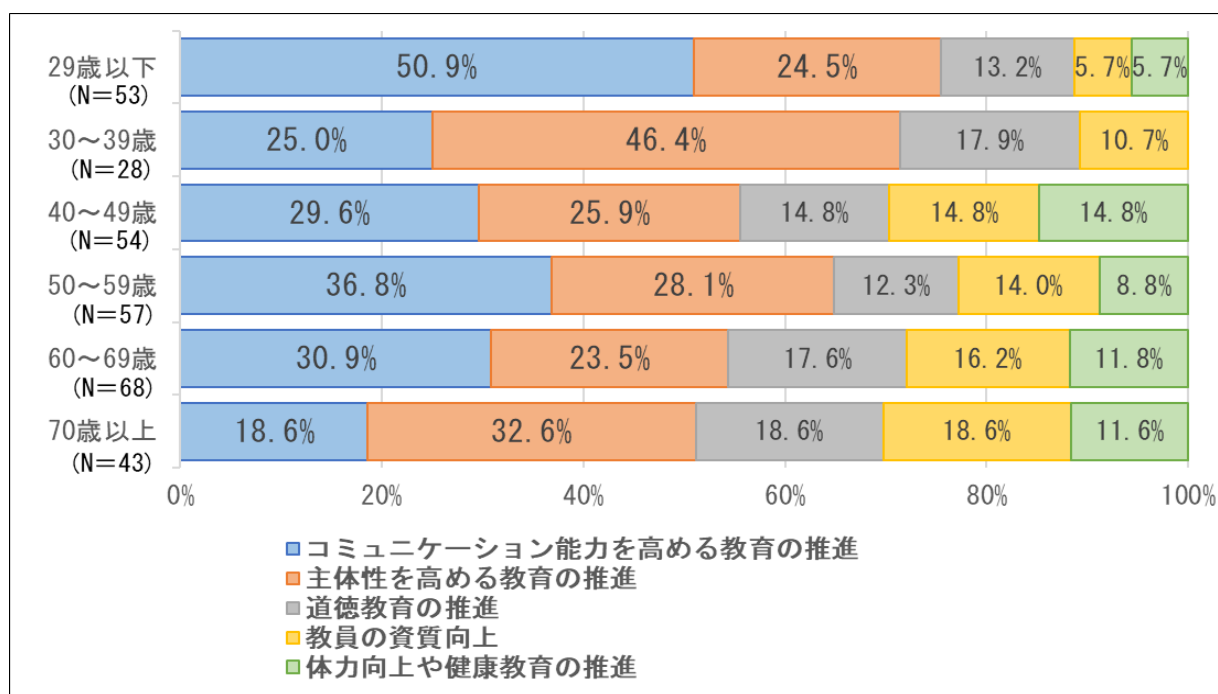


図表 3-11 (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
(第 1 選択・単純集計) (N=452)



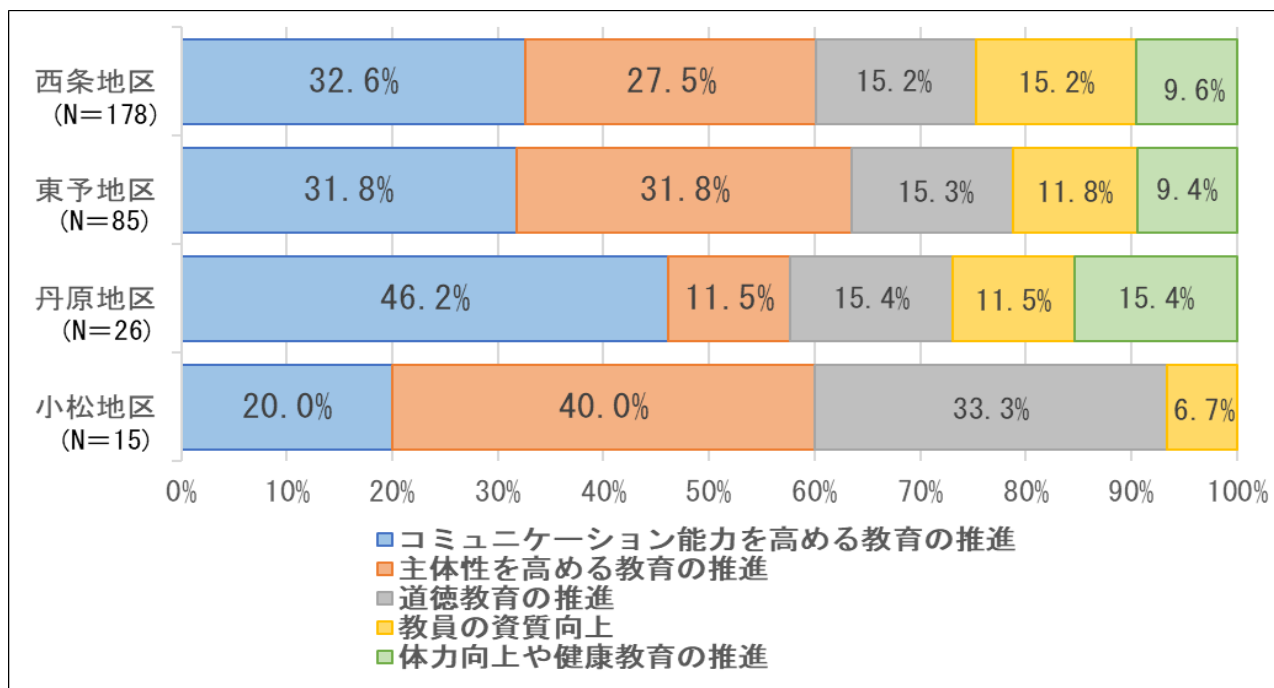
図表 3－1 2 （2）で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
（第2選択・単純集計）（N＝402）

図表 3-13 によると、年代によって回答の傾向に差異がみられますが、全体的に「コミュニケーション能力を高める教育の推進」「主体性を高める教育の推進」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



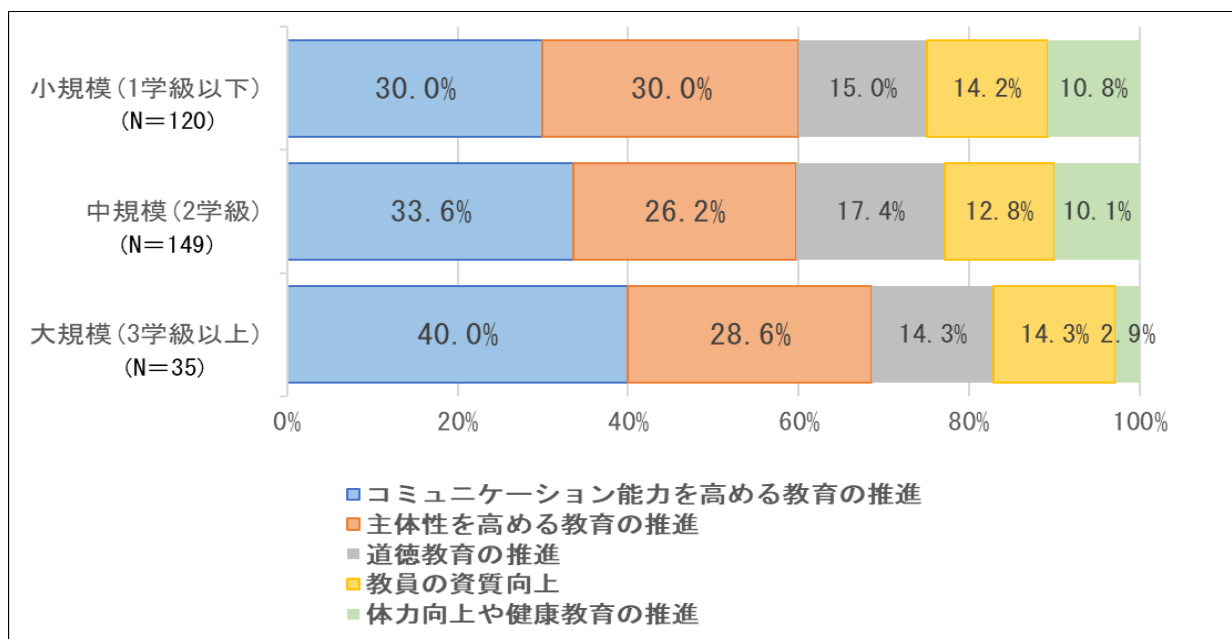
図表 3－1 3 （2）で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
（第1選択上位5項目・年齢別）

図表 3-14 によると、西条地区、丹原地区で「コミュニケーション能力を高める教育の推進」と回答した比率が最も高くなる一方、小松地区では「主体性を高める教育の推進」と回答した比率が最も高くなりました。その他の回答についても、地区によりややばらつきがみられました。



図表 3-14 (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
(第1選択上位5項目・お住まいの地区別)

図表 3-15 によると、お住まいの小学校の規模別で回答内容に大きな差異は生じず、「コミュニケーション能力を高める教育の推進」「主体性を高める教育の推進」「主体性を高める教育の推進」と回答した比率が高くなりました。



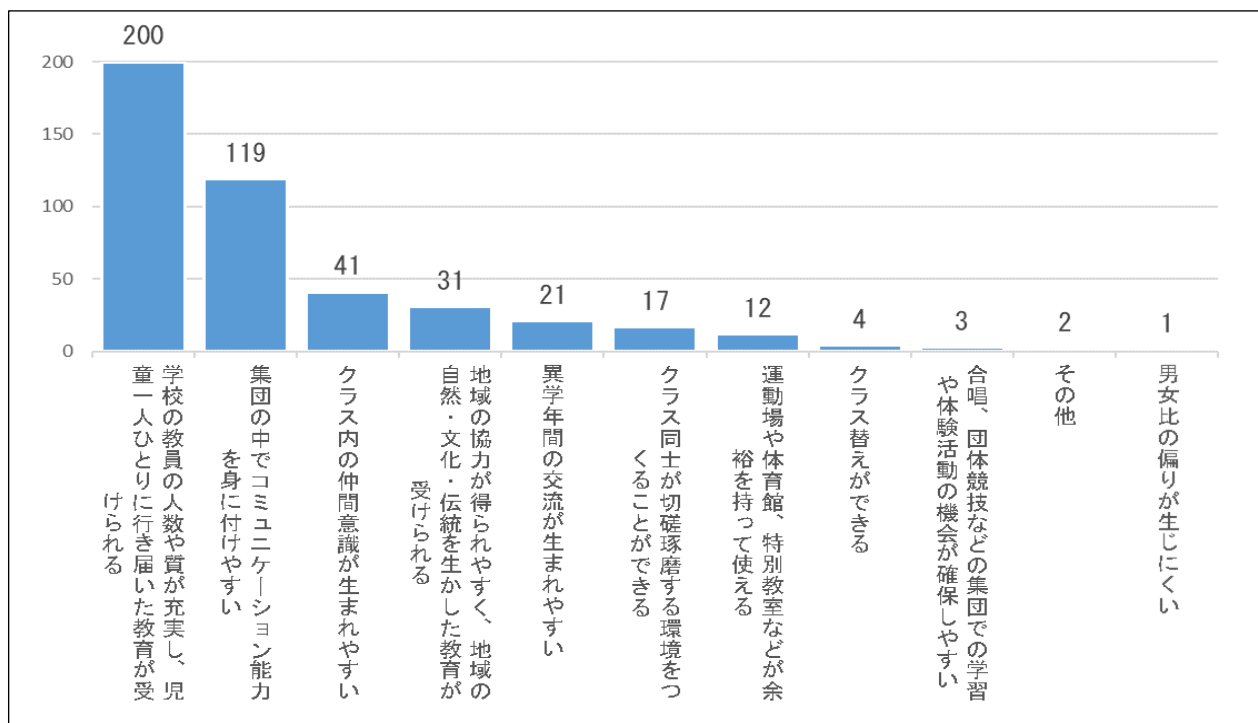
図表 3-15 (2) で選択した能力や態度を育むため、今後期待する施策
(第1選択上位5項目・お住まいの地域の小学6年生規模別)

(4) 小学校での学習環境を考える上で重視する点

【結果概要】

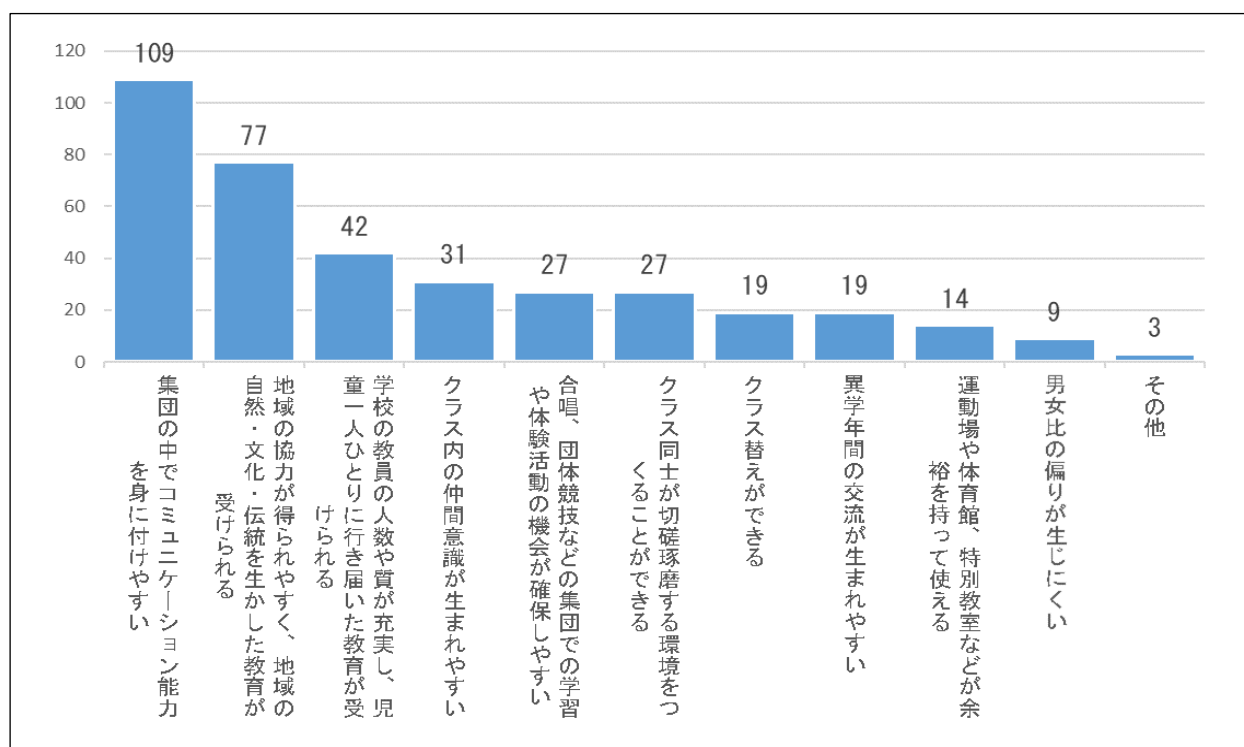
- 教員の人数や質が充実することに伴う児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる環境を望む声が最も多くなる一方で、集団の中のコミュニケーション能力を身に付ける環境やクラス内の仲間意識が生まれやすい環境など、集団の中で学び合うことの重要性を意識した回答も多くなりました。(図表 3-16、3-17 参照)
- すべての年齢で「学校の教員の人数や質が充実し児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高くなり、年齢が高くなるにつれてその点を重視する傾向がみられました。(図表 3-18)
- お住まいの地区別、小学校の規模別で大きな違いはみられませんでした(図表 3-19、3-20 参照)

図表 3-16 によると、「学校の教員の人数や質が充実し児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した方が最も多くなり、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した方が多くなりました。また、図表 3-17 によると、第2選択では「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した方が最も多くなり、次いで「地域の協力が得られやすく、地域の自然・文化・伝統を生かした教育が受けられる」と回答した方が多くなりました。



図表 3－16 小学校での学習環境を考える上で重視する点（第1選択・単純集計）

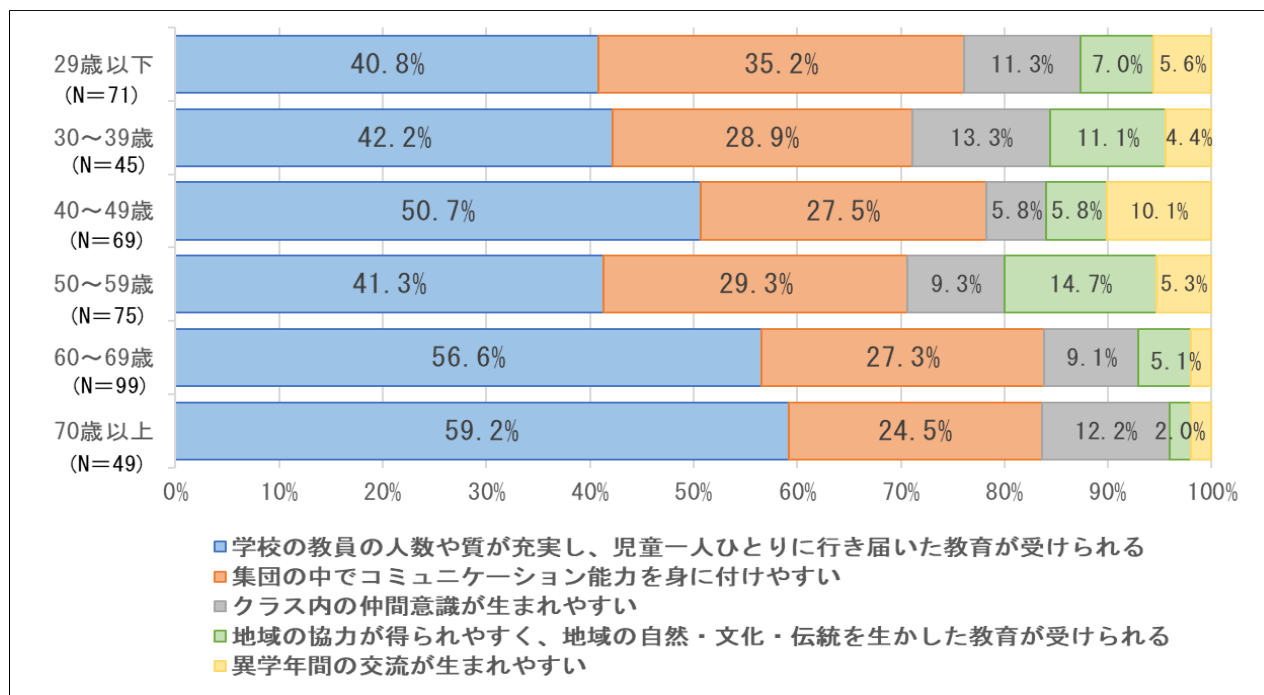
(N=451)



図表 3－17 小学校での学習環境を考える上で重視する点（第2選択・単純集計）

（N＝377）

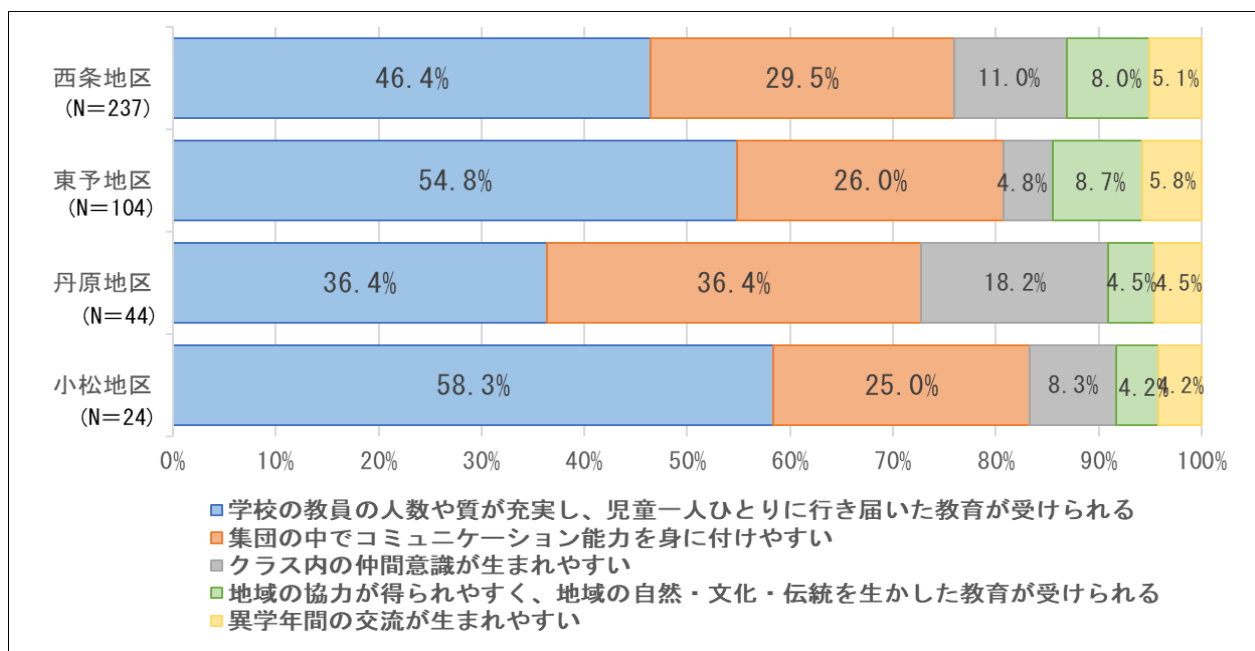
図表 3-18 によると、すべての年齢で「学校の教員の人数や質が充実し児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高くなり、年齢が高くなるにつれてその点を重視する傾向がみられます。



図表 3－18 小学校での学習環境を考える上で重視する点

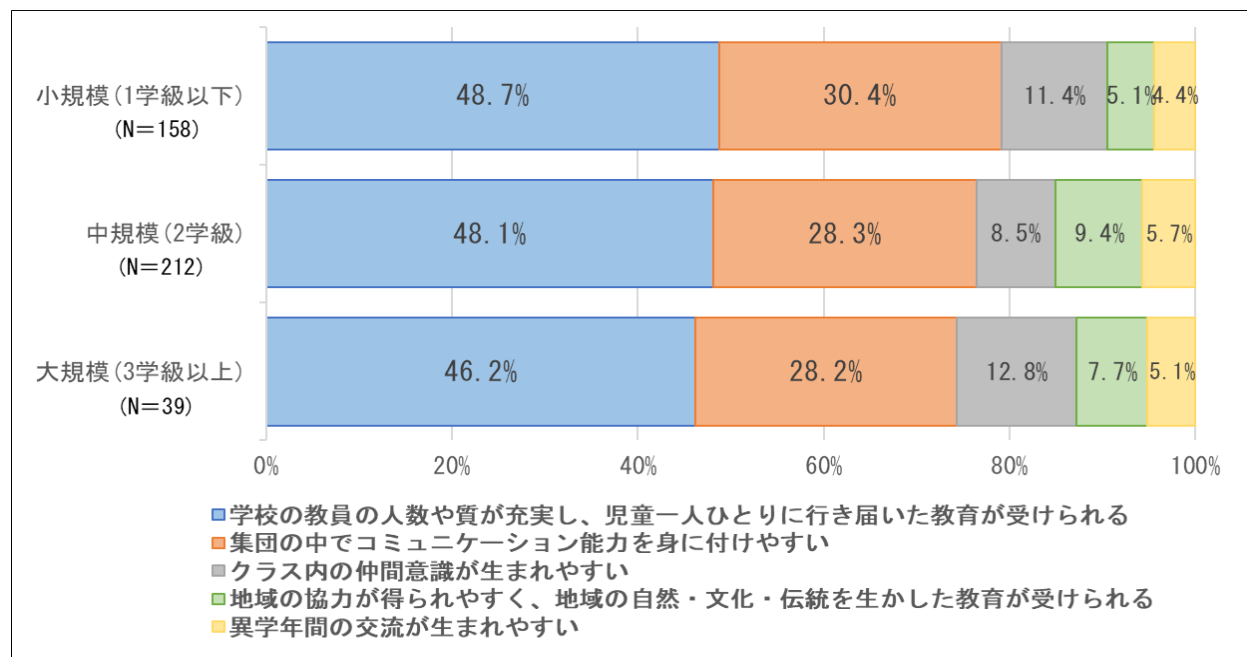
（第1選択上位5項目・年齢別）

図表 3-19 によると、西条地区、東予地区、小松地区では「学校の教員の人数や質が充実し児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した比率が高くなりましたが、丹原地区ではそれぞれが同率の結果となりました。



図表 3-19 小学校での学習環境を考える上で重視する点
(第1選択上位5項目・お住まいの地区別)

図表 3-20 によると、お住まいの地域の小学校規模を問わず、「学校の教員の人数や質が充実し児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる」と回答した比率が最も高くなり、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」と回答した比率が高くなりました。



図表 3-20 小学校での学習環境を考える上で重視する点
(第1選択上位5項目・お住まいの地域の小学6年生規模別)

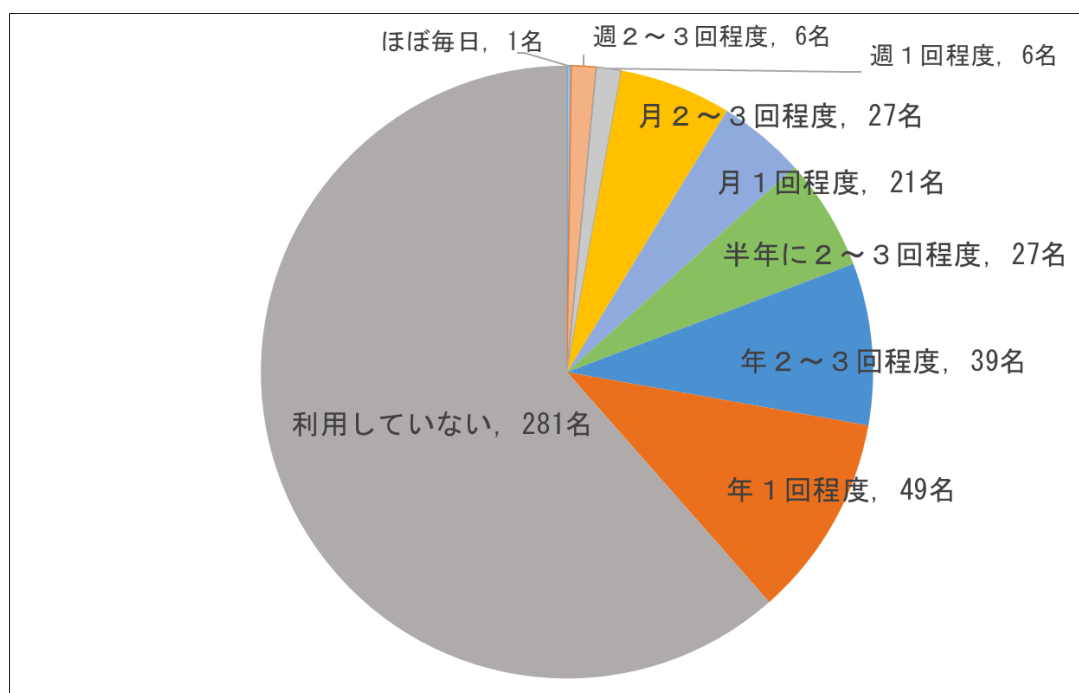
4 図書館について

(1) 図書館の利用状況

【結果概要】

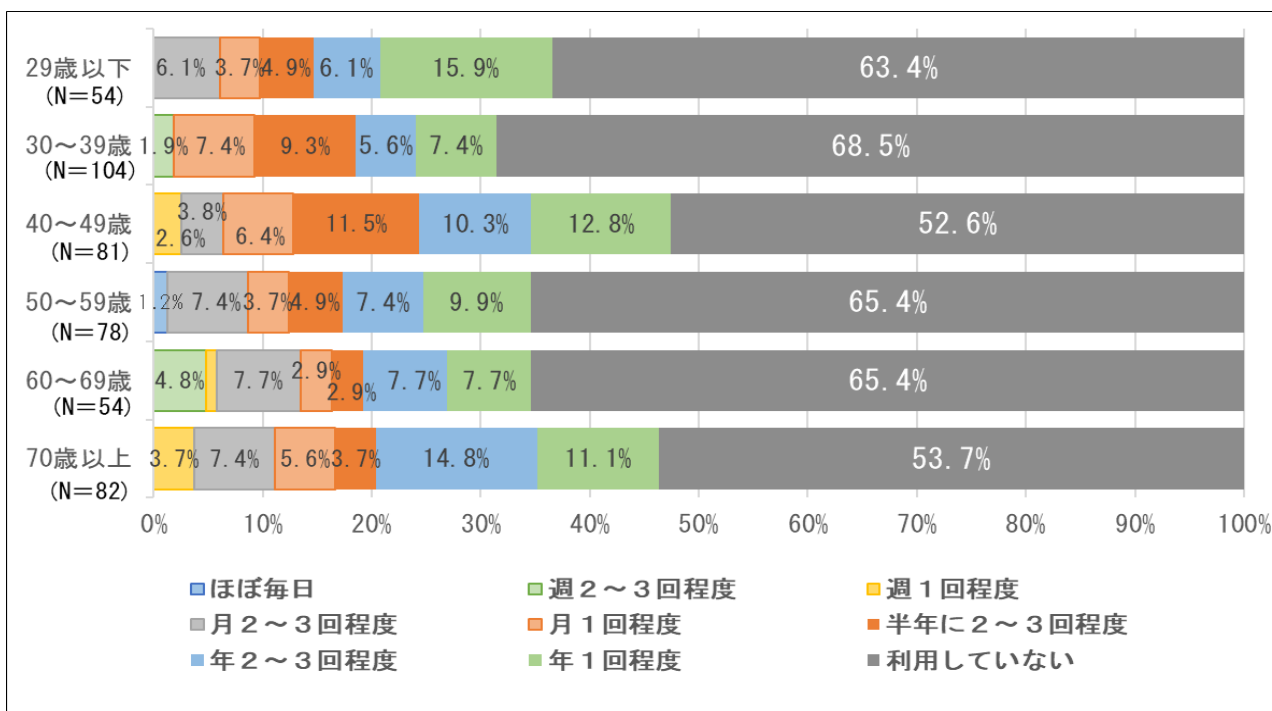
- 約 6 割の方が図書館を利用していないと回答しており、いかに図書館を利用していない方に利用を促していくのかという点が課題になっているものと推察します。(図表 4-1 参照)
- 年齢別、お住まいの地区別に利用頻度の高い層と低い層が明確に分類されることから、今後更なる図書館の利用促進を図るのであれば、ターゲットを明確にした情報発信や啓発活動を図ることが重要になると推察します。(図表 4-2、4-3)

図表 4-1 によると、「利用していない」と回答した方が最も多くなり、次いで「年 1 回程度」「2～3 回程度」と回答した方が多くなりました。



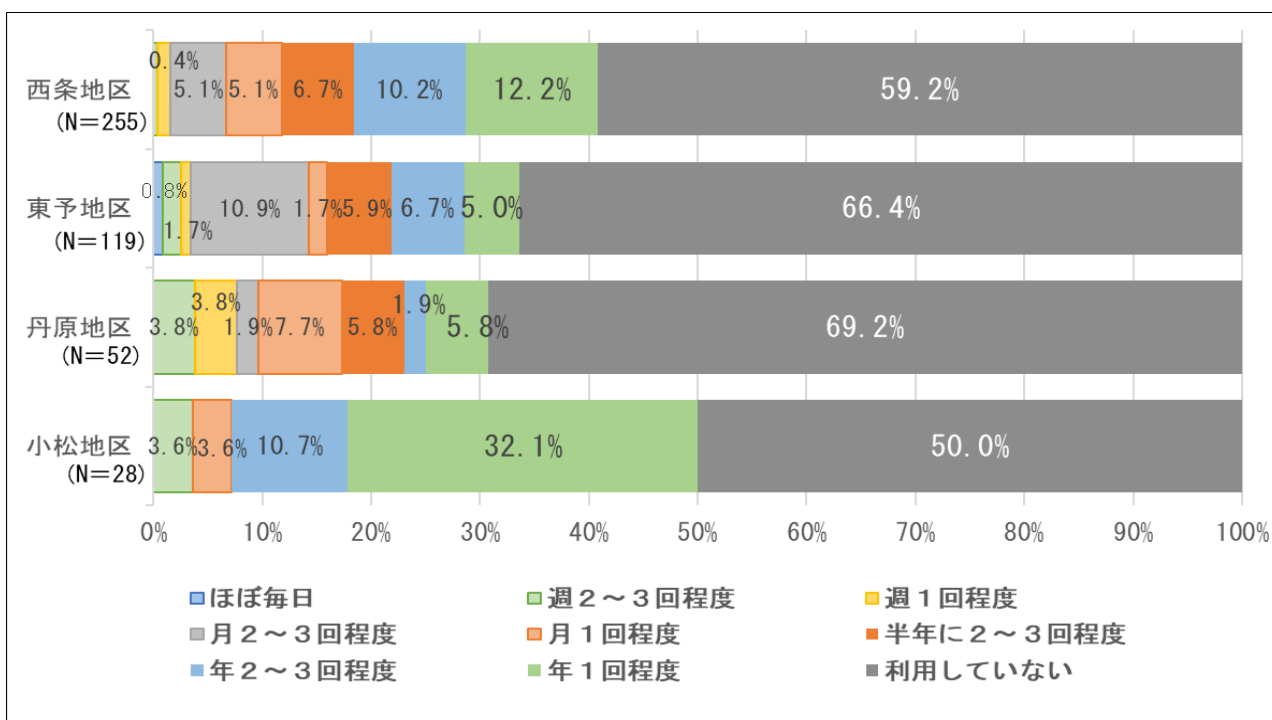
図表 4-1 図書館の利用状況 (単純集計) (N=457)

図表 4-2 によると、40～49 歳で図書館を利用していると回答した比率が最も高くなり、次いで 70 歳以上で利用していると回答した比率が高くなりました。



図表 4－2 図書館の利用状況（年齢別）

図表 4-3 によると、小松地区で図書館を利用していると回答した比率が高くなる一方で、東予地区と丹原地区では、6割以上が図書館を利用していないと回答しました。



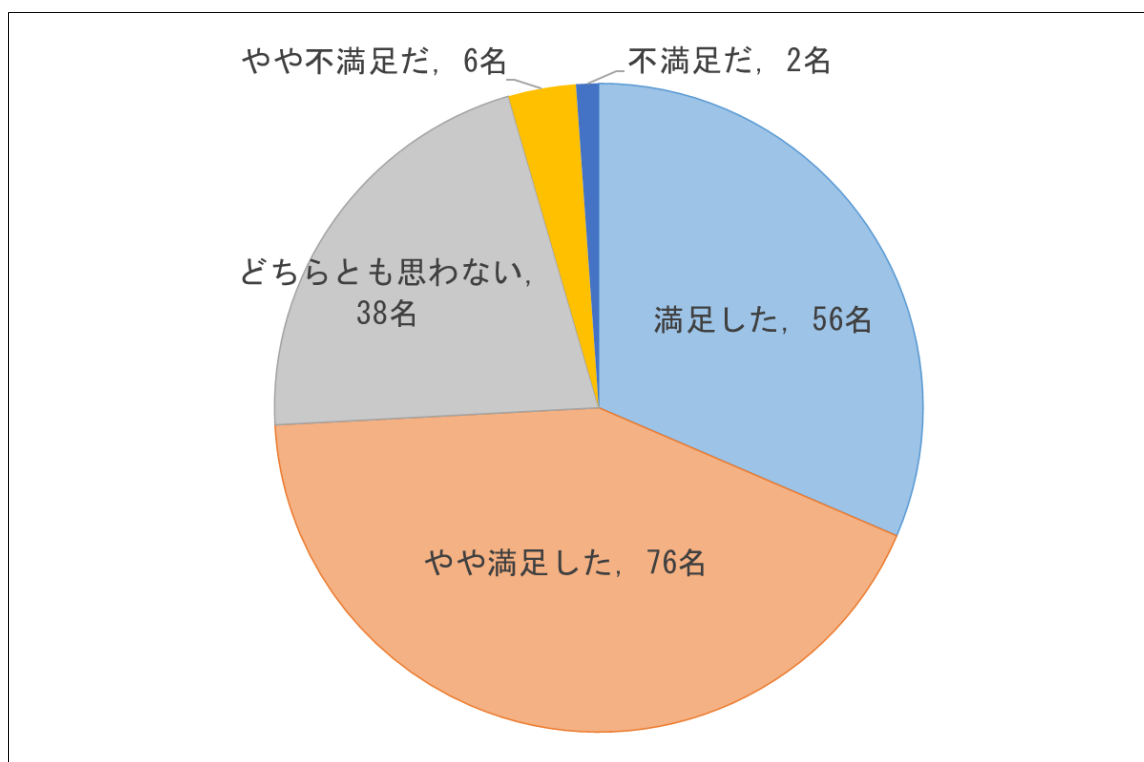
図表 4－3 図書館の利用状況（お住まいの地区別）

(2) 図書館の利用環境に対する満足度

【結果概要】

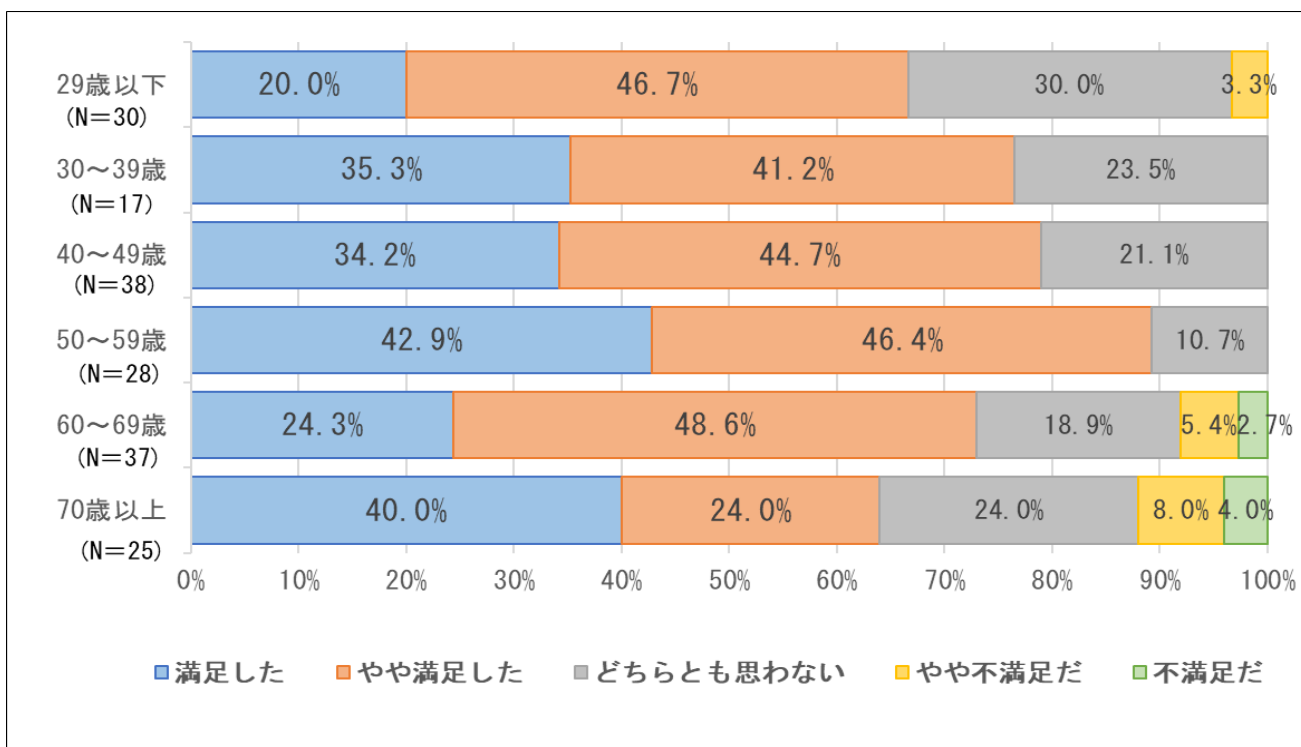
- 全体を通じ、図書館の利用環境に対して満足している傾向がみられました。(図表 4-4 参照)
- 年齢別にみると、年代によって満足度に若干の差異が生じています。(図表 4-5 参照)
- 主に利用する図書館別にみると、図書館によって満足度が異なる結果となりました。何が要因となっているのか検証してみる必要性があると感じられます。(図表 4-6 参照)

図表 4-4 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、図書館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した方が多くなり、「やや不満足だ」「不満足だ」と回答した方を大きく上回る結果となりました。



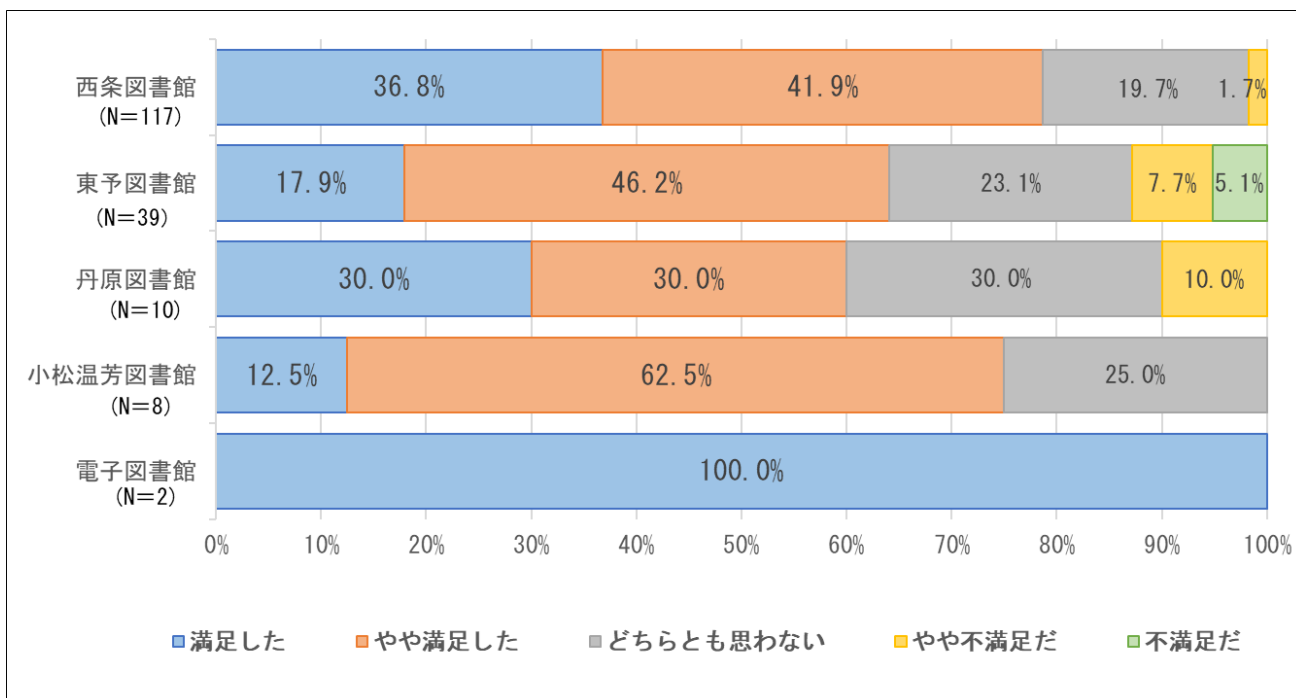
図表 4-4 図書館の利用環境に対する満足度（単純集計）（N = 178）

図表 4-5 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、50～59 歳の満足度が高くなりました。逆に、70 代以上は、「やや不満足だ」「不満足だ」と回答した比率が他の年代と比べて高くなりました。



図表 4－5 図書館の利用環境に対する満足度（年齢別）

図表 4-6 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、すべての図書館を通じ、図書館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した比率が高くなりました。一方で、主に利用する図書館によって利用環境の満足度に差異が生じる結果となりました。



図表 4－6 図書館の利用環境に対する満足度（主に利用した図書館別）

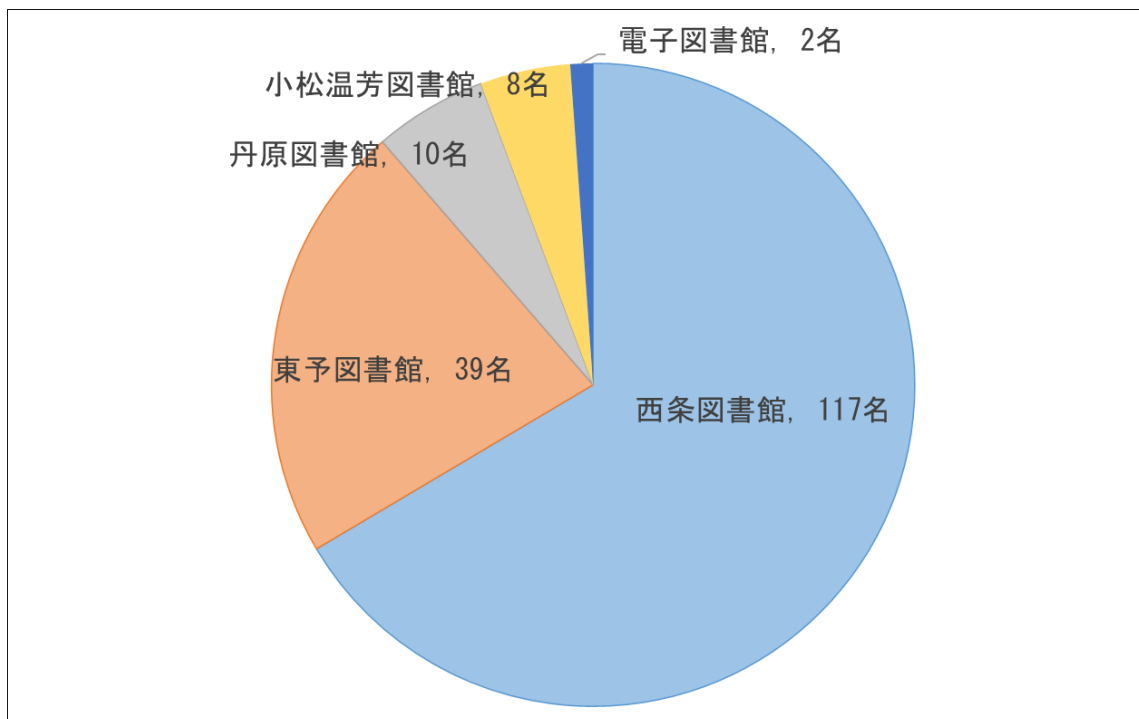
(3) 主に利用している図書館

【結果概要】

- 各地区における人口構成と比較し、西条図書館を利用していると回答した比率が高くなる一方で、東予図書館、丹原図書館、小松温芳図書館を利用していると回答した比率が低くなりました。(図表 4-7 参照)
- すべての図書館において、概ね図書館が立地している地区に居住されている方が主に利用しているという結果となりました。(図表 4-8 参照)

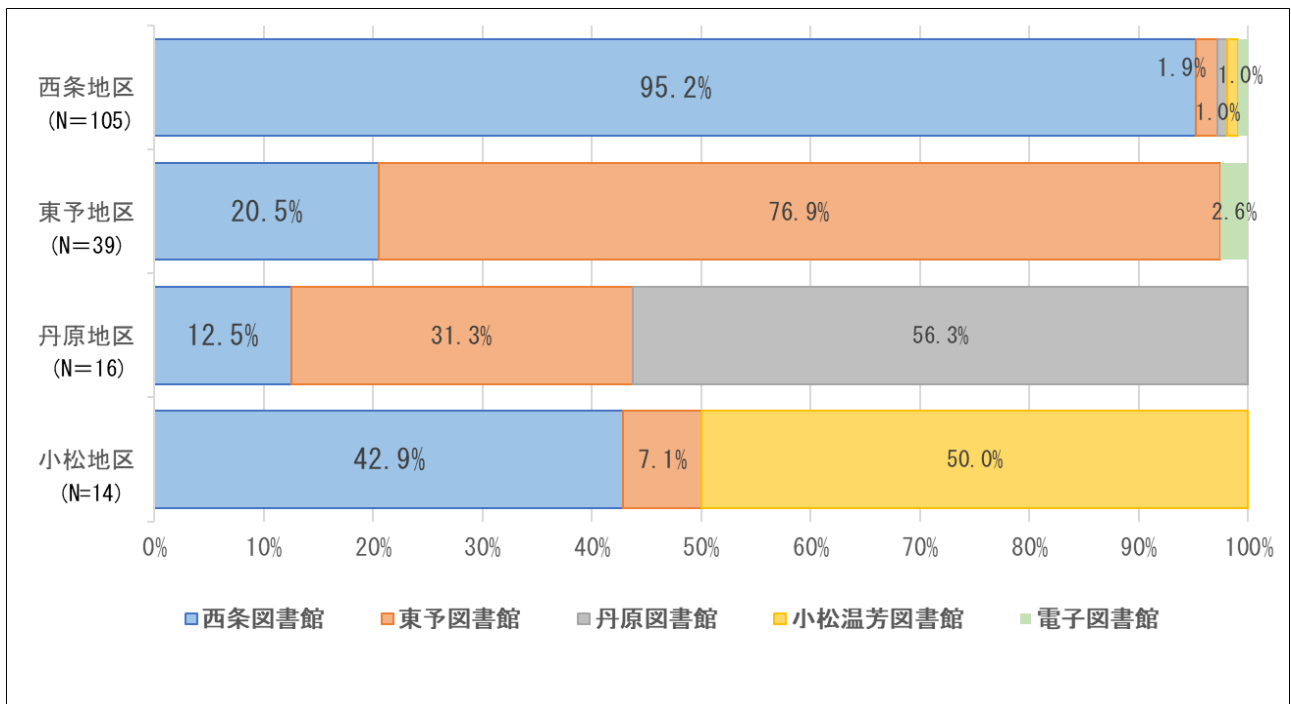
図表 4-7 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、西条図書館を主に利用していると回答した比率が高くなり、西条地区の人口規模と比較してもやや多い結果となりました。また、その他の図書館については、各地区における人口構成と比較し、主に利用していると回答した比率が低くなる傾向がみられました。

なお、主に移動図書館を利用していると回答した方はいませんでした。



図表 4-7 主に利用している図書館（単純集計）（N = 176）

図表 4-8 によると、すべての図書館において、概ね図書館が立地している地区に居住されている方が主に利用したと回答した比率が高くなりました。



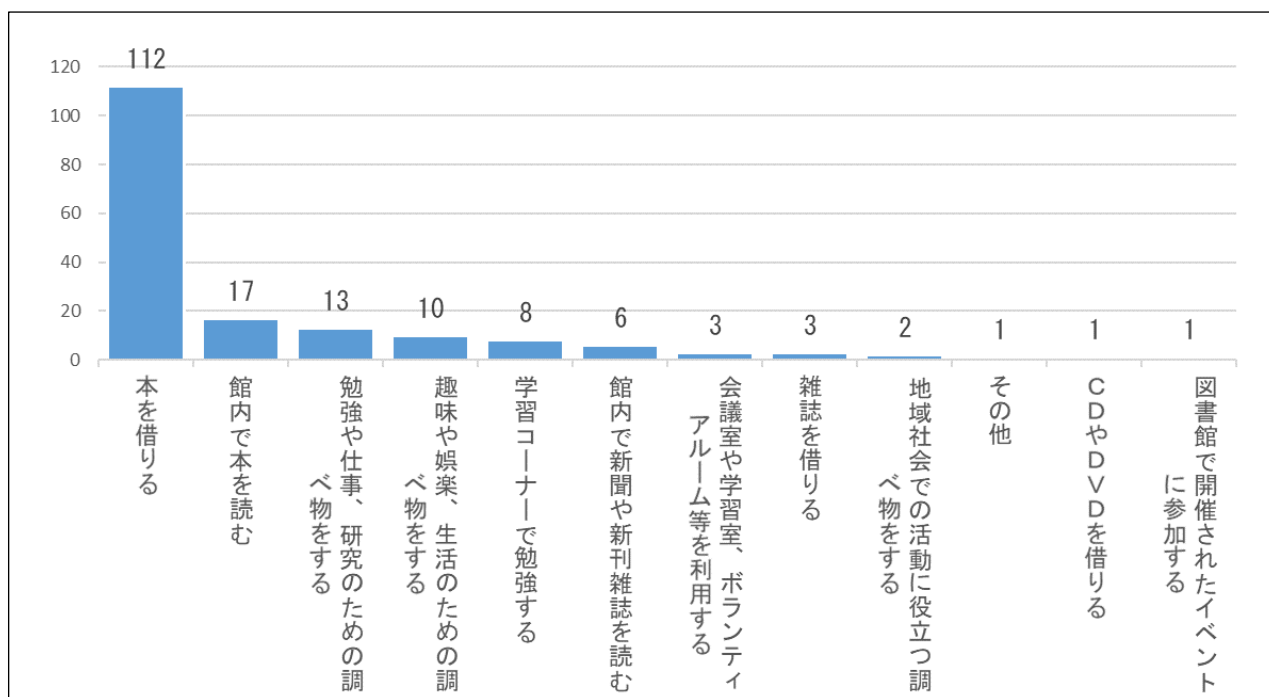
図表 4－8 主に利用している図書館（お住まいの地区別）

（４）図書館を利用した主な目的

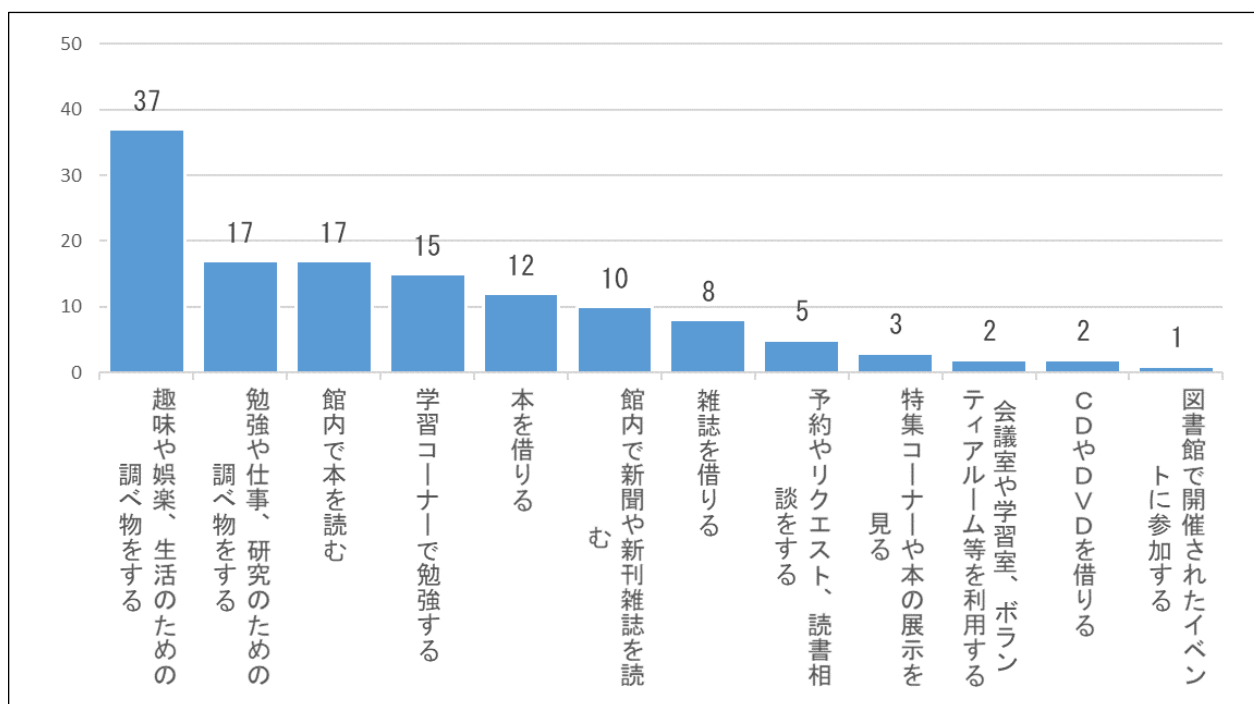
【結果概要】

- 図書館を利用される方の多くが、本を借りることを目的としている傾向が見られました。（図表 4-9、4-10 参照）
- 年齢別にみると、年齢が低いほど本を借りる以外の目的で図書館を利用されている傾向がみられ、年代によって利用目的に違いが見られます。（図表 4-11 参照）
- 主に利用する図書館別にみると、それぞれの図書館によって利用目的に緩やかな差異がみられるものの、概ね変わらない結果となりました（図表 4-12 参照）

図表 4-9 によると、図書館を利用されたと回答した方のうち、「本を借りる」ために利用したと回答した方が圧倒的に多くなりました。また、図表 4-10 によると、第 2 選択では「趣味や娯楽、生活のための調べ物をする」と回答した方が多くなりました。

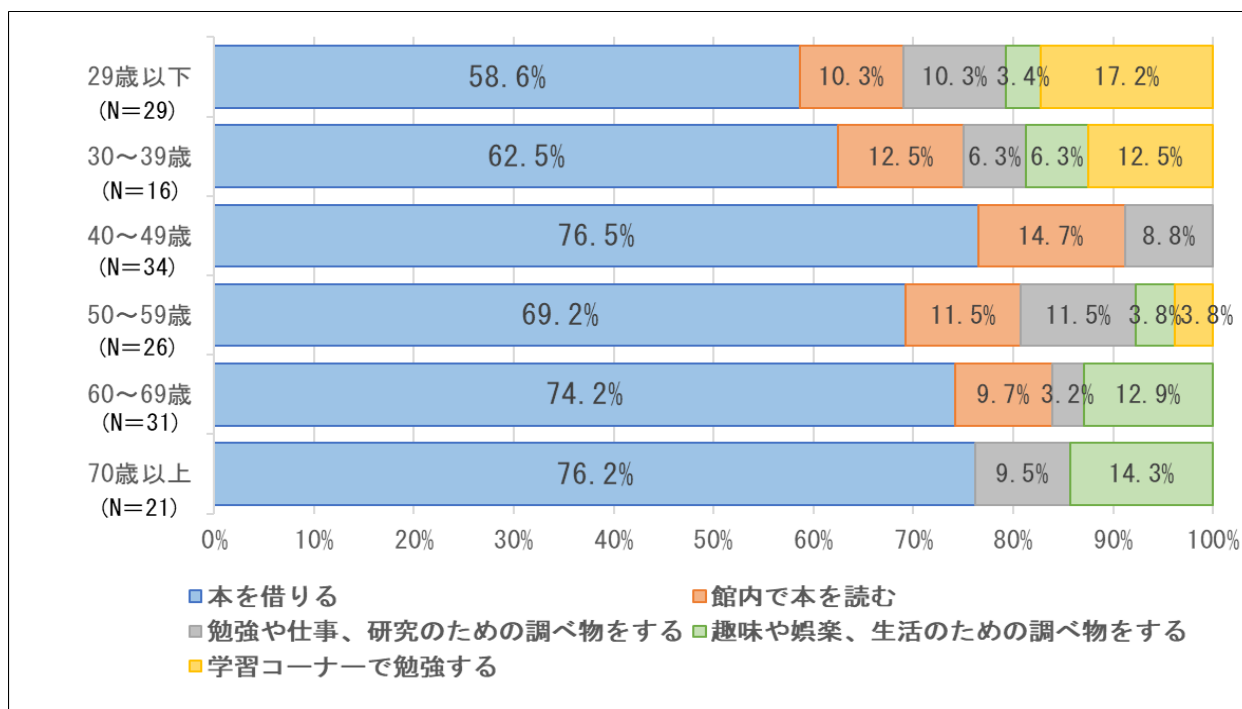


図表 4－9 図書館を利用した主な目的（第1選択・単純集計）（N＝177）



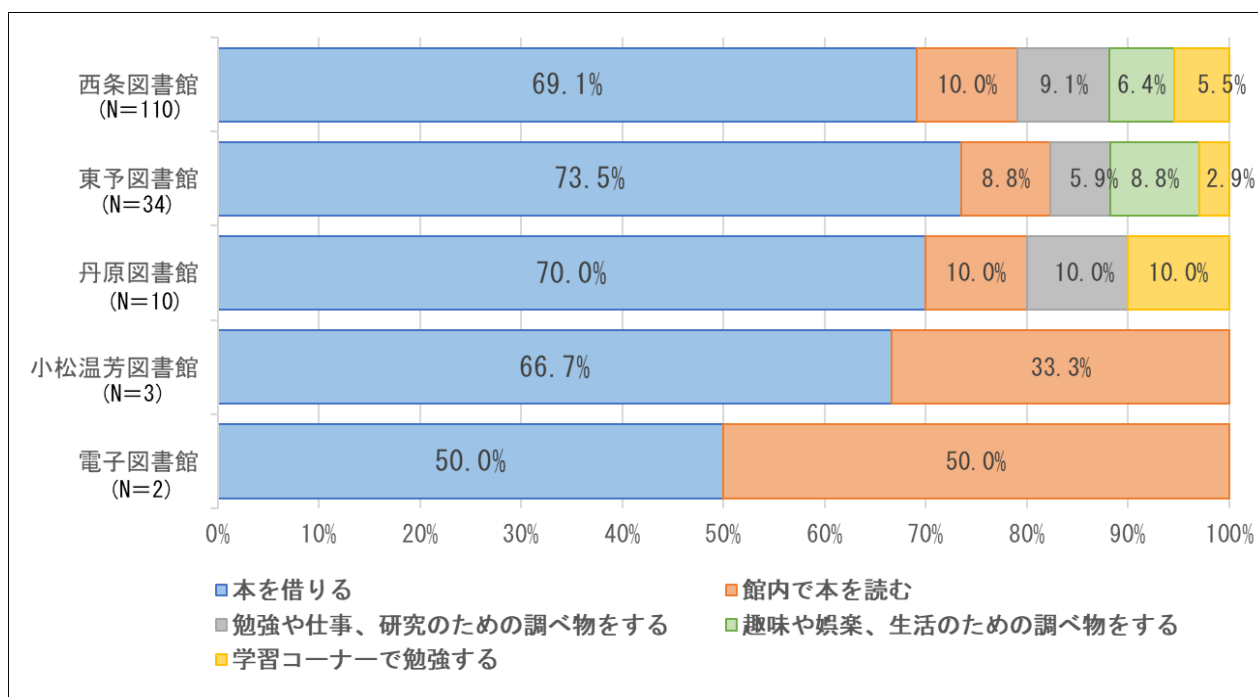
図表 4－10 図書館を利用した主な目的（第2選択・単純集計）（N＝129）

図表 4-11 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、年齢が高くなるにつれて「本を借りる」ために利用したと回答した比率が高くなり、年齢が低いほど本を借りる以外の目的で図書館を利用されている傾向がみられます。20～30 歳代で「学習コーナーで勉強する」と回答した比率が高くなる一方、60 歳代や 70 歳以上で「趣味や娯楽、生活のための調べ物をする」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



図表 4－1 1 図書館を利用した主な目的（第 1 選択上位 5 項目・年齢別）

図表 4-12 によると、図書館を利用したと回答した方のうち、電子図書館を除きすべての図書館において「本を借りる」ために図書館を利用したと回答した比率が高くなりました。小松温芳図書館では「館内で本を読む」と回答した比率が他の図書館と比べて高くなりました。



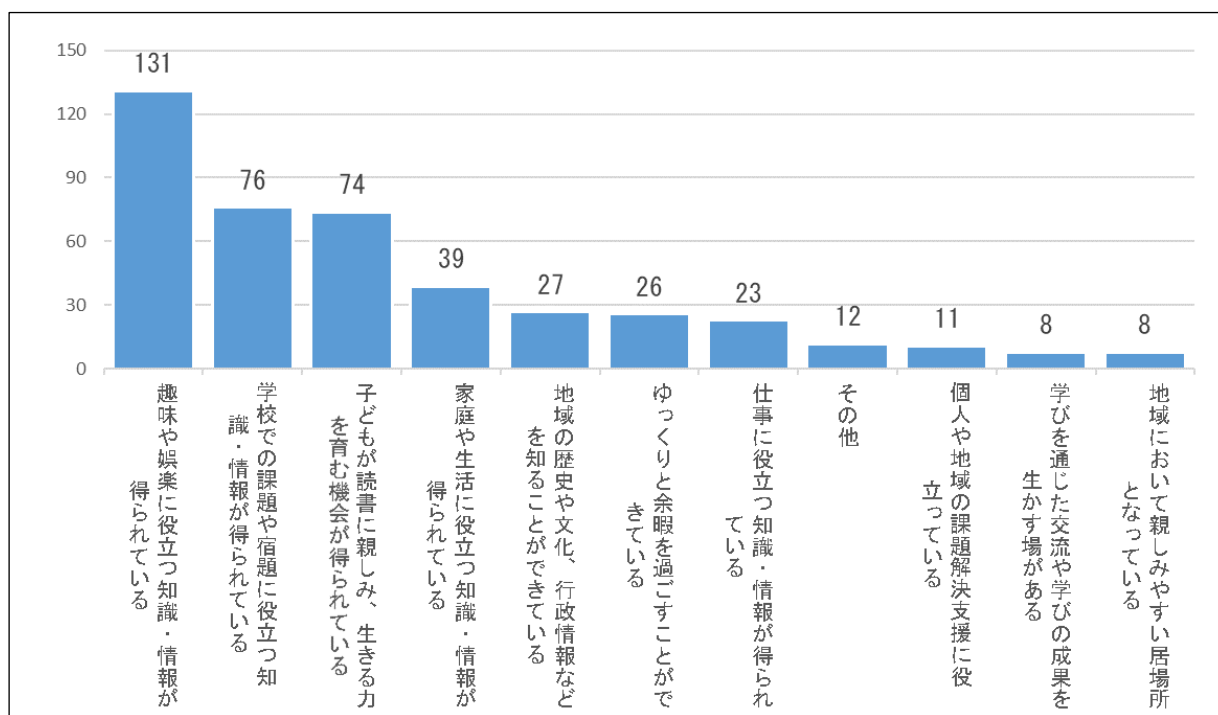
図表 4－1 2 図書館を利用した主な目的（第 1 選択上位 5 項目・主に利用した図書館別）

(5) 図書館の利用が役立っていると感じる点

【結果概要】

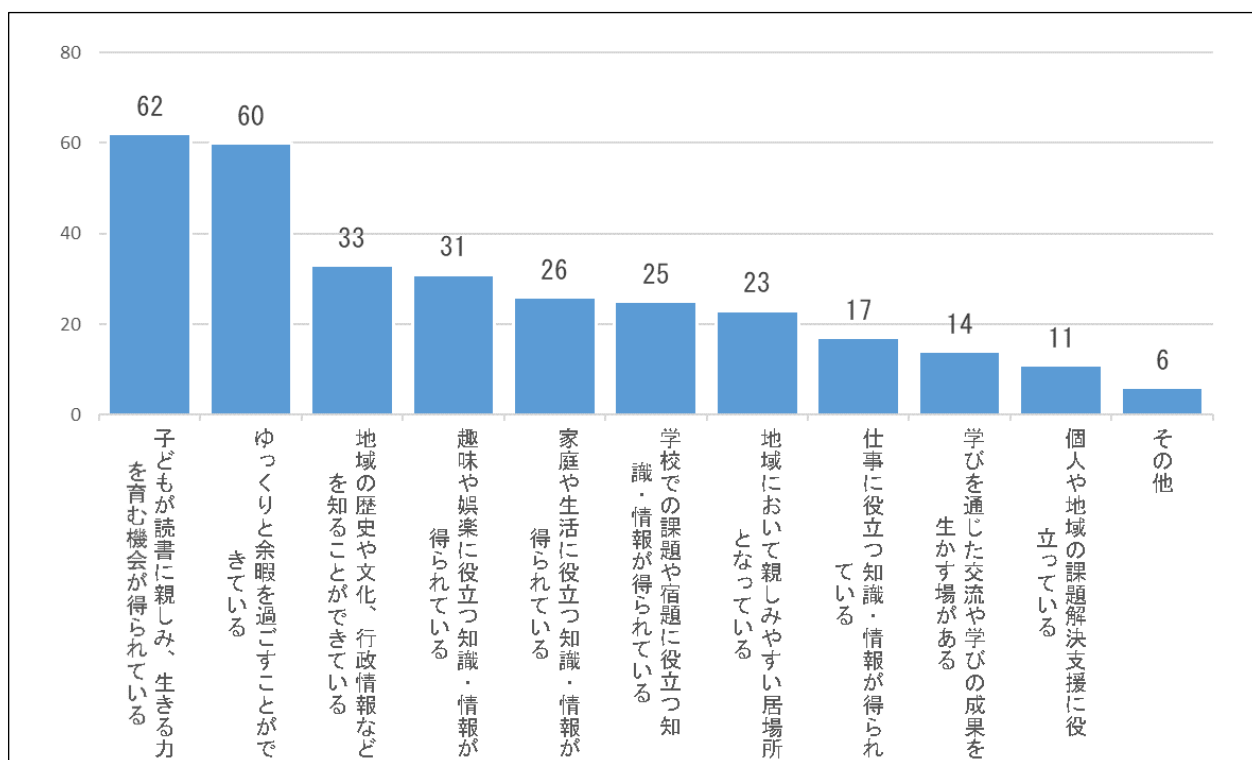
- 半数以上の方が、趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている、子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られていると感じており、図書館が子どもの発達や教育に重要な役割を担っていると感じていることが読み取れます。(図表 4-13、4-14 参照)
- 主に利用する図書館別にみると、それぞれの図書館によって役立つ点に緩やかな差異はみられるものの、概ね変わらない結果となりました(図表 4-16 参照)

図表 4-13 によると、「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と感じている方が多くなりました。また、図表 4-14 によると、第 2 選択では「子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている」「ゆっくりと余暇を過ごすことができる」と回答した方が多くなりました。



図表 4-13 図書館の利用が役立っていると感じる点

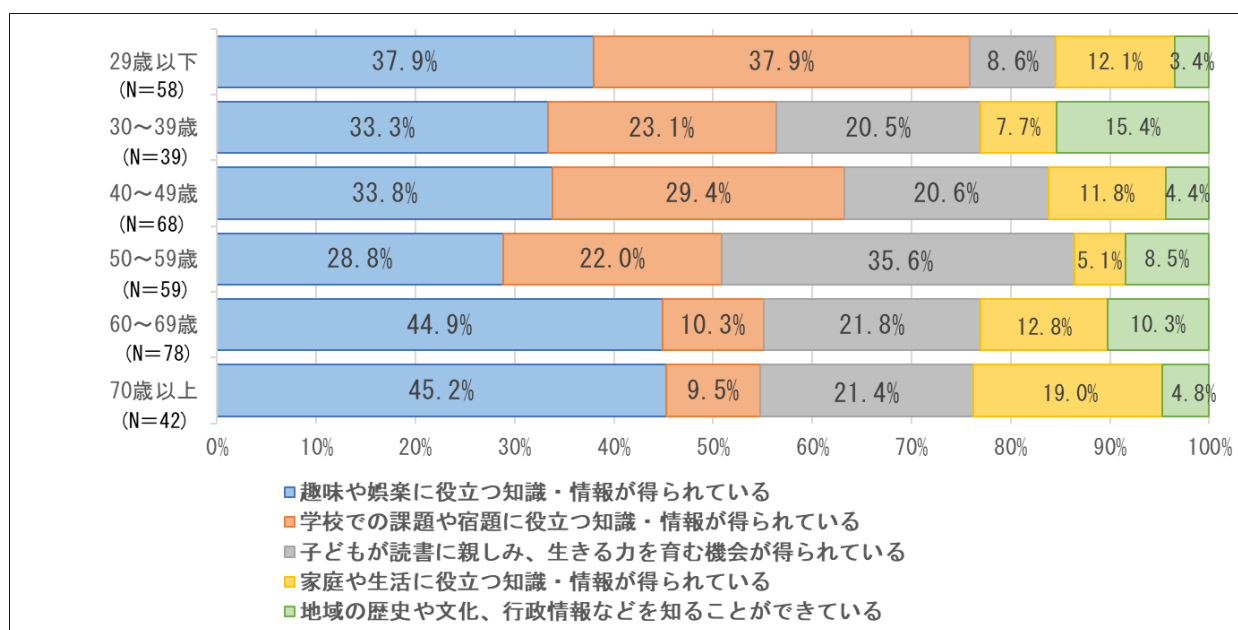
(第 1 選択・単純集計) (N=435)



図表 4－14 図書館の利用が役立っていると感じる点

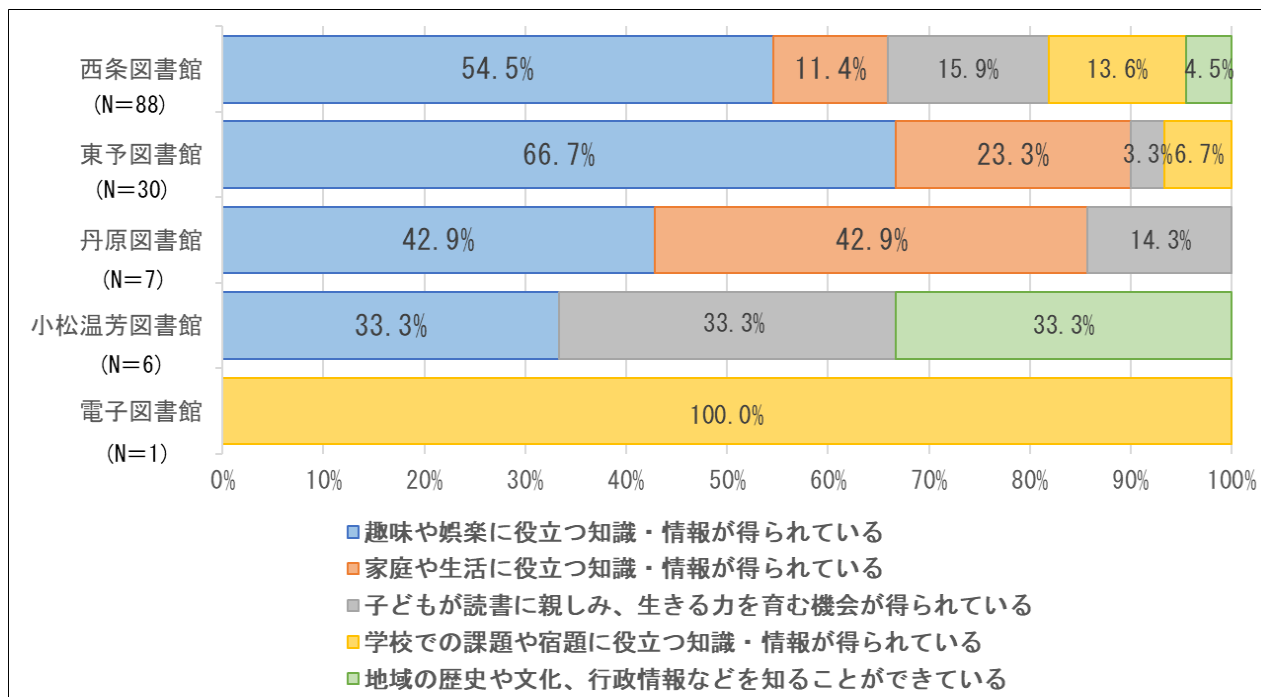
(第2選択・単純集計) (N=308)

図表 4-15 によると、60 歳以上では「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」「家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている」と回答する比率が高くなる一方、年齢が低い世代は「学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が得られている」と回答する比率が高くなる傾向がみられました。



図表 4－15 図書館の利用が役立っていると感じる点 (第1選択上位5項目・年齢別)

図表 4-16 によると、西条図書館と東予図書館では「趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」と回答した比率が高くなった一方、丹原図書館では「家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている」小松温芳図書館では「地域の歴史や文化、行政情報などを知ることができている」と回答した比率が他の図書館に比べてそれぞれ高くなりました。



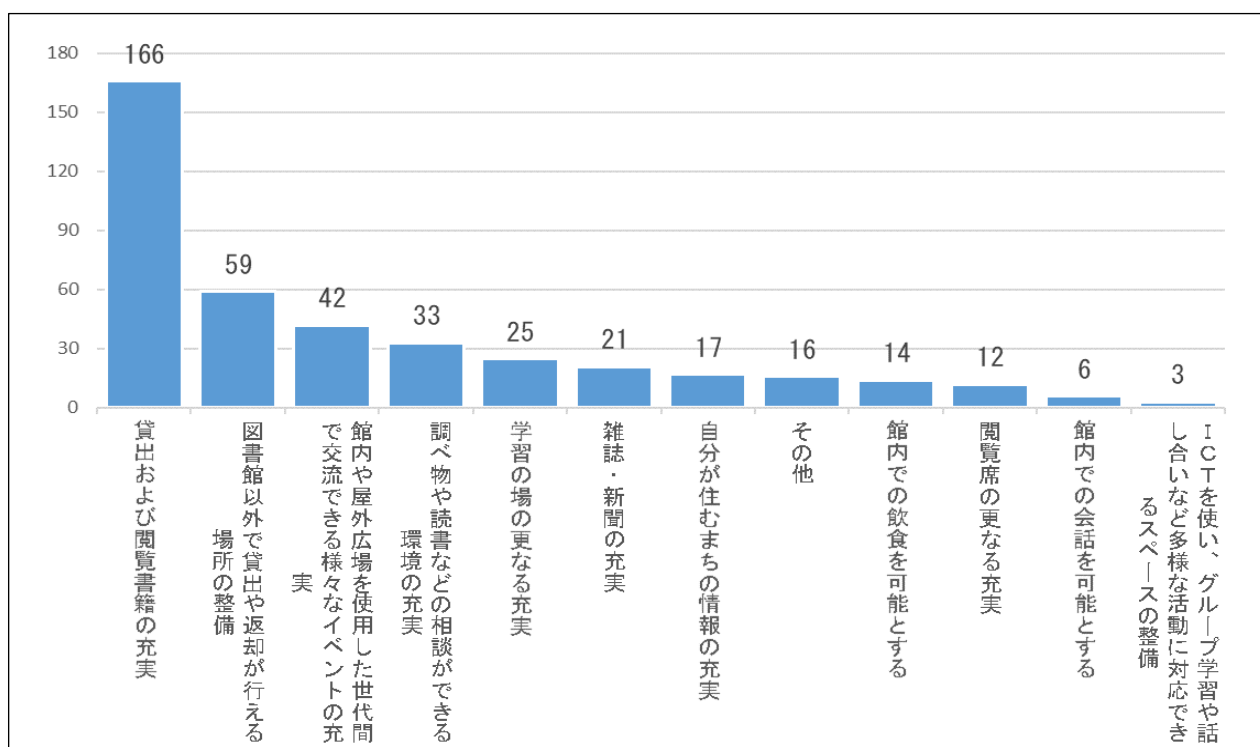
図表 4-16 図書館の利用が役立っていると感じる点
(第1選択上位5項目・主に利用した図書館別)

(6) 図書館に関連して今後期待する点

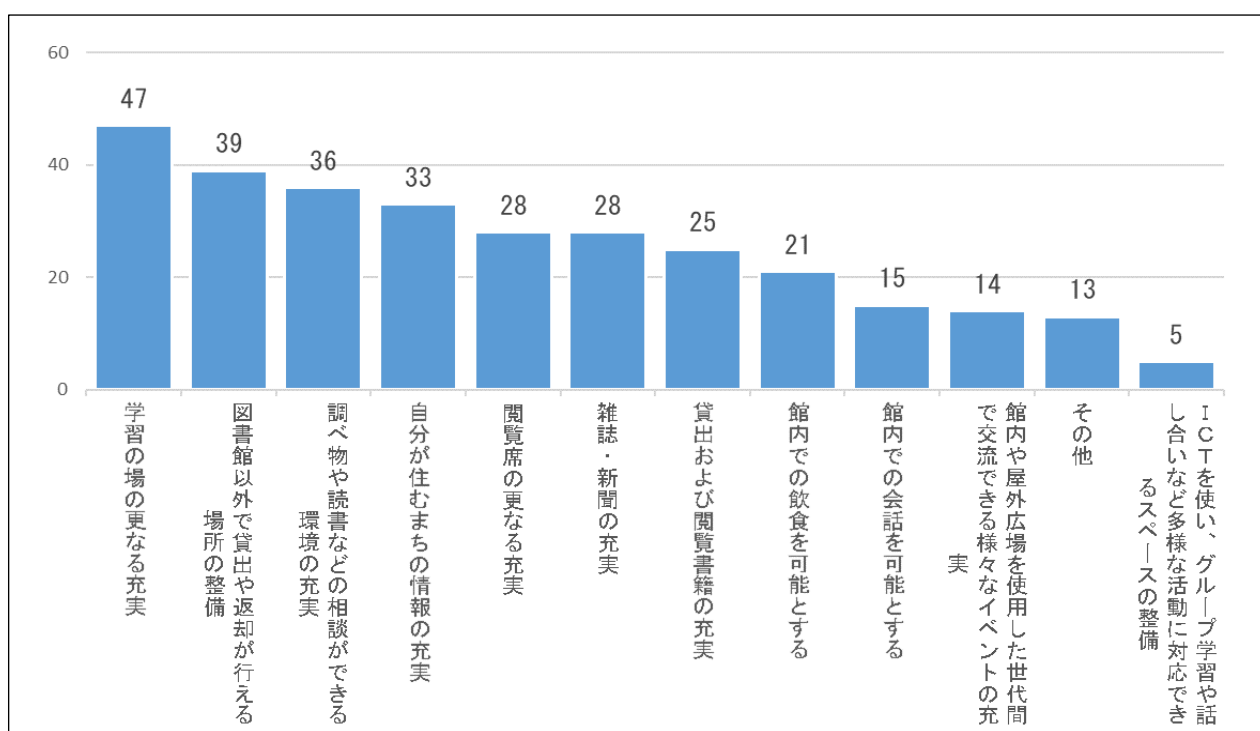
【結果概要】

- 書籍の充実、図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備、学習の場のさらなる充実に期待する声が多くみられました。(図表 4-17、4-18 参照)
- 年齢別にみると、年齢が低くなるほど「調べ物や読書などの相談ができる環境の充実」「学習の場の更なる充実」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。(図表 4-19)
- 主に利用する図書館別にみると、全体を通じて貸出および閲覧書籍の充実を求める傾向にありますが、丹原図書館と小松温芳図書館では、館内や屋外広場を使用した世代間で交流できる様々なイベントの充実に期待する声が多くみられました。(図表 4-20)

図表 4-17 によると、「貸出および閲覧書籍の充実」と回答した方が最も多くなり、次いで「図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備」と回答した方が多くなりました。また、図表 4-18 によると、第2選択では「学習の場の更なる充実」と回答した方が最も多くなり、次いで「図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備」「調べ物や読書などの相談ができる環境の充実」と回答した方が多くなりました。

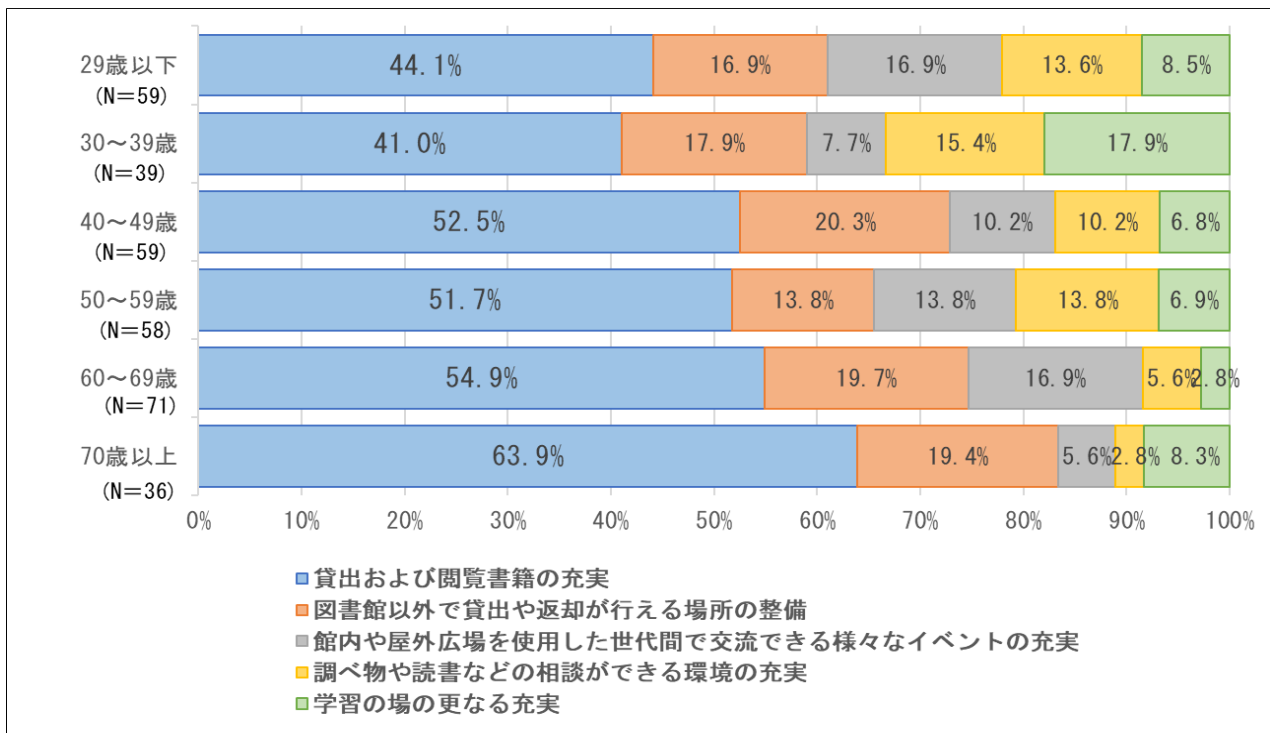


図表 4－17 図書館に関連して今後期待する点（第1選択・単純集計）（N＝414）



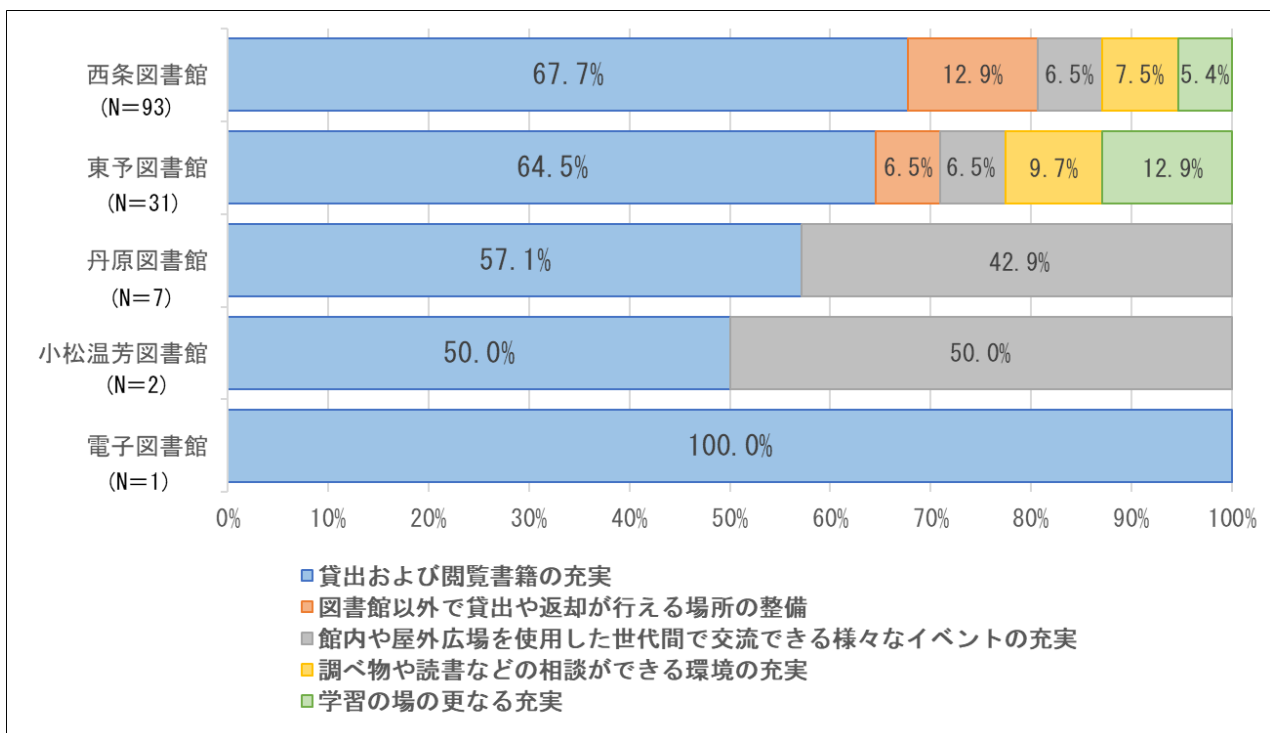
図表 4－18 図書館に関連して今後期待する点（第2選択・単純集計）（N＝304）

図表 4-19 によると、年齢が高くなるにつれて「貸出および閲覧書籍の充実」と回答した比率が高くなる傾向がみられ、年齢が低くなるにつれて「調べ物や読書などの相談ができる環境の充実」「学習の場の更なる充実」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



図表 4－19 図書館に関連して今後期待する点（第1選択上位5項目・主に利用した図書館別）

図表 4-20 によると、すべての主に利用した図書館別で「貸出および閲覧書籍の充実」と回答した比率が高くなりました。また、丹原図書館と小松温芳図書館では、「貸出および閲覧書籍の充実」のほかに「館内や屋外広場を使用した世代間で交流できる様々なイベントの充実」と回答した比率が高くなりました。



図表 4－20 図書館に関連して今後期待する点（第1選択上位5項目・主に利用した図書館別）

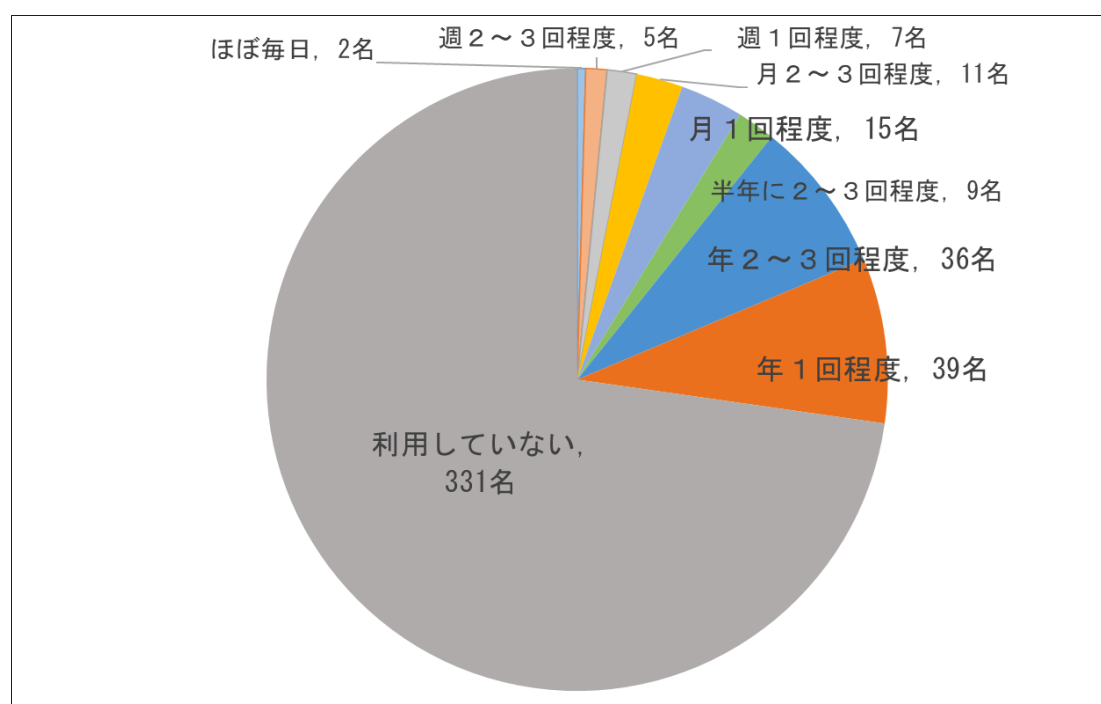
5 公民館について

(1) 公民館の利用状況

【結果概要】

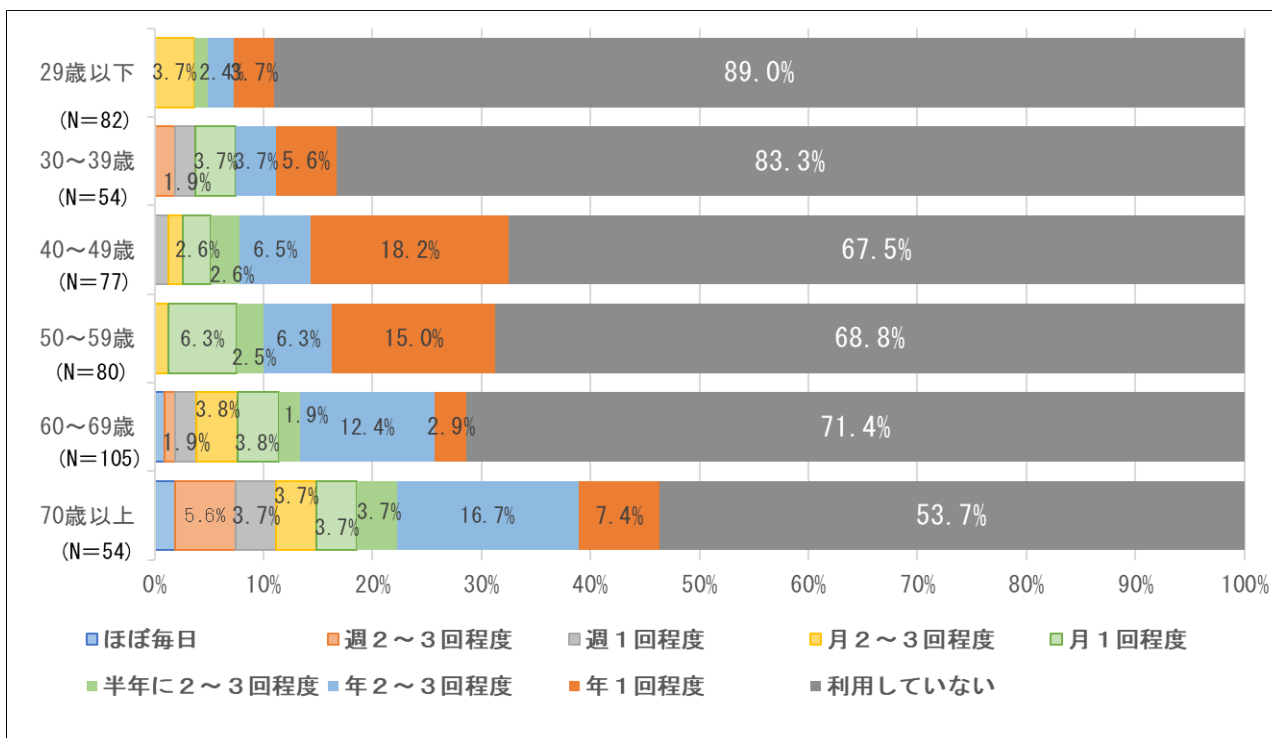
- 公民館を利用していないと回答した方が約7割という結果となりました。市民にとって公民館がいかにあるべきなのかという点について再考が必要ではないかと推察されます。(図表 5-1 参照)
- 年齢別にみると、20 歳～30 歳代の利用する頻度が低くなる傾向がみられます。公民館の利用促進を図っていくためには、若い方が公民館を利用する方法を考えることがポイントになると推察します。(図表 5-2 参照)

図表 5-1 によると、公民館を「利用していない」と回答した方が最も多く、次いで「年 1 回程度」「年 2～3 回程度」と回答した方が多くなりました。



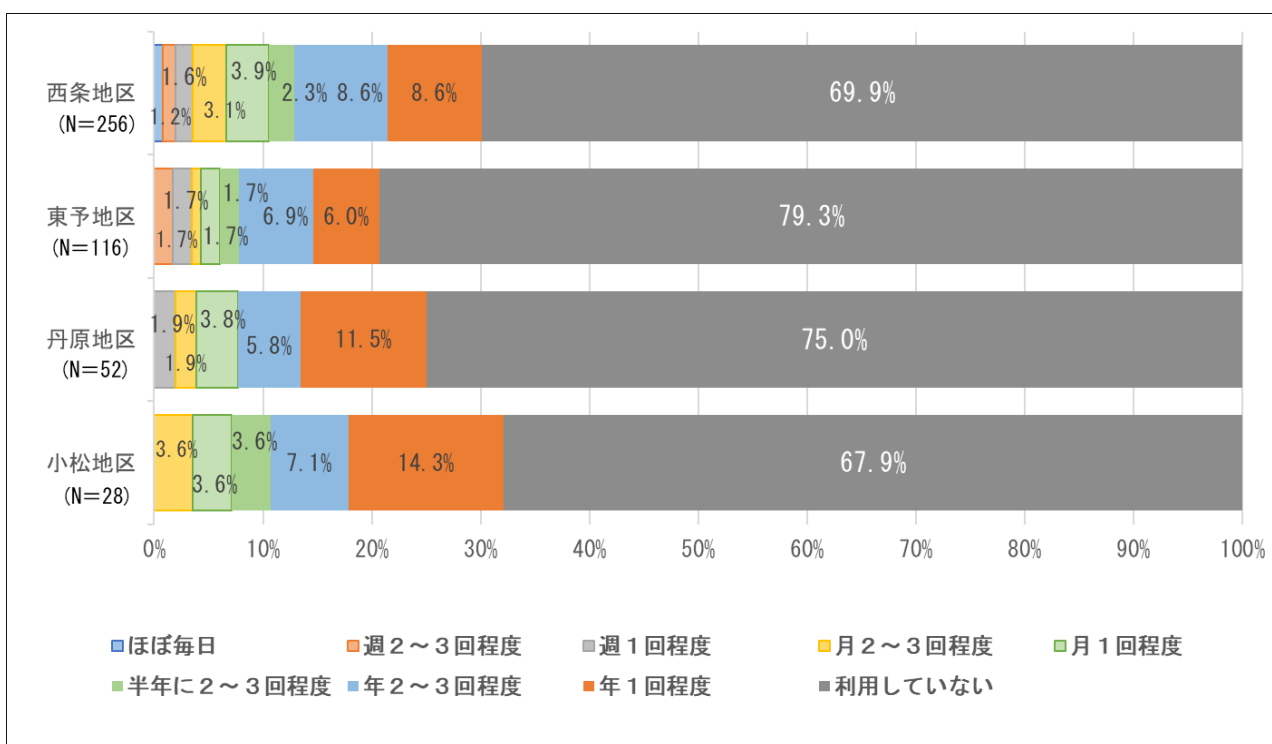
図表 5 - 1 公民館の利用状況（単純集計）（N = 4 5 5）

図表 5-2 によると、すべての年齢において、公民館を「利用していない」と回答した比率が5割を超え、特に20～30歳代の比率が高くなっています。



図表 5－2 公民館の利用状況（年齢別）

図表 5-3 によると、すべての地区を通じて公民館の利用頻度に大きな差異は生じていませんが、他の地区と比較して東予地区では「利用していない」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



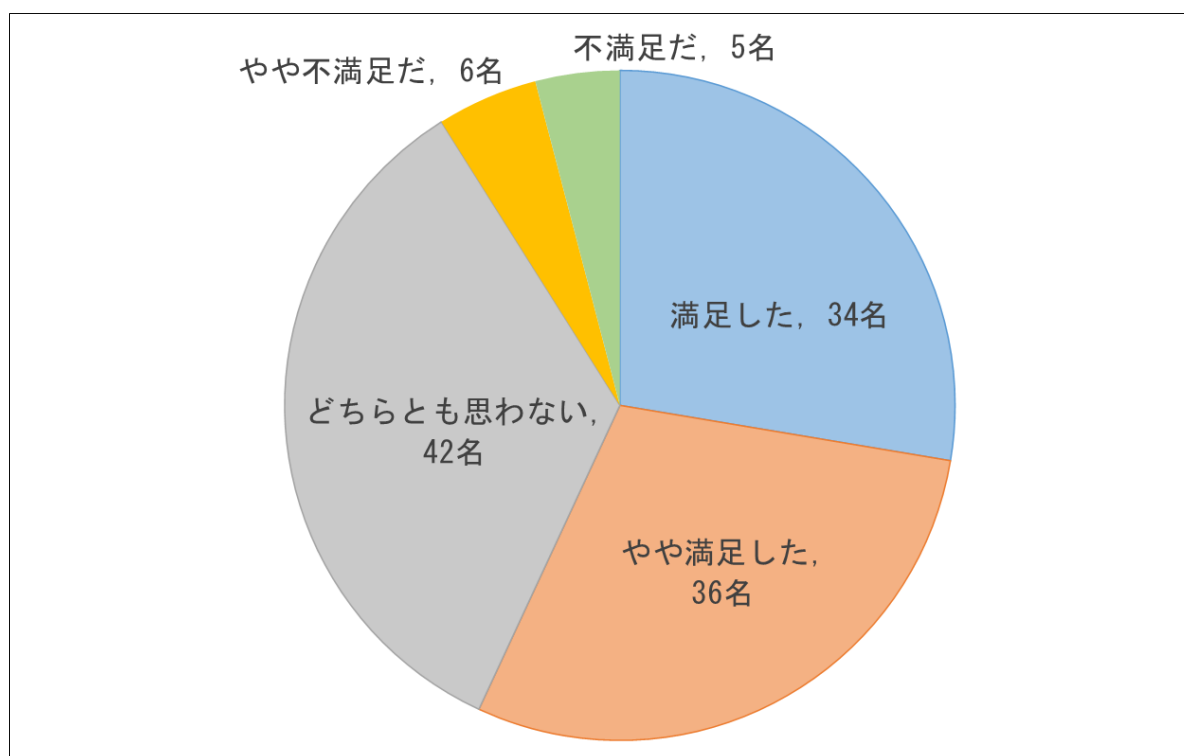
図表 5－3 公民館の利用状況（お住まいの地区別）

(2) 公民館の利用環境に対する満足度

【結果概要】

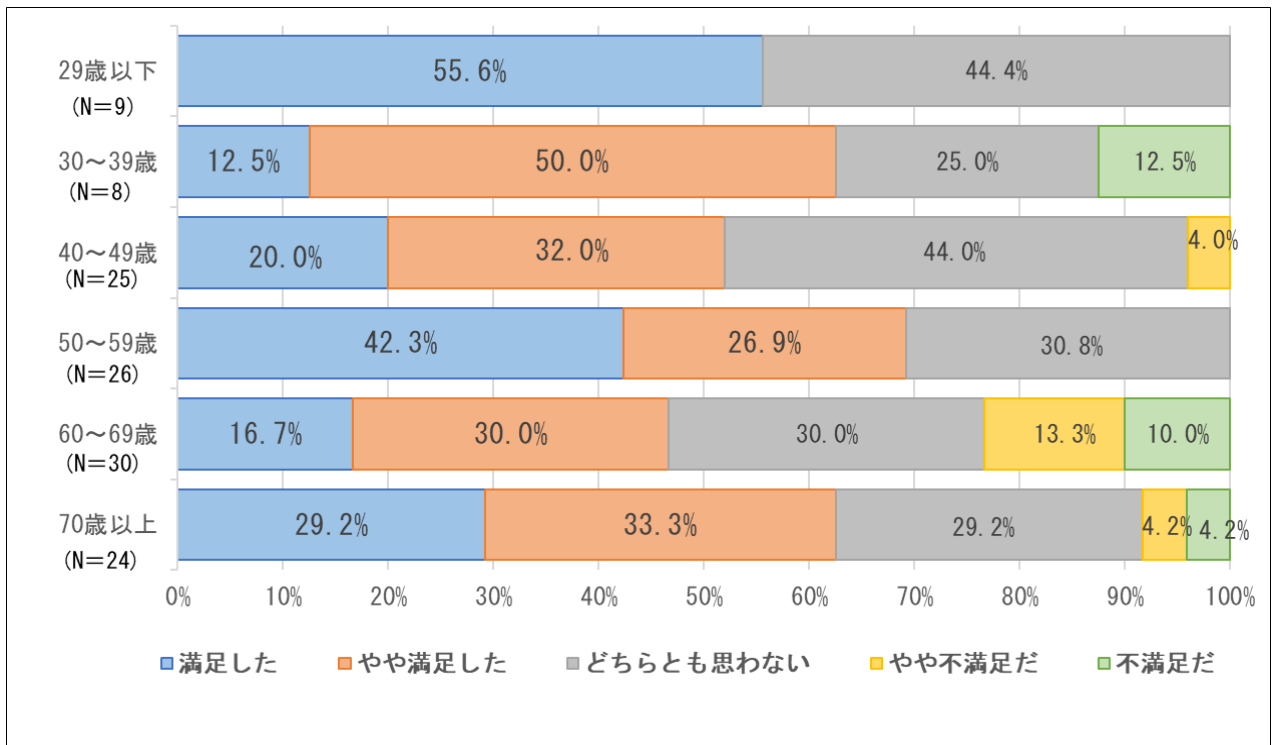
- 公民館を利用したと回答した方の半数以上が、公民館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答する結果となりました。(図表 5-4 参照)
- お住まいの地区別でみると、公民館の利用に概ね満足している地区が多いものの、小松地区は他の地区と比較して満足度が低い傾向にあります。(図表 5-6 参照)

図表 5-4 によると、公民館を利用したと回答した方のうち、公民館の利用環境に「満足した」「やや満足した」と回答した方が多くなり、「やや不満足だ」「不満足だ」と回答した方を大きく上回る結果となりました。



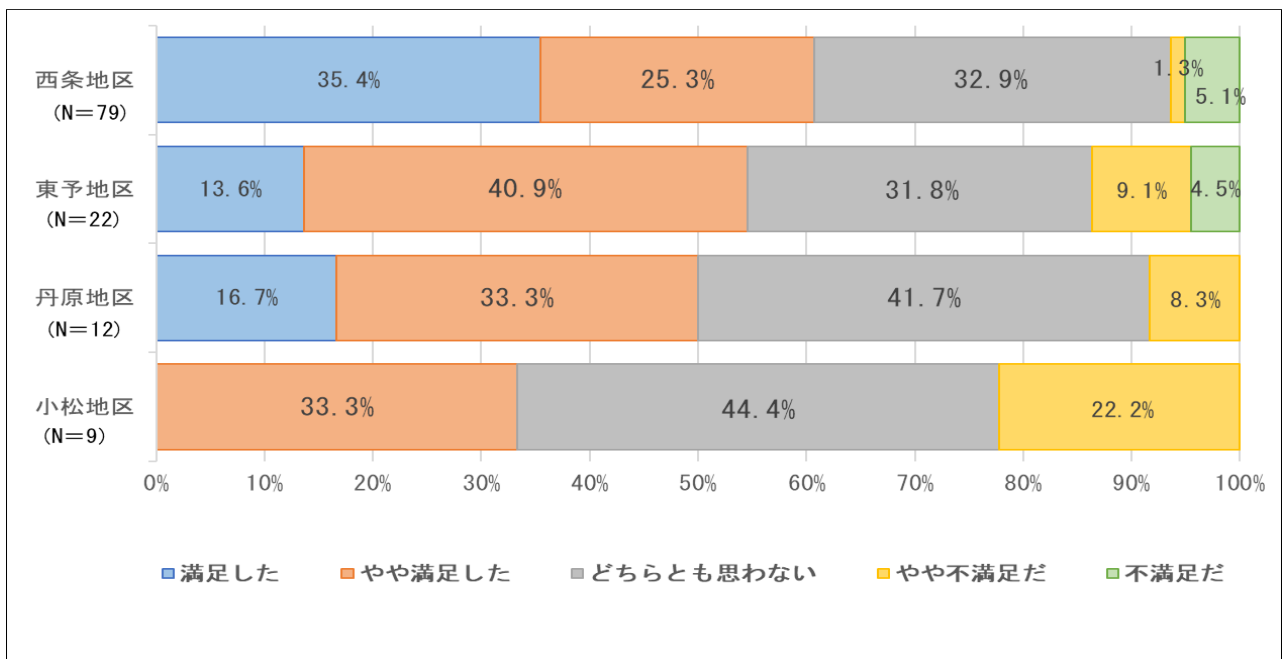
図表 5-4 公民館の利用環境に対する満足度（単純集計）（N = 123）

図表 5-5 によると、公民館を利用したと回答した方のうち、年齢により満足度に差異がみられました。特に 60～69 歳においての満足度が低く、「やや不満足だ」「不満足だ」と回答した比率も他の年齢より高くなる傾向がみられました。



図表 5－5 公民館の利用環境に対する満足度（年齢別）

図 5-6 によると、公民館を利用したと回答した方のうち、西条地区、東予地区、丹原地区は、公民館の利用環境に概ね満足している傾向にあります。一方で、小松地区では、公民館の利用環境に「満足した」の回答がなく、また、「やや不満足だ」と回答した比率も高いことから、他の地区と比較して満足度が低い傾向がみられます。



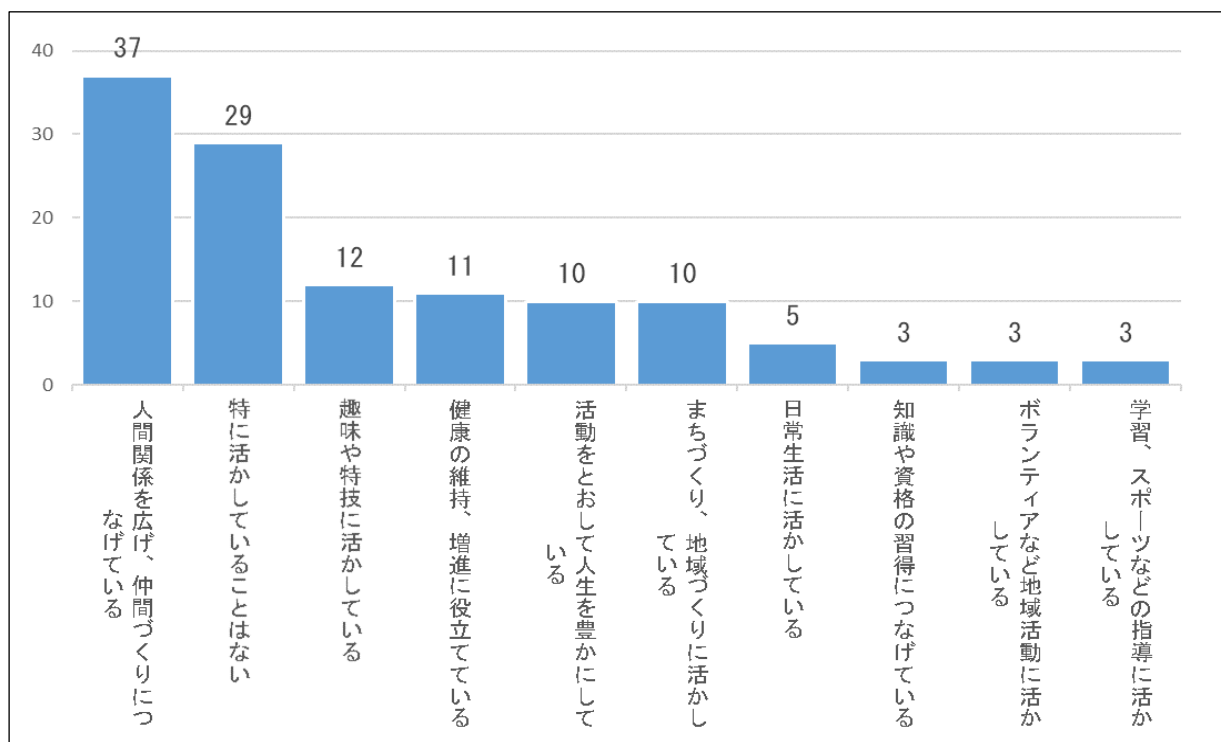
図表 5－6 公民館の利用環境に対する満足度（お住まいの地区別）

(3) 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術

【結果概要】

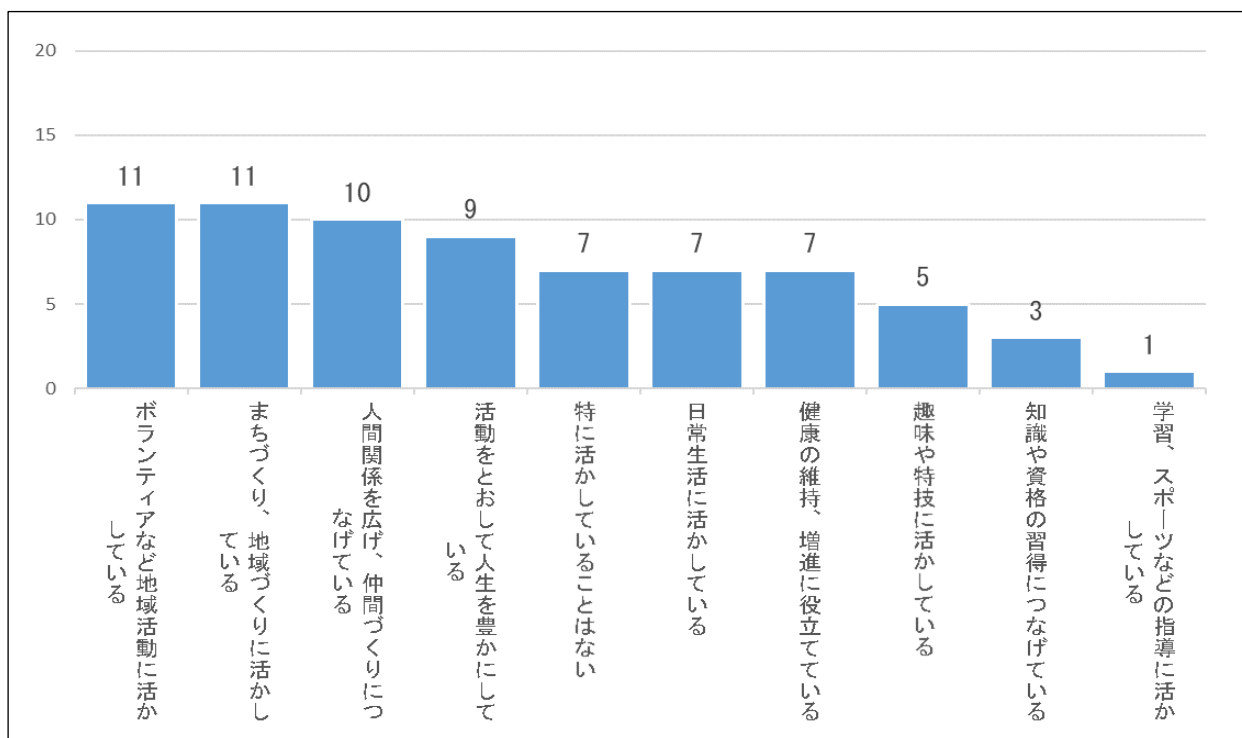
- 公民館活動で人間関係の構築や仲間づくりを実現されたと感じている方が最も多くなる一方で、何も活かしていることが無いと回答する方も多くなりました。(図表 5-7、5-8 参照)
- 年齢別、お住まいの地区別において、公民館活動を通じて身に付けた知識や技術に対する考え方の違いがみえました。公民館活動の利用促進を図る場合、それらの特徴を押さえた上で、利用を促そうと考えるターゲットによってポイントを絞った情報発信や活動促進などの取組が必要ではないかと推察します。(図表 5-9、5-10 参照)

図表 5-7 によると、「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した方が最も多くなり、次いで「特に活かしていることはない」と回答した方が多くなりました。図表 5-8 によると、第2選択では、「ボランティアなど地域活動に活かしている」「まちづくり、地域づくりに活かしている」と回答した方が多くなりました。



図表 5-7 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術

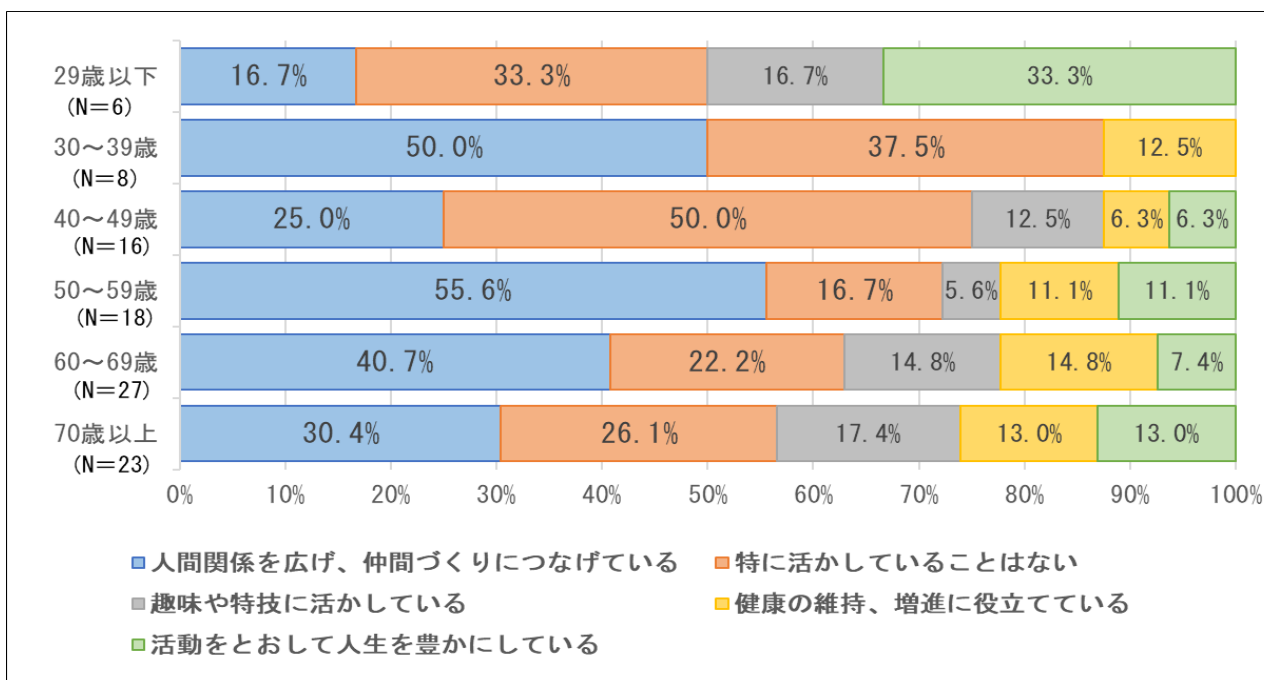
(第1選択・単純集計) (N = 123)



図表 5－8 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術

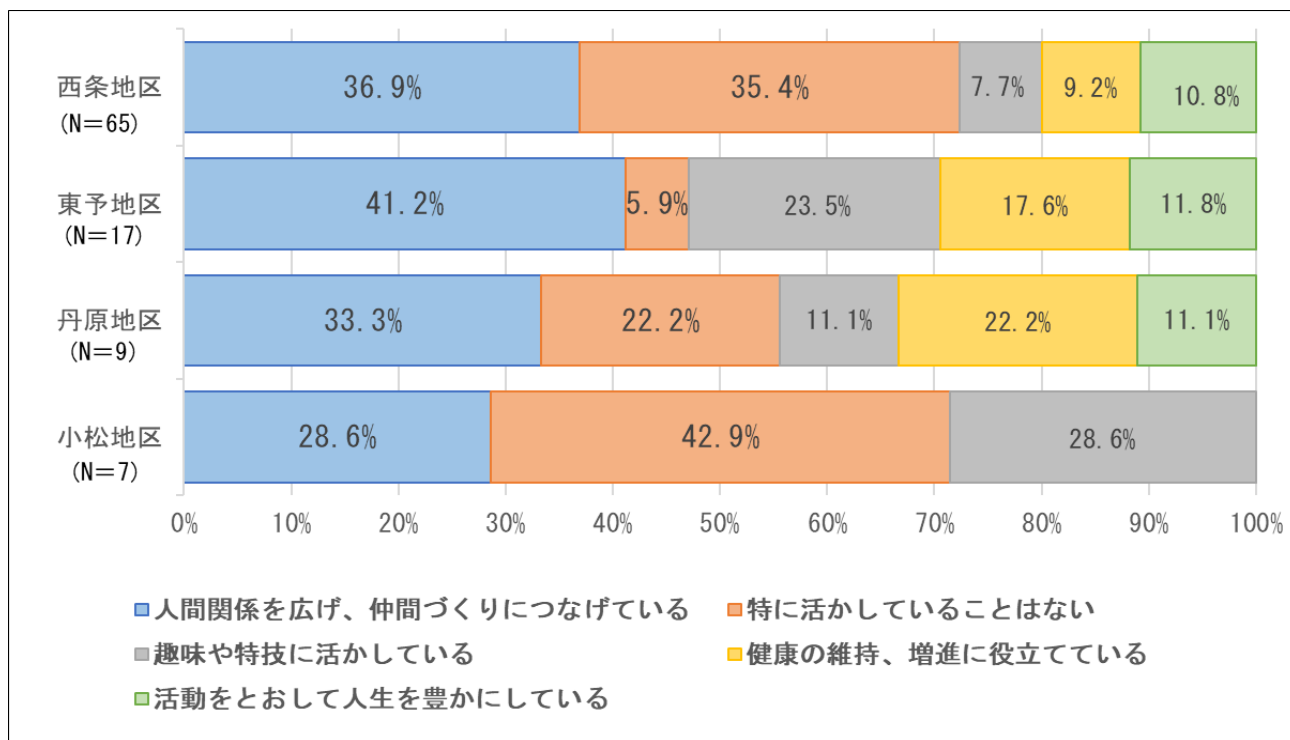
(第2選択・単純集計) (N=71)

図表 5-9 によると、年齢によって特徴が異なるものの、多くの年代で「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。また、年齢が高くなるにつれて「趣味や特技に活かしている」「健康の維持、増進に役立てている」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。



図表 5－9 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術 (年齢別)

図表 5-10 よると、西条地区と東予地区、丹原地区で「人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている」と回答した比率が最も高くなる一方で、と回答した比率が最も高くなる一方で、小松地区では「特に活かしていることはない」と回答した比率が最も高くなりました。



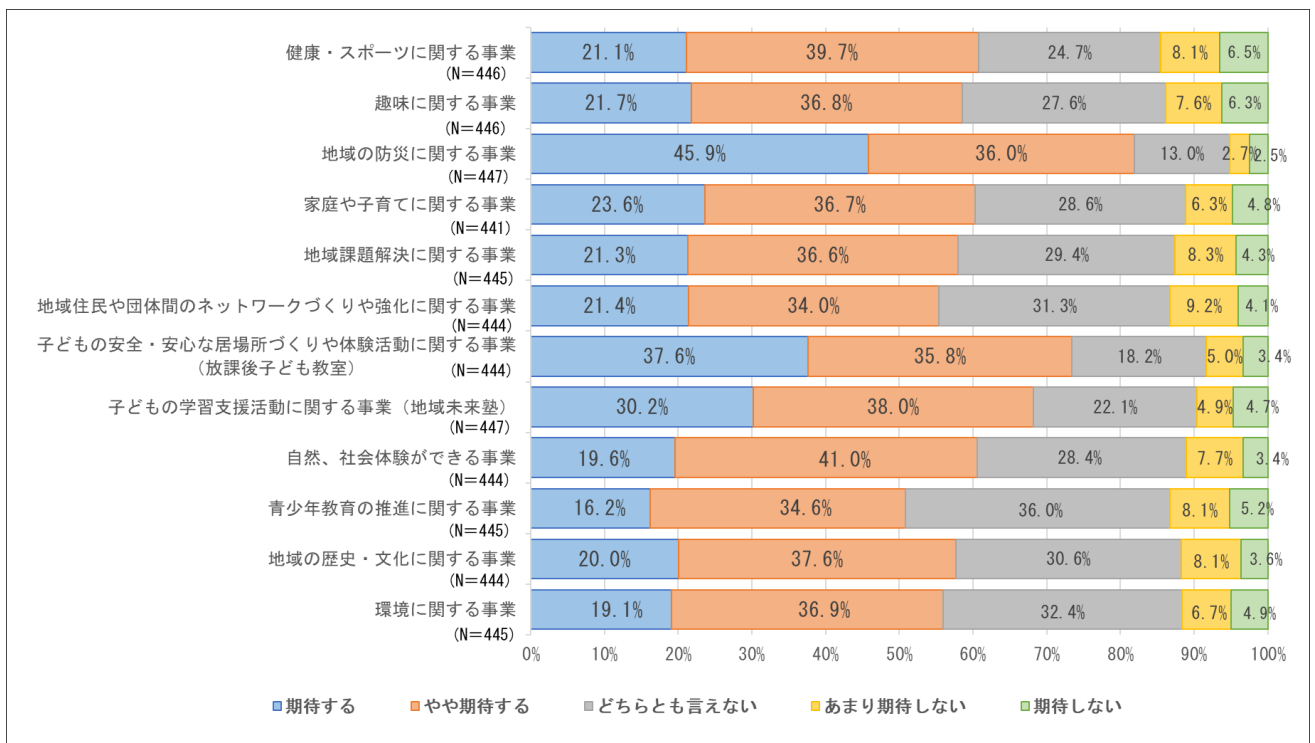
図表 5-10 公民館活動を通じて身に付けた知識・技術
(第1選択上位5項目・お住まいの地区別)

(4) 公民館に期待する事業

【結果概要】

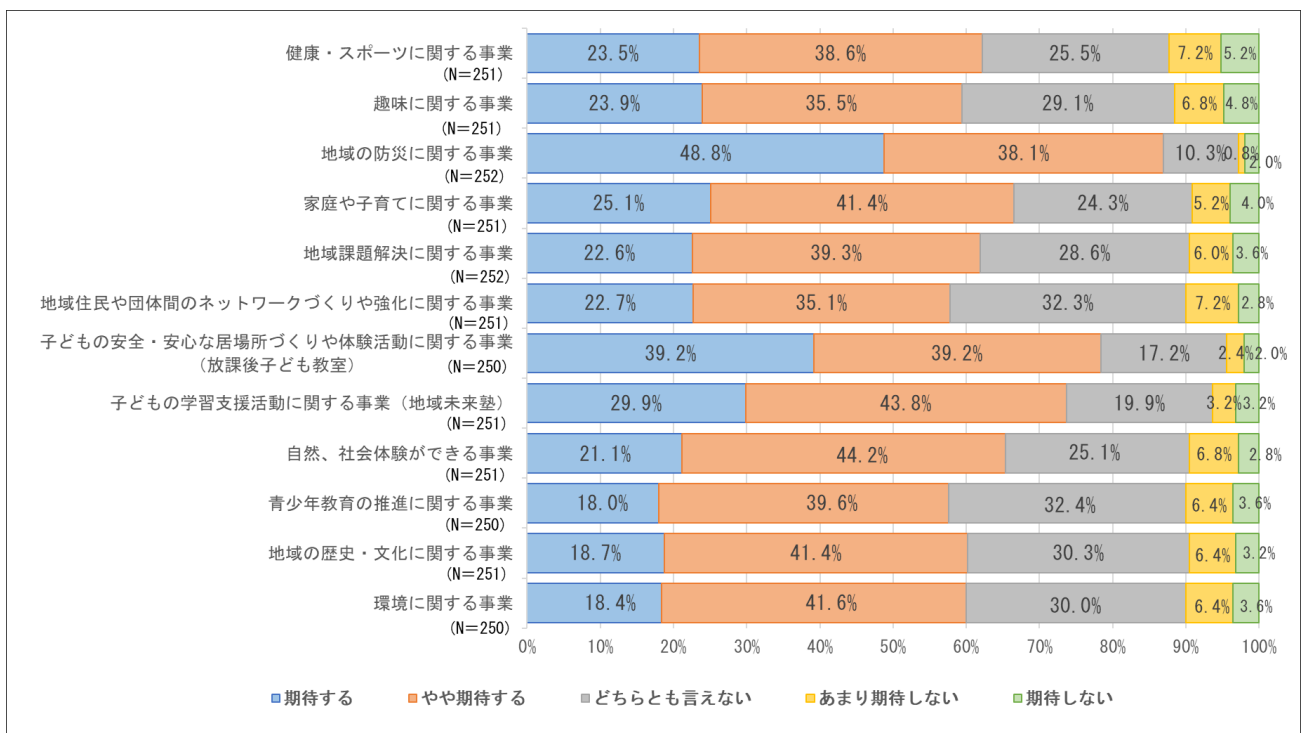
- 地域の防災に関する事業や子どもの安全・安心な居場所づくりや体験活動に対する期待が高くなりましたが、お住まいの地区によって緩やかに異なる傾向がみられました。(図表 5-11、5-12、5-13、5-14、5-15 参照)

図表 5-11 によると、「地域の防災に関する事業」に対する期待が最も高くなり、次いで、「子どもの安全・安心な居場所づくりや体験活動に関する事業(放課後子ども教室)」、「子どもの学習支援活動に関する事業(地域未来塾)」に対する期待が高くなりました。

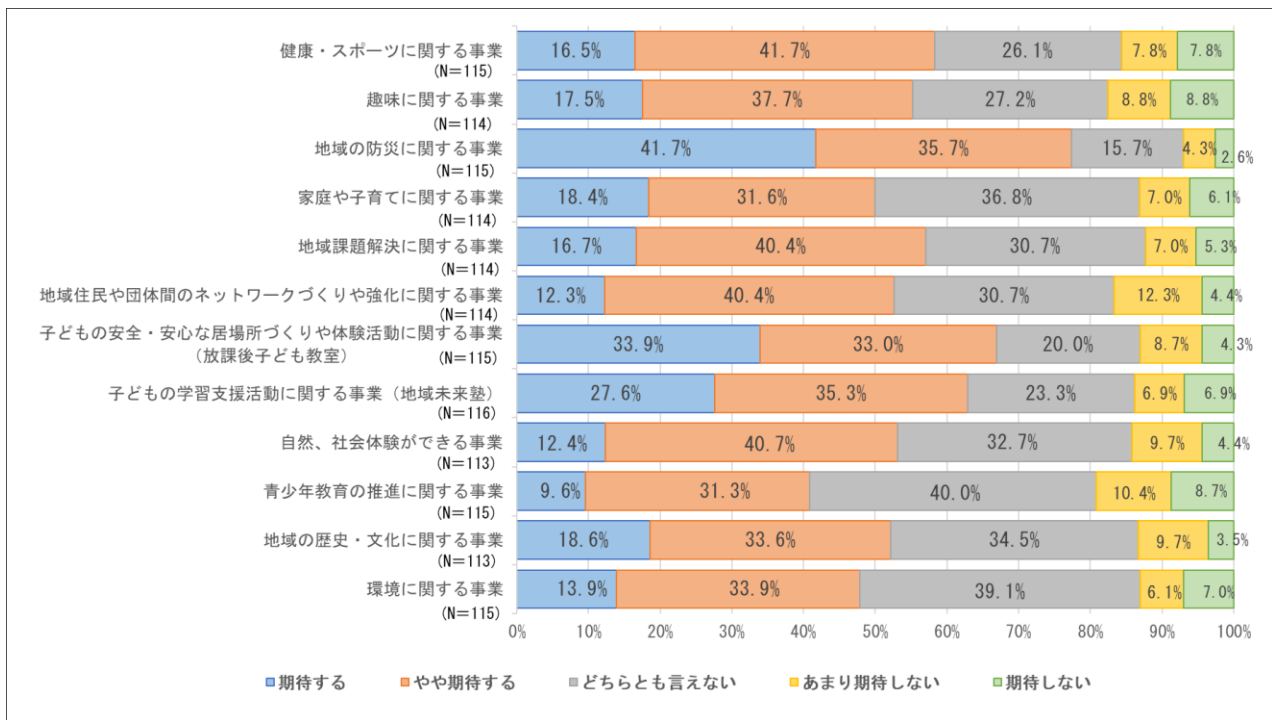


図表 5－１１ 保護者の公民館における事業別期待度（単純集計）

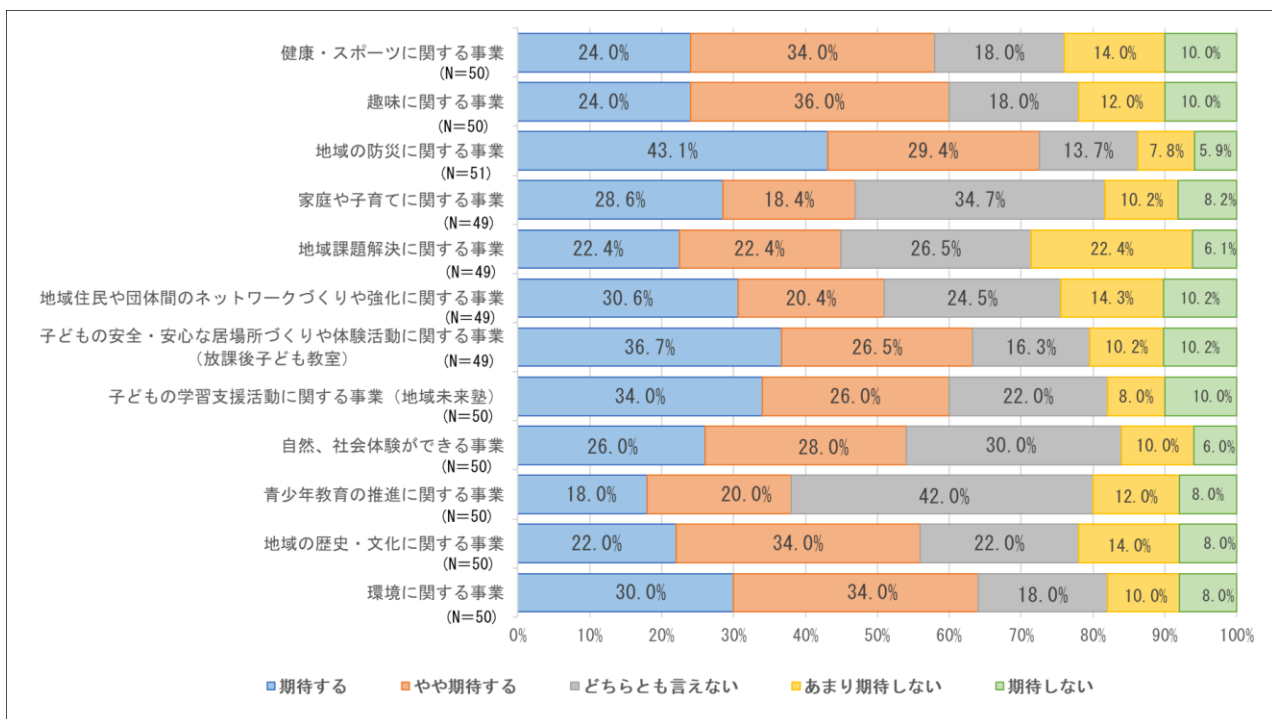
図表 5-12、図表 5-13、図表 5-14、図表 5-15 によると、すべての地区を通じて概ね同様の傾向を示したものの、お住まいの地区によって緩やかに異なる傾向がみられました。



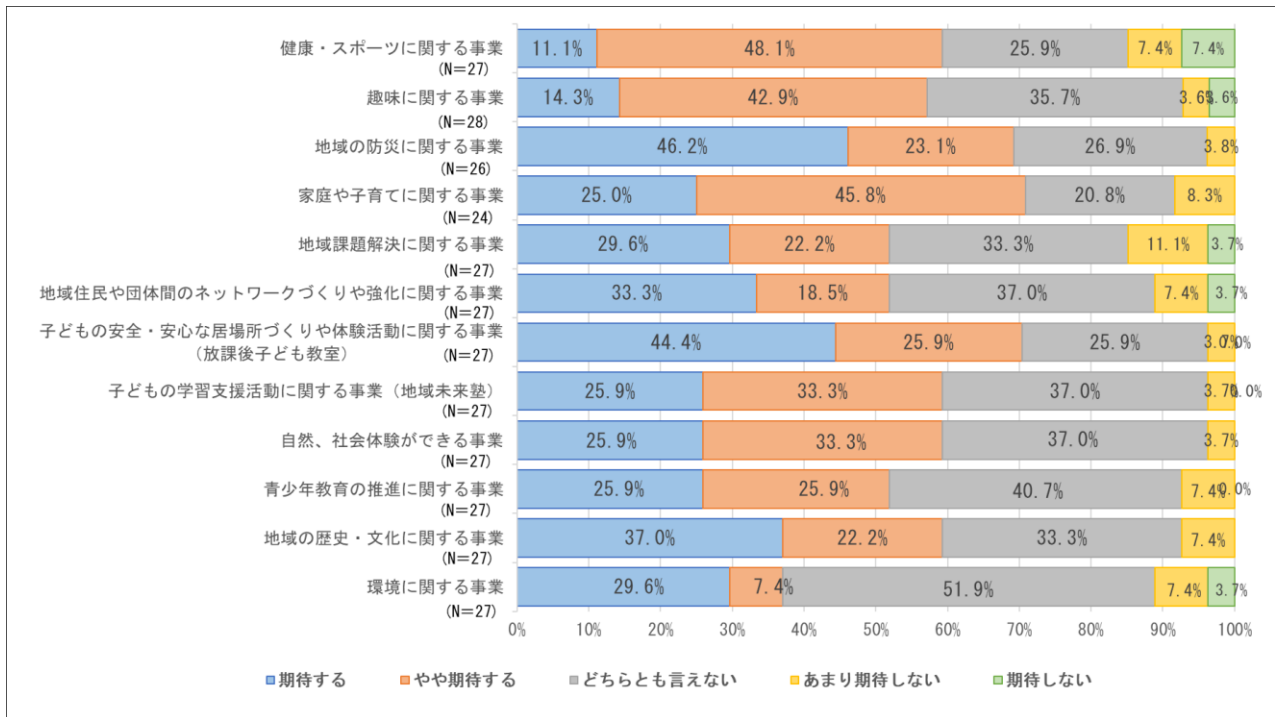
図表 5－１２ 公民館における事業別期待度（西条地区）



図表５－１３ 公民館における事業別期待度（東予地区）



図表５－１４ 公民館における事業別期待度（丹原地区）



図表５－１５ 公民館における事業別期待度（小松地区）

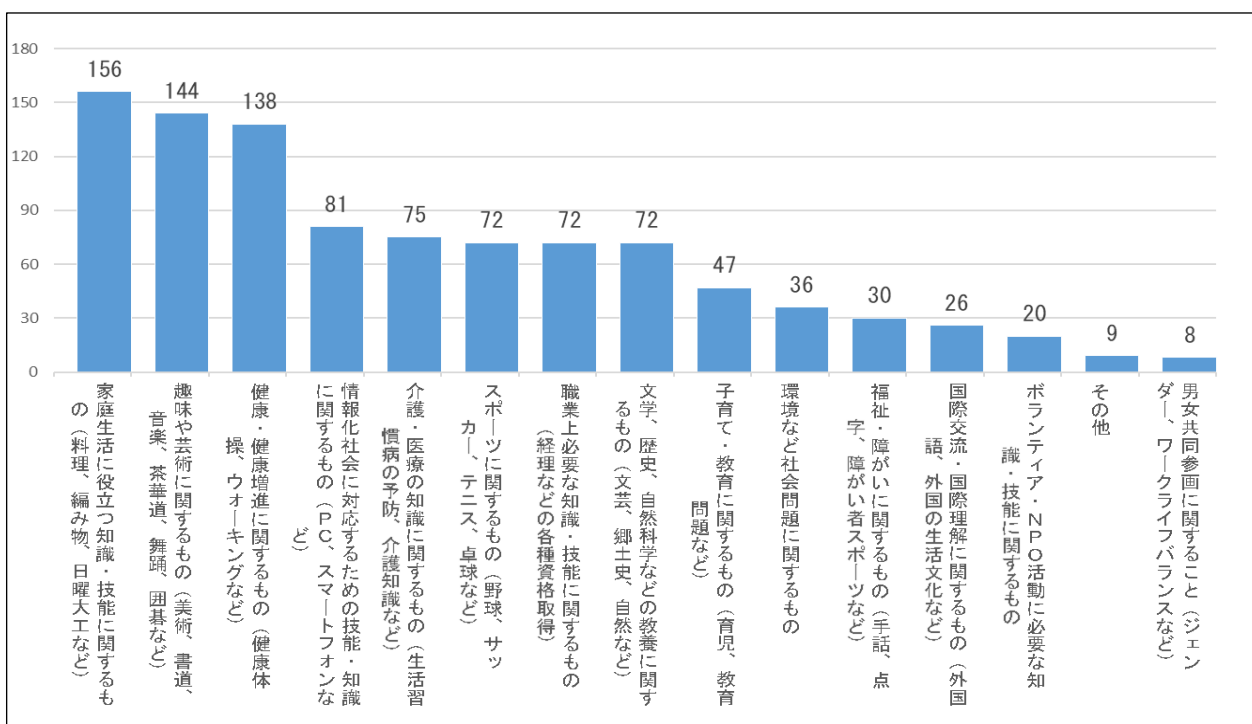
6 生涯学習・文化芸術・歴史文化について

【結果概要】

- 市民が取り組んでいる生涯学習としては、家庭生活や趣味、健康に関連するものが多く、今後取り組みたい生涯学習の内容についても同様の傾向がみられました。（図表 6-1、6-2 参照）
- 文化芸術に触れる機会について、全体を通じて、「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」「小説や詩などの文学」「コンサートや合唱などの音楽」の充実度が高くなる傾向がみられました。（図表 6-4、6-5、6-6、6-7、6-8 参照）

（１）取り組んでいる生涯学習の内容（３つまで選択可）

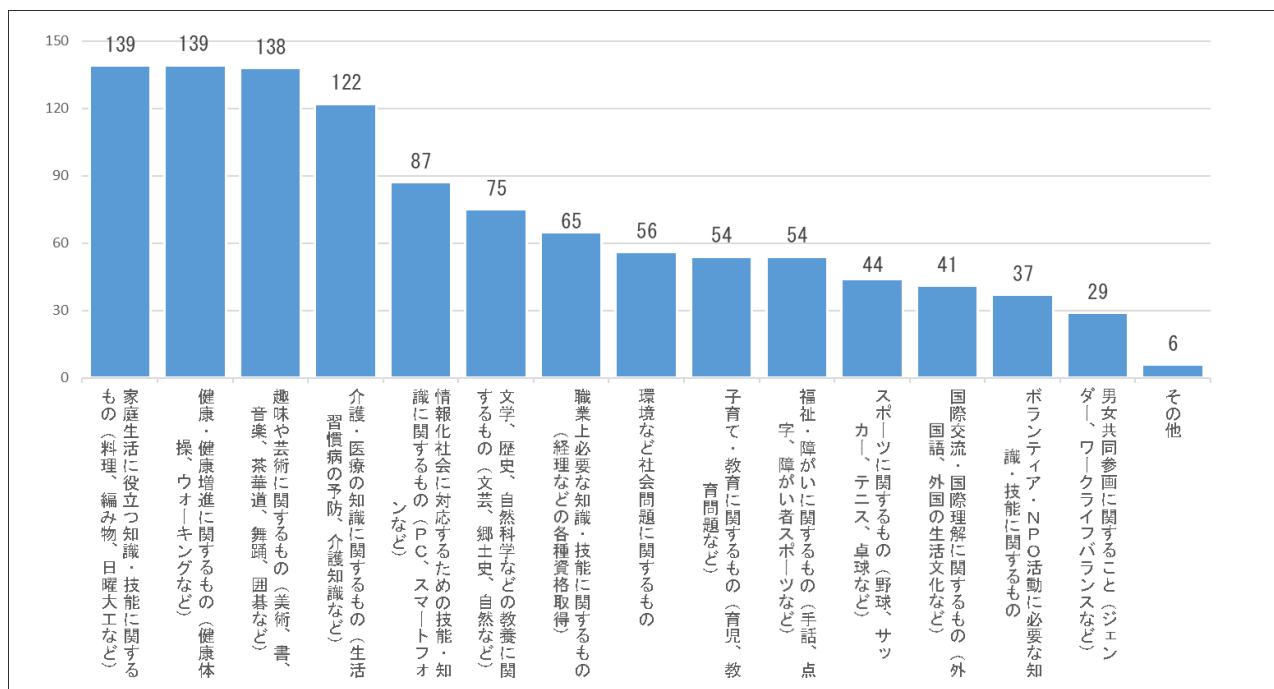
図表 6-1 によると、「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」と回答した方が最も多くなり、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」と回答した方が多くなりました。



図表 6-1 取り組んでいる生涯学習の内容（単純集計）（N = 411）

（２）今後取り組みたい生涯学習の内容（３つまで選択可）

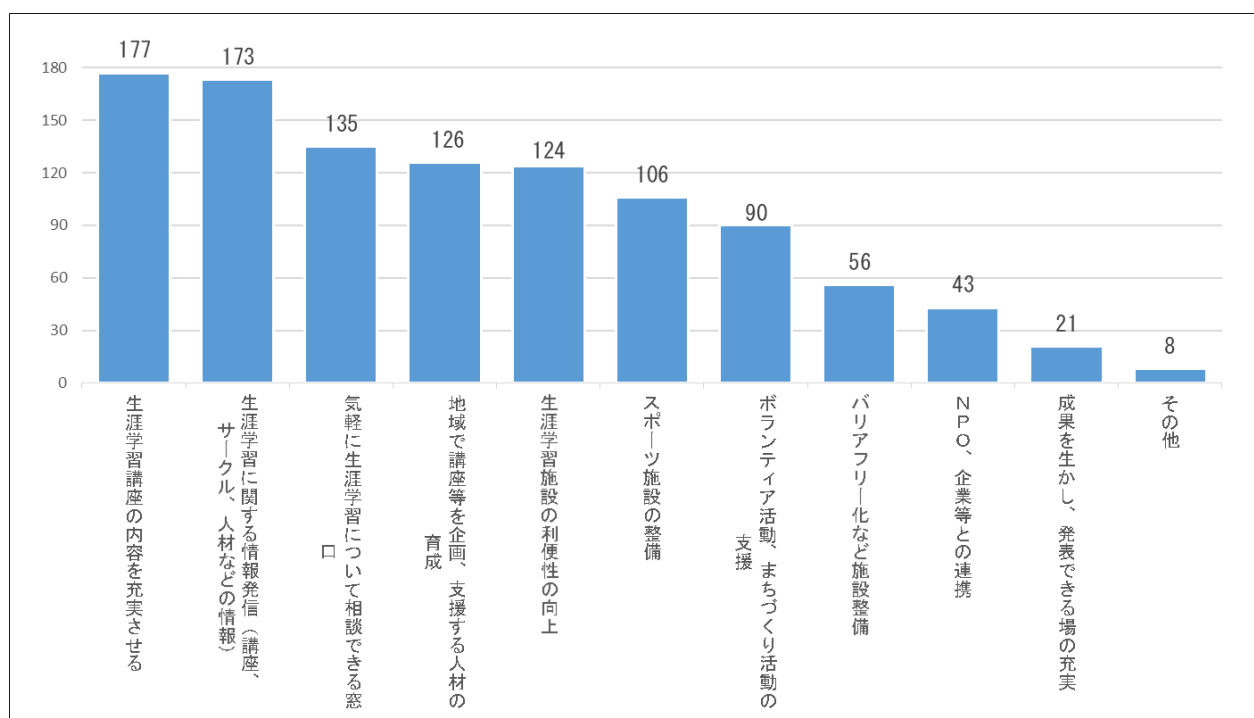
図表 6-2 によると、「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」「健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」と回答した方が最も多くなり、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、書、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など）」と回答した方が多くなりました。



図表 6-2 今後取り組みたい生涯学習の内容（単純集計）（N＝436）

（3）生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと（3つまで選択可）

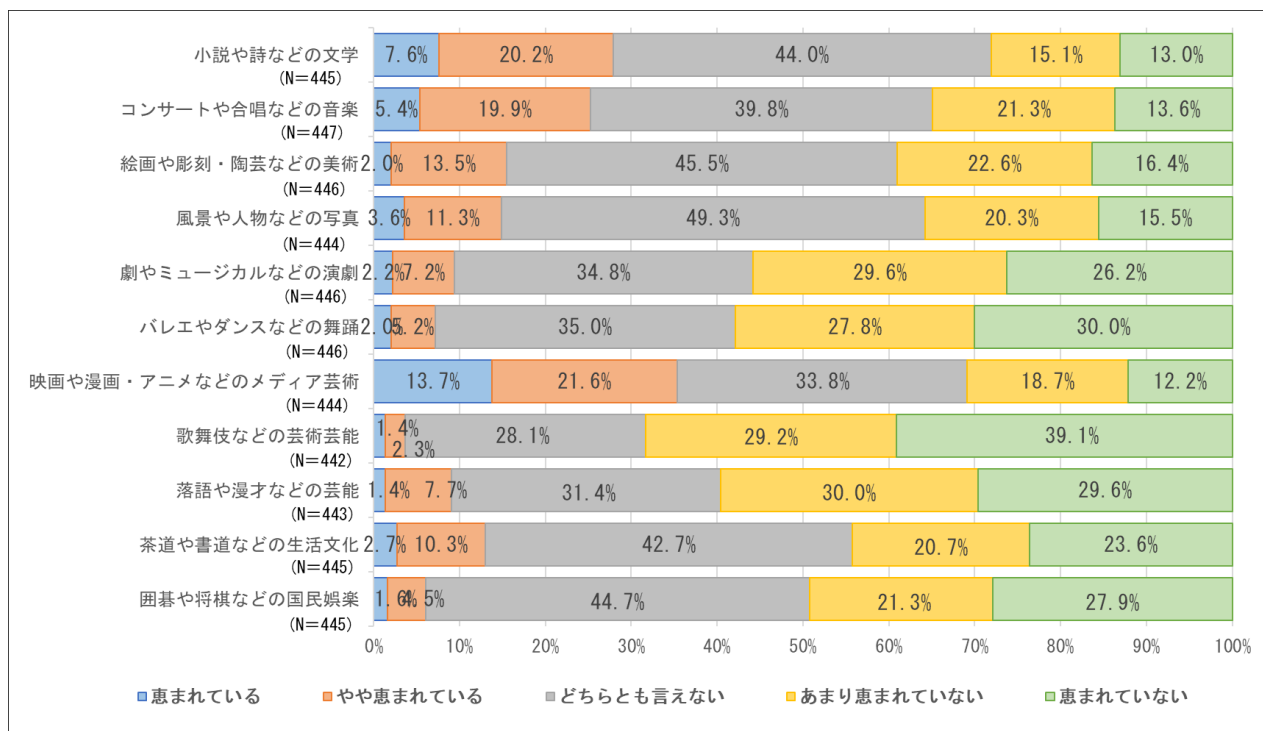
図表 6-3 によると、「生涯学習講座の内容を充実させる」と回答した方が最も多くなり、次いで「生涯学習に関する情報発信（講座、サークル、人材などの情報）」と回答した方が多くなりました。



図表 6-3 生涯学習を盛んにするために力を入れたらいいと思うこと（単純集計）（N＝437）

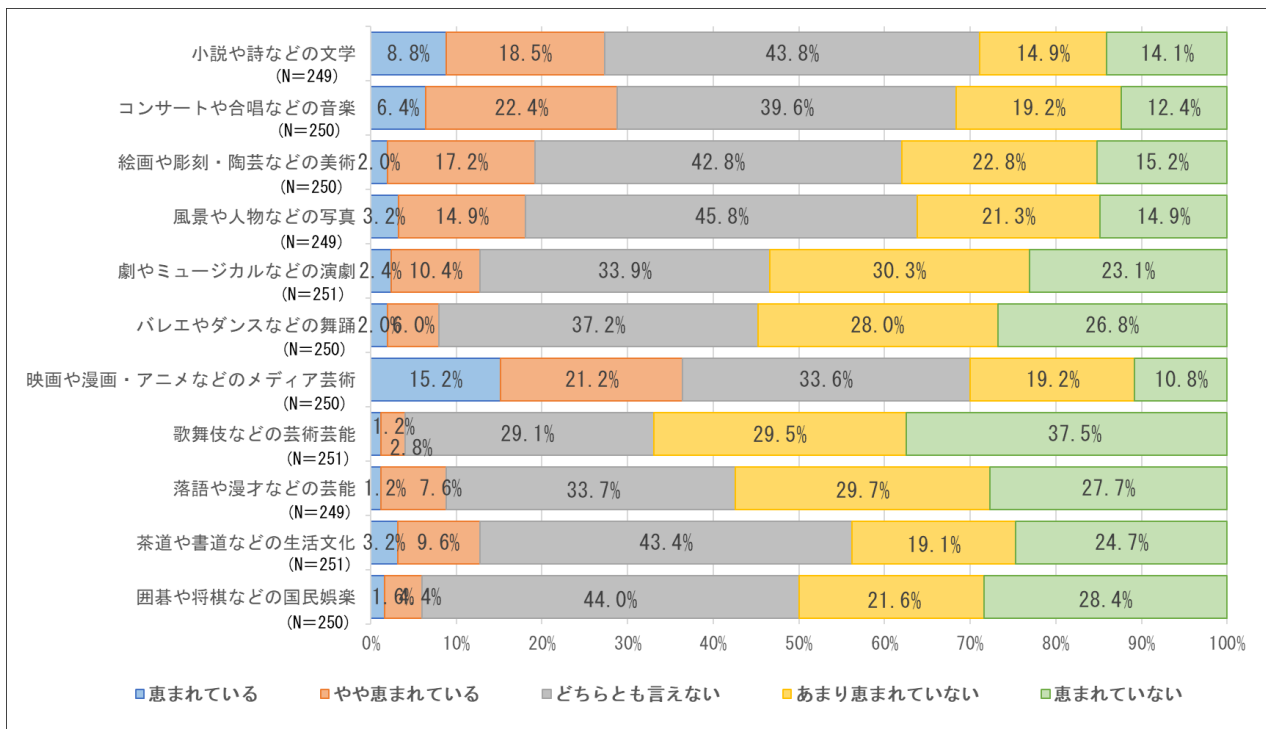
（４）文化芸術に触れる機会の充実度

図表 6-4 によると、「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」に触れる機会の充実度が最も高くなり、次いで「小説や詩などの文学」に触れる機会の充実度が高くなりました。

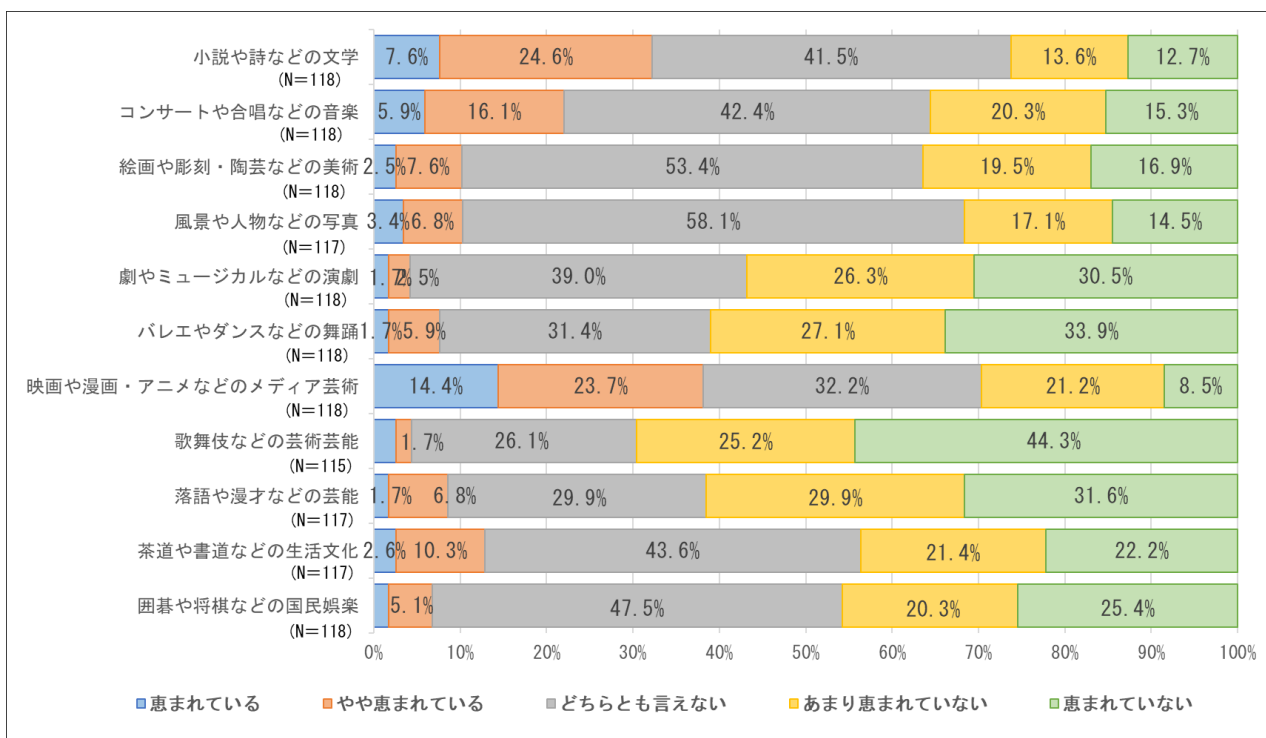


図表 6-4 文化芸術に触れる機会の充実度（単純集計）

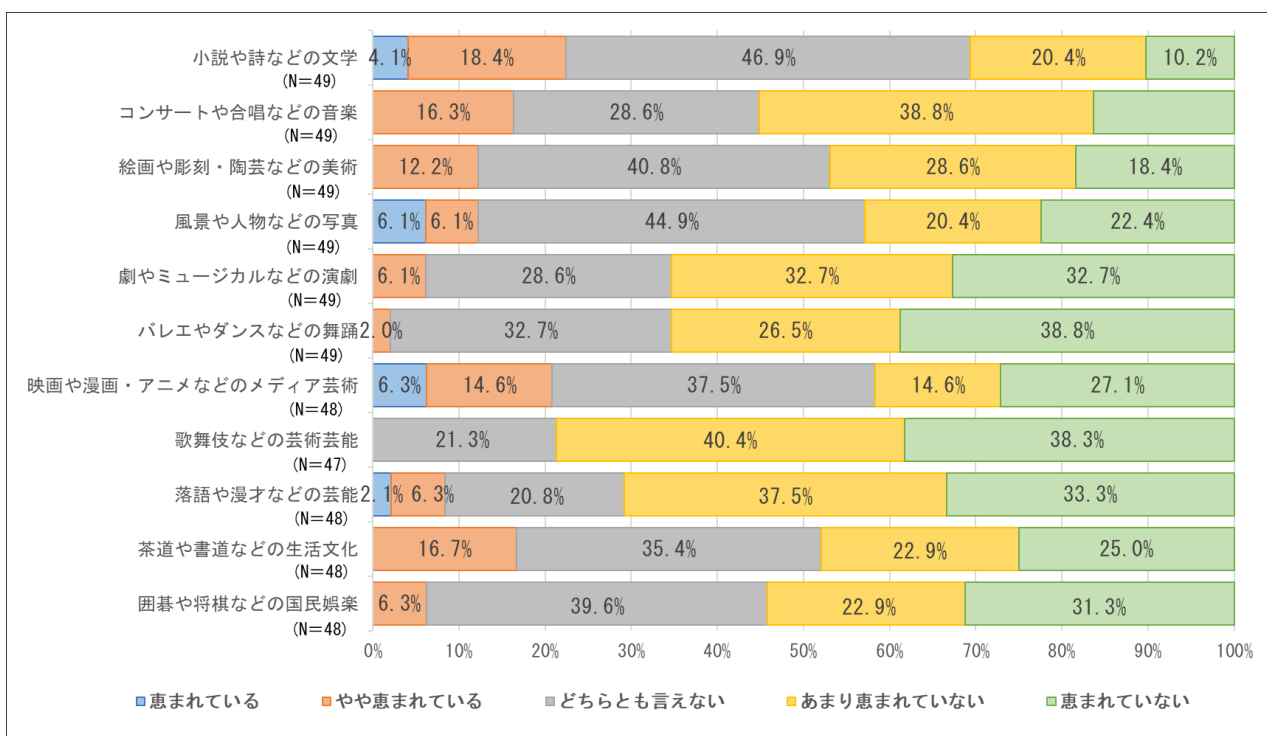
図表 6-5、図表 6-6、図表 6-7、図表 6-8 によると、西条地区、東予地区、小松地区で「映画や漫画・アニメなどのメディア芸術」に触れる機会の充実度が最も高くなり、丹原地区で「小説や詩などの文学」に触れる機会の充実度が最も高くなりました。



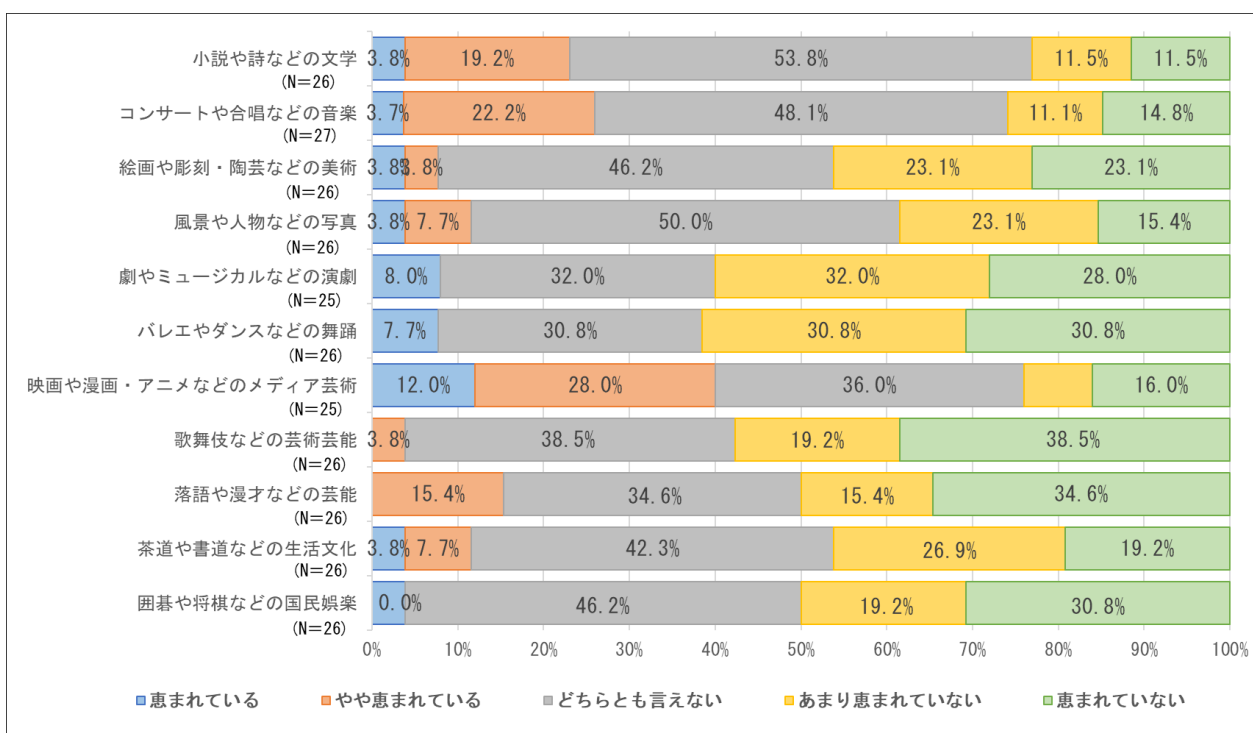
図表 6－5 文化芸術に触れる機会の充実度（西条地区）



図表 6－6 芸術文化に触れる機会の充実度（東予地区）



図表 6－7 文化芸術に触れる機会の充実度（丹原地区）



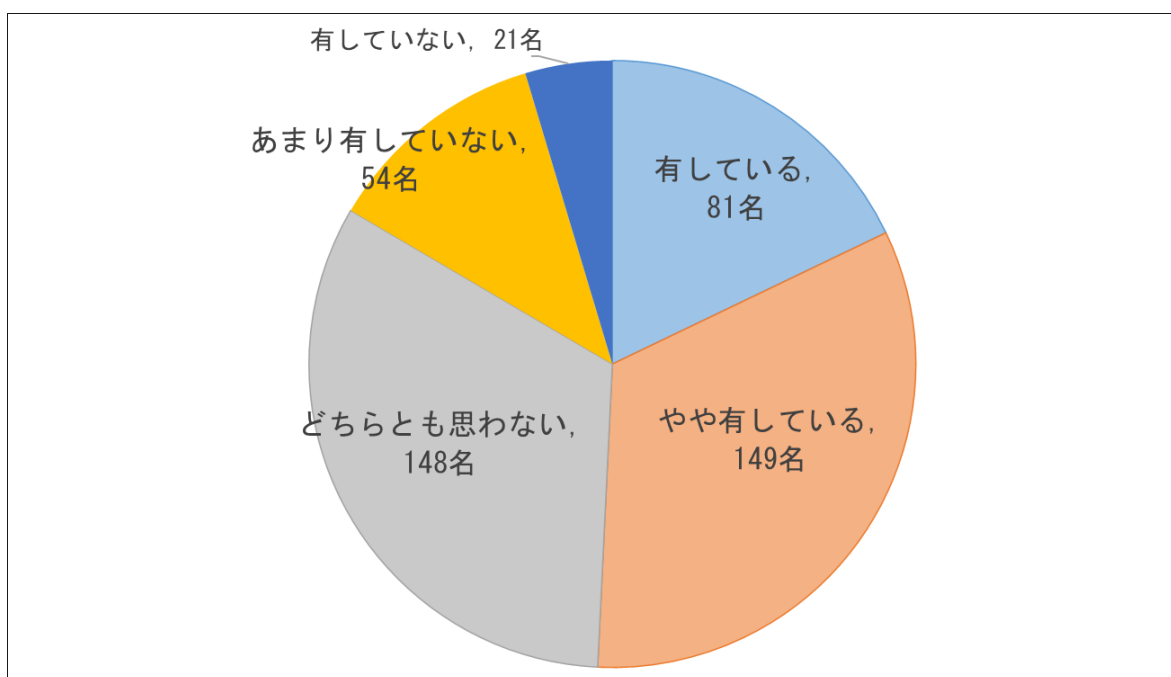
図表 6－8 文化芸術に触れる機会の充実度（小松地区）

(5) ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度

【結果概要】

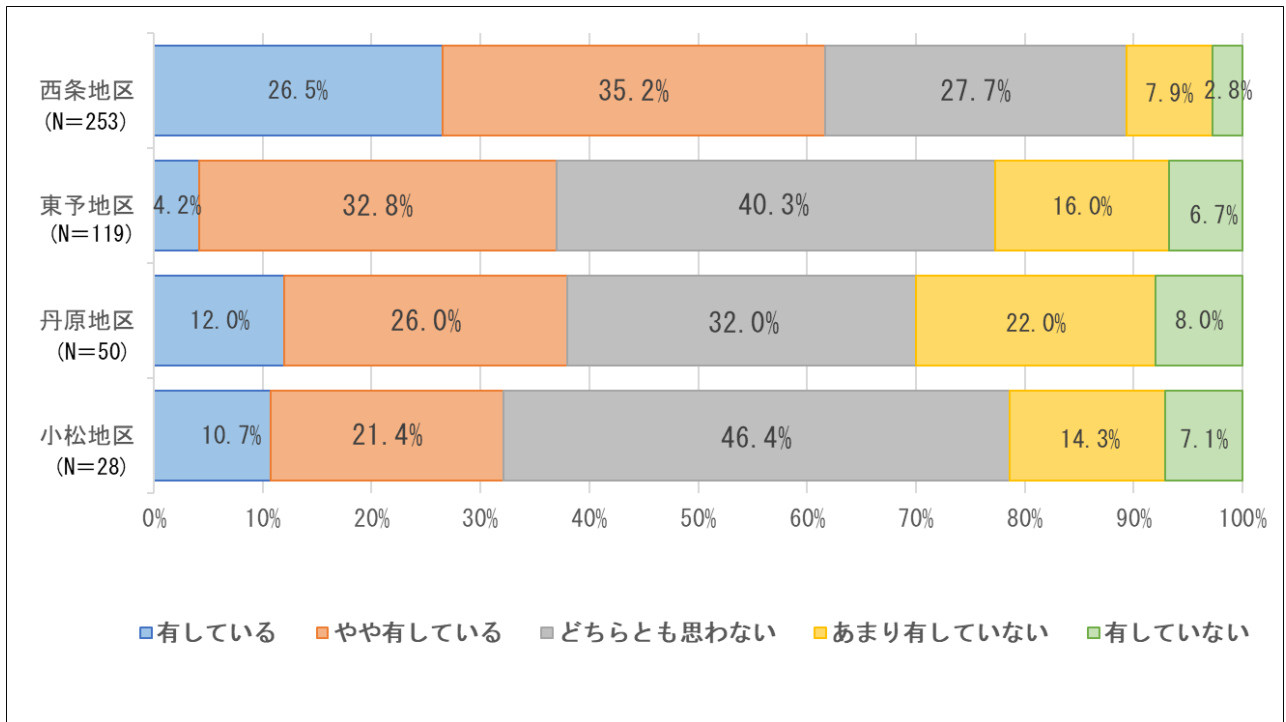
- 市民の約半数がふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着を有していると回答する結果となりました。(図表 6-9 参照)
- 西条地区ではふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着を有していると回答する傾向がみられる一方で、丹原地区では誇りや愛着を有していないと回答する傾向がみられました。今後、市民の歴史文化に対する誇りや愛着を向上させていくためには、地区別の特徴を捉えておく必要があると考えます。(図表 6-10 参照)

図表 6-9 によると、ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度を「有している」「やや有している」と回答した方が約半数となり、「あまり有していない」「有していない」と回答した方を大きく上回りました。



図表 6-9 ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度 (単純集計) (N=453)

図表 6-10 によると、西条地区において、ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度を「有している」「やや有している」と回答した比率が最も高くなる一方で、丹原地区では、「あまり有していない」「有していない」と回答した比率が最も高くなりました。



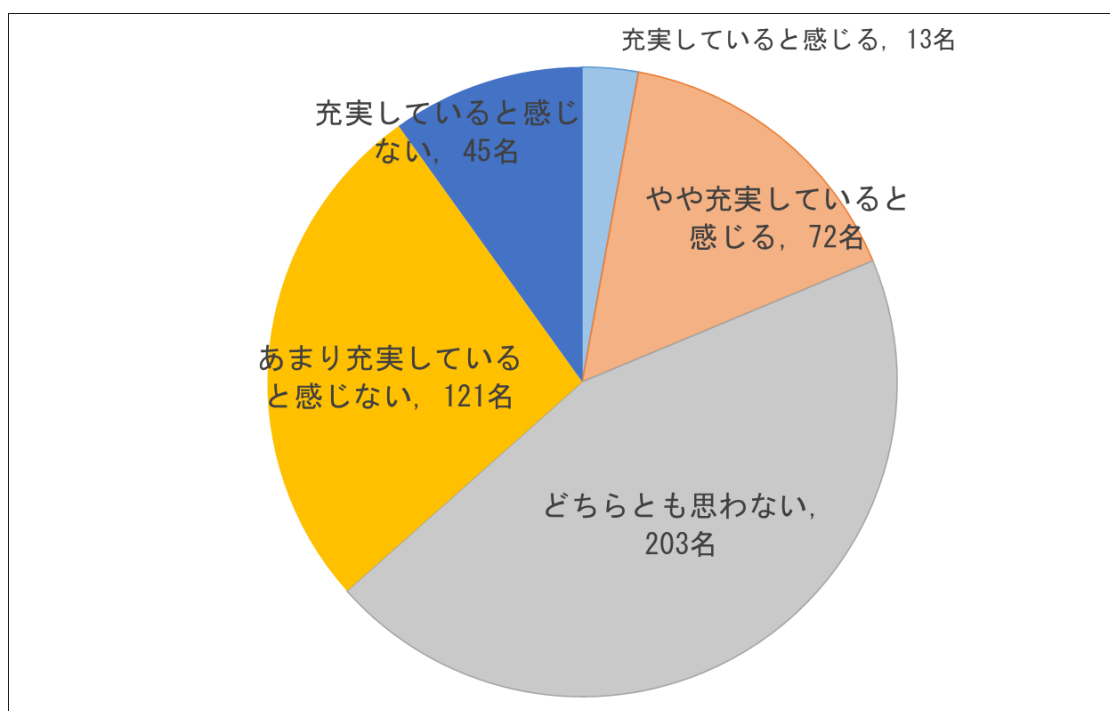
図表 6－10 ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着度（お住まいの地区別）

（6）ふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度

【結果概要】

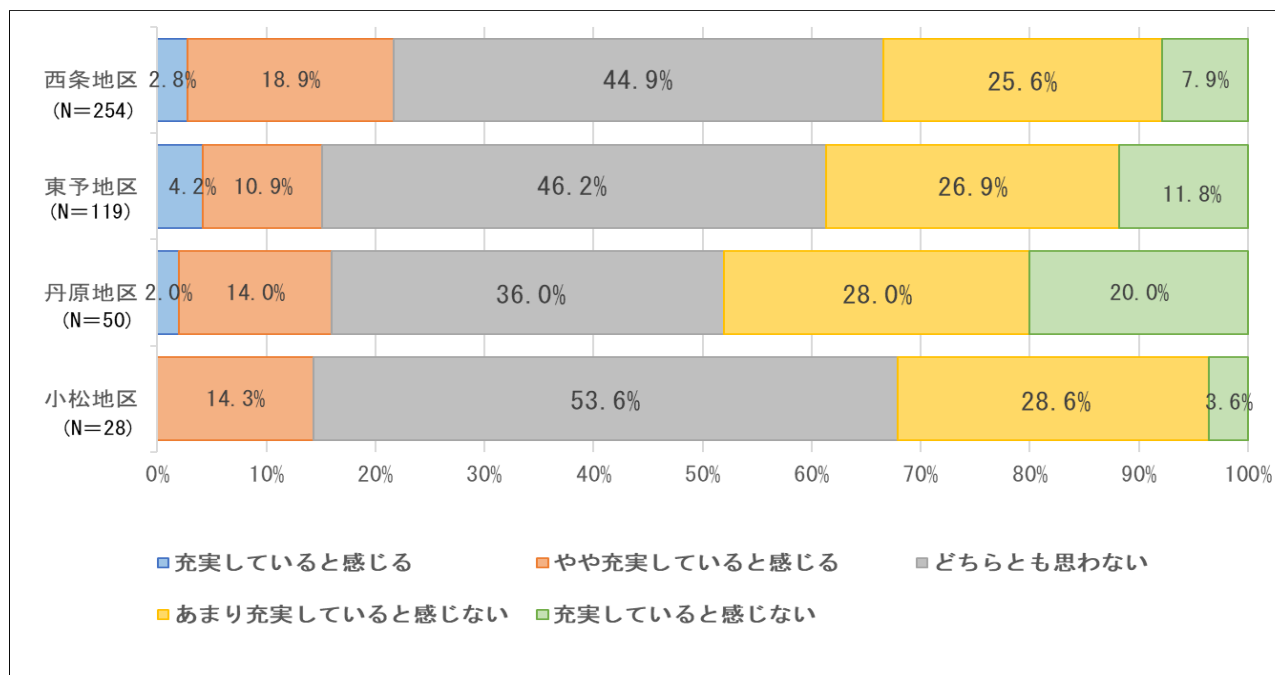
- ふるさとの先人の教えに学ぶ機会が「あまり充実していると感じない」「充実していると感じない」と回答した方が、「充実していると感じる」「やや充実していると感じる」と回答した方を上回りました。あまり良い状況と言えないことから、何が要因となっているのか、いかに先人の教えに学ぶ機会を充実させていくのか検討する必要があると考えます。（図表 6-11 参照）
- お住まいの地区別で大きな差異はないものの、すべての地区で「あまり充実していると感じない」「充実していると感じない」と回答した比率が、「充実していると感じる」「やや充実していると感じる」と回答した比率を上回りました。今後、ふるさとの歴史文化に対する誇りや愛着を向上させていくため、要因を分析する必要があります。（図表 6-12 参照）

図表 6-11 によると、「どちらとも思わない」と回答した方が最も多くなり、次いでふるさとの先人の教えに学ぶ機会が「あまり充実していると感じない」と回答した方が多くなりました。



図表 6－1 1 ふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度（単純集計）（N＝4 5 4）

図表 6-12 によると、お住まいの地区別で大きな差異はないものの、すべての地区で「あまり充実していると感じない」「充実していると感じない」と回答した比率が、「充実していると感じる」「やや充実していると感じる」と回答した比率を上回りました。



図表 6－1 2 ふるさとの先人の教えに学ぶ機会の充実度（お住まいの地区別）

8 参考資料（アンケート用紙）

西条市の教育に関するアンケート調査へのご協力をお願い （市民用） ～みなさまのご意見をお聞かせください～

西条市では、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向けて、国、県、関係団体等との連携のもと、豊かな心をはぐくむ教育・文化を実感できるまちづくりを進めています。

令和6年度は、西条市の教育行政における根本的な方針となる「西条市教育大綱」を改定する年度にあたるため、市民の皆さまのご意見を将来の西条市の教育行政の方向性に反映させることを目的に、本アンケート調査を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月 西条市長 玉井 敏久 西条市教育長 伊藤 隆志

調 査 の 概 要

- 1 この調査用紙は、令和6年5月24日時点で西条市に住民票を有している方の中から1,500名をランダムに抽出して配布しています。
- 2 この調査票は、個人を特定できないようになっており、調査終了後は速やかに廃棄いたします。
日ごろ、感じていることや思っていることをそのままご記入ください。
- 3 必ずご本人がご回答ください。 ※ご記入はご家族やご友人の方などに代筆していただいても構いません。
- 4 ご記入後、「調査票」を返信用封筒に入れて、7月5日(金曜日)までにポストへ投函してください。
- 5 ご不明な点などがありましたら、下記の担当へお問い合わせください。

※なお、本アンケートにつきましては、本市が策定する「第2期西条市総合計画」第5章「豊かな心を育む教育文化のまちづくり」の体系にもとづき実施いたしますが、そのうち人権・同和教育の内容については、令和6年度に「人権問題に関する市民意識調査」を実施するため、そちらのデータを活用することとしています。

この調査はインターネットでも回答できます!

右のQRコードから専用ページにアクセスして回答してください。

URL ⇒ <https://logoform.jp/f/gQYiI>

インターネットから回答した場合は、調査票(紙)の返送は不要です。



〒793-8601

西条市明屋敷164番地

西条市経営戦略部政策企画課（担当：三村・篠原）

TEL : (0897) 56-5151（内線2179）

西条市の教育に関するアンケート調査票

質問 1 最初に、回答されるあなたご自身についておたずねします。

※ あてはまるものを1つ選び数字を○で囲んでください。

① あなたの性別を教えてください。(※性別に関する設問の回答は任意です。)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

② あなたの年齢を教えてください。

1 29歳以下	2 30～34歳	3 35～39歳	4 40～44歳
5 45～49歳	6 50～54歳	7 55～59歳	8 60～64歳
9 65～69歳	10 70歳以上		

③ あなたがお住まいの小中学校区を教えてください。

1 西条	2 神拝	3 大町	4 玉津	5 飯岡
6 神戸	7 橘	8 禎瑞	9 氷見	10 小松
11 石根	12 壬生川	13 周布	14 吉井	15 多賀
16 国安	17 吉岡	18 三芳	19 楠河	20 庄内
21 丹原	22 徳田	23 田滝	24 田野	25 中川

質問 2 学校教育についてあてはまるものを順番に選択してください。

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

① あなたは、小中学校がどのようなところであるのが望ましいと思いますか。

- 1 子どもが基礎的な学力を身に付けるところ
- 2 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ
- 3 子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ
- 4 子どもが人間関係を学ぶところ
- 5 地域コミュニティの核となるところ
- 6 避難所や体育施設としての機能のあるところ
- 7 その他 ()

第一選択欄

第二選択欄

④ あなたは、小中学校の学習環境を考える上で何を重視したらいいと思いますか。

- 1 クラス内の仲間意識が生まれやすい
- 2 異学年間の交流が生まれやすい
- 3 学校の教員の人数や質が充実し、児童一人ひとりに行き届いた教育が受けられる
- 4 集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい
- 5 運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える
- 6 地域の協力が得られやすく、地域の自然・文化・伝統を生かした教育が受けられる
- 7 クラス替えができる
- 8 クラス同士が切磋琢磨する環境をつくることができる
- 9 合唱、団体競技などの集団での学習や体験活動の機会が確保しやすい
- 10 男女比の偏りが生じにくい
- 11 その他（ ）

第一選択欄

第二選択欄

質問3 図書館についてあてはまるものを順番に選択してください。

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

① あなたは、平均して1年間でどの程度、市内図書館を利用していますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 |
| 3 週1回程度 | 4 月2～3回程度 |
| 5 月1回程度 | 6 半年に2～3回程度 |
| 7 年2～3回程度 | 8 年1回程度 |
| 9 利用していない | |

選択欄

矢印の部分は①で1回でも市内の図書館を利用したことがあると回答した方にお聞きます。

② あなたは、図書館の利用環境に満足されましたか。

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 満足した | 2 やや満足した | 3 どちらとも思わない |
| 4 やや不満足だ | 5 不満足だ | |

選択欄

③ あなたは、主にどちらの図書館を利用しましたか。

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| 1 西条図書館 | 2 東予図書館 | 3 丹原図書館 |
| 4 小松温芳図書館 | 5 移動図書館 | 6 電子図書館※ |

※電子図書館とは、インターネットに接続したスマートフォン、パソコン、タブレット端末等を使って貸出しや返却を行い、電子書籍を読むことができるサービスです。図書館に来館しなくても、24時間どこにいても読書を楽しむことができます。

西条市電子図書館のQRコードはこちら⇒



選択欄

次のページへ続く

矢印の部分は①で1回でも市内の図書館を利用したことがあると回答した方にお聞きます。

④ あなたは、主に何を目的に図書館を利用しましたか。

1 本を借りる	2 雑誌を借りる	第一選択欄
3 CDやDVDを借りる	4 館内で本を読む	
5 館内で新聞や新刊雑誌を読む		
6 CDやDVDを視聴する		第二選択欄
7 予約やリクエスト、読書相談をする		
8 趣味や娯楽、生活のための調べ物をする		
9 勉強や仕事、研究のための調べ物をする		
10 地域社会での活動に役立つ調べ物をする		
11 特集コーナーや本の展示を見る		
12 学習コーナーで勉強する		
13 図書館で開催されたイベントに参加する		
14 会議室や学習室、ボランティアルーム等を利用する		
15 その他（		）

ここまで

⑤ 図書館の利用が役立っていると思うのはどのようなところですか。

1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている	第一選択欄
2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている	
3 仕事に役立つ知識・情報が得られている	
4 学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が得られている	第二選択欄
5 地域の歴史や文化、行政情報などを知ることができている	
6 個人や地域の課題解決支援に役立っている	
7 子どもが読書に親しみ、生きる力を育む機会が得られている	
8 ゆっくりと余暇を過ごすことができている	
9 学びを通じた交流や学びの成果を生かす場がある	
10 地域において親しみやすい居場所となっている	
11 その他（	）

⑥ あなたは、図書館に関して、今後期待するのはどのようなことですか。

1 貸出および閲覧書籍の充実	第一選択欄
2 雑誌・新聞の充実	
3 図書館以外で貸出や返却が行える場所の整備	
4 館内や屋外広場を使用した世代間で交流できる様々なイベントの充実	第二選択欄
5 ICTを使い、グループ学習や話し合いなど多様な活動に対応できるスペースの整備	
6 館内での飲食を可能とする	
7 館内での会話を可能とする	
8 自分が住むまちの情報の充実	
9 調べ物や読書などの相談ができる環境の充実	
10 閲覧席の更なる充実	
11 学習の場の更なる充実	
12 その他（	）

質問 4 公民館についてあてはまるものを順番に選択してください。

※ 第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記載してください。

① あなたは、平均して1年間でどの程度、地区の公民館を利用していますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週2～3回程度 |
| 3 週1回程度 | 4 月2～3回程度 |
| 5 月1回程度 | 6 半年に2～3回程度 |
| 7 年2～3回程度 | 8 年1回程度 |
| 9 利用していない | |

選択欄

矢印の部分は①で1回でも地区の公民館を利用したことがあると回答した方にお聞きします。

② あなたは、地区の公民館の利用環境に満足されましたか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 満足した | 2 やや満足した |
| 3 どちらとも思わない | 4 やや不満足だ |
| 5 不満足だ | |

選択欄

③ あなたは、公民館活動を通じて身に付けた知識・技術をどのような形で活かしていますか。

- | |
|------------------------|
| 1 人間関係を広げ、仲間づくりにつなげている |
| 2 趣味や特技に活かしている |
| 3 健康の維持、増進に役立てている |
| 4 活動をとおして人生を豊かにしている |
| 5 日常生活に活かしている |
| 6 まちづくり、地域づくりに活かしている |
| 7 ボランティアなど地域活動に活かしている |
| 8 知識や資格の習得につなげている |
| 9 学習、スポーツなどの指導に活かしている |
| 10 特に活かしていることはない |

第一選択欄
第二選択欄

ここまで 11 その他（ ）

④ あなたは、公民館にどのような事業を期待しますか。以下の1から12までのすべての項目について、該当するところに○を付けてください。

項 目	期待度				
	期待する	やや期待する	どちらとも言えない	あまり期待しない	期待しない
(記入例) ○○○の○○○○○○○○事業	5	4	3	2	1

ここから下が質問です						
1	健康・スポーツに関する事業	5	4	3	2	1
2	趣味に関する事業	5	4	3	2	1
3	地域の防災に関する事業	5	4	3	2	1
4	家庭や子育てに関する事業	5	4	3	2	1
5	地域課題解決に関する事業	5	4	3	2	1
6	地域住民や団体間のネットワークづくりや強化に関する事業	5	4	3	2	1
7	子どもの安全・安心な居場所づくりや体験活動に関する事業 (放課後子ども教室)	5	4	3	2	1
8	子どもの学習支援活動に関する事業(地域未来塾)	5	4	3	2	1
9	自然、社会体験ができる事業	5	4	3	2	1
10	青少年教育の推進に関する事業	5	4	3	2	1
11	地域の歴史・文化に関する事業	5	4	3	2	1
12	環境に関する事業	5	4	3	2	1

質問 5 生涯学習・文化芸術・歴史文化についてあてはまるものを選択してください。

① あなたが取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。

(あてはまるものを3つまで記入してください。)

- 1 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの(文芸、郷土史、自然など)
- 2 趣味や芸術に関するもの(美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など)
- 3 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの(料理、編み物、日曜大工など)
- 4 子育て・教育に関するもの(育児、教育問題など)
- 5 福祉・障がいに関するもの(手話、点字、障がい者スポーツなど)
- 6 男女共同参画に関すること(ジェンダー、ワークライフバランスなど)
- 7 環境など社会問題に関するもの
- 8 ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの
- 9 介護・医療の知識に関するもの(生活習慣病の予防、介護知識など)
- 10 健康・健康増進に関するもの(健康体操、ウォーキングなど)
- 11 スポーツに関するもの(野球、サッカー、テニス、卓球など)
- 12 職業上必要な知識・技能に関するもの(経理などの各種資格取得)
- 13 情報化社会に対応するための技能・知識に関するもの(PC、スマートフォンなど)
- 14 国際交流・国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)
- 15 その他(具体的に:)

選択欄

② あなたは、今後どのような内容の生涯学習の機会を増やしたいと思いますか。
(あてはまるものを3つまで記入してください)

- | | | |
|----|---------------------------------------|----------------|
| 1 | 文学、歴史、自然科学などの教養に関するもの（文芸、郷土史、自然など） | <div>選択欄</div> |
| 2 | 趣味や芸術に関するもの（美術、書道、音楽、茶華道、舞踊、囲碁など） | |
| 3 | 家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など） | |
| 4 | 子育て・教育に関するもの（育児、教育問題など） | |
| 5 | 福祉・障がいに関するもの（手話、点字、障がい者スポーツなど） | |
| 6 | 男女共同参画に関すること（ジェンダー、ワークライフバランスなど） | |
| 7 | 環境など社会問題に関するもの | |
| 8 | ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの | |
| 9 | 介護・医療の知識に関するもの（生活習慣病の予防、介護知識など） | |
| 10 | 健康・健康増進に関するもの（健康体操、ウォーキングなど） | |
| 11 | スポーツに関するもの（野球、サッカー、テニス、卓球など） | |
| 12 | 職業上必要な知識・技能に関するもの（経理などの各種資格取得） | |
| 13 | 情報化社会に対応するための技能知識に関するもの（PC、スマートフォンなど） | |
| 14 | 国際交流・国際理解に関するもの（外国語、外国の生活文化など） | |
| 15 | その他（具体的に： | |

選擇欄

③ 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのようなことに力を入れたらいいと思いますか。(あてはまるものを3つまで記入してください)

- 1 生涯学習講座の内容を充実させる
- 2 地域で講座等を企画、支援する人材の育成
- 3 気軽に生涯学習について相談できる窓口
- 4 生涯学習に関する情報発信（講座、サークル、人材などの情報）
- 5 ボランティア活動、まちづくり活動の支援
- 6 NPO、企業等との連携
- 7 成果を生かし、発表できる場の充実
- 8 生涯学習施設の利便性の向上
- 9 スポーツ施設の整備
- 10 バリアフリー化など施設整備
- 11 その他（具体的に：

選擇欄

- ④ あなたは、次のジャンルの文化芸術について、どの程度触れる機会（鑑賞や参加など）に恵まれていると感じますか。以下の1から11までのすべての項目について、該当するところに○を付けてください。

項目		恵まれている	やや恵まれている	どちらとも言えない	あまり恵まれていない	恵まれていない
1	小説や詩などの文学	5	4	3	2	1
2	コンサートや合唱などの音楽	5	4	3	2	1
3	絵画や彫刻・陶芸などの美術	5	4	3	2	1
4	風景や人物などの写真	5	4	3	2	1
5	劇やミュージカルなどの演劇	5	4	3	2	1
6	バレエやダンスなどの舞踊	5	4	3	2	1
7	映画や漫画・アニメなどのメディア芸術	5	4	3	2	1
8	歌舞伎などの芸術芸能	5	4	3	2	1
9	落語や漫才などの芸能	5	4	3	2	1
10	茶道や書道などの生活文化	5	4	3	2	1
11	囲碁や将棋などの国民娯楽	5	4	3	2	1

- ⑤ あなたは、ふるさとの歴史文化に誇りや愛着を有していますか。

- 1 有している 2 やや有している
3 どちらとも思わない 4 あまり有していない
5 有していない

選択欄

- ⑥ あなたは、ふるさとの先人の教えに学ぶ機会が充実していると感じますか。

- 1 充実していると感じる 2 やや充実していると感じる
3 どちらとも思わない 4 あまり充実していると感じない
5 充実していると感じない

選択欄

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。